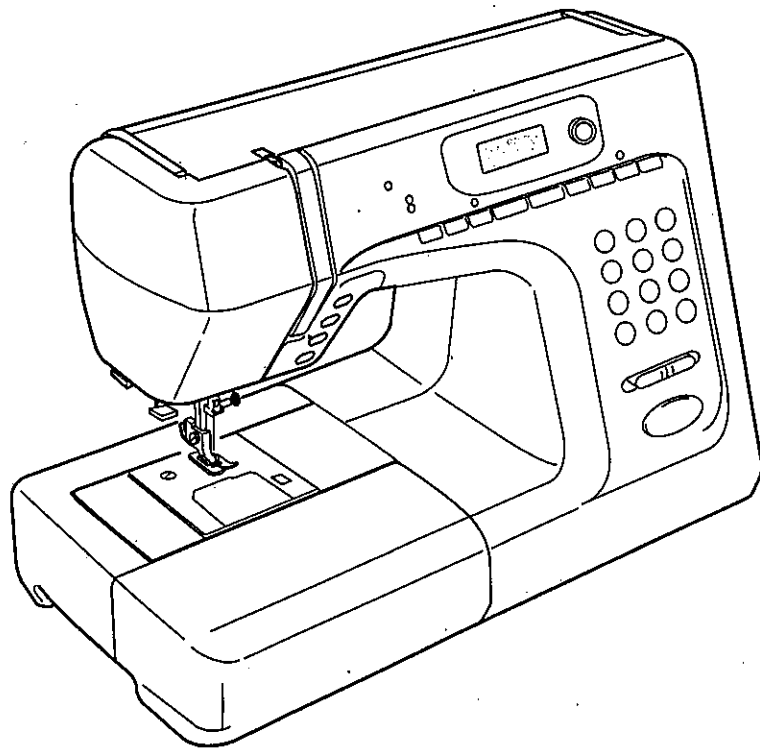


使い方の手びき

《取扱説明書》



Memory Craft 5150

JANOME

安全上のご注意

- ◆ ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆ お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆ このミシンは、日本国内向け家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY.

絵表示の例

	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

警告 感電・火災の恐れがあります。

一般家庭用 交流電源 100 Vでご使用ください。	以下のようなときは、電源スイッチを切り電源プラグを引き抜いてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき
---------------------------	--

注意 感電・火災・けがの原因となります。

フットコントローラーの上にもものをせないでください。 【禁止】	ミシン操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。
お客様自身での分解はしないでください。	お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。	以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。 <ul style="list-style-type: none"> ・針・針板・押さえ・アタッチメントを交換するとき ・上糸・下糸をセットするとき ・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行ってください。） ・ミシンのお手入れを行うとき
ぬいの途中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。 【禁止】	ミシン・フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 <ul style="list-style-type: none"> ・正常に作動しないとき ・水に濡れたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき
曲がった針はご使用にならないでください。 【禁止】	
針および押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。	

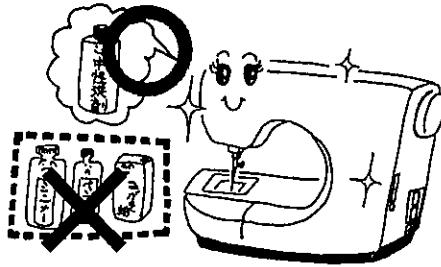
目次

お取り扱いについてのお願い	2	◎センサーボタンホール	33~36
●各部の名称	3	★ボタンホールの種類	33
●輝度調節ダイヤル	4	★ぬい方	34~36
●補助テーブルの使い方	4	★ぬい目のあらし調節	36
●標準付属品と収納場所	5	★ぬい目の巾調節・・・もよう#17/18	36
●操作方法	6~25	◎センサーボタンホール（#09/#10）	37
◎電源のつなぎ方	6	◎芯入りセンサーボタンホール	38
★スタート・ストップボタンを使用する場合	6	◎オートボタンホール（#19）	39
★フットコントローラー（別売品）を使用する場合	6	◎ファスナーつけ	40~41
◎速さの調節の仕方	6	★ファスナー押さえの付け方	40
★スピードコントロールつまみ	6	★準備（例：左脇あきのぬい方）	40
★フットコントローラー（別売品）	6	★ぬい方	40~41
◎スタート・ストップボタン	6	◎ダーニング（つくろいぬい）	42
◎キーの主なはたらき	7~10	◎かんぬき止めぬい	43
◎もようの選び方	11	◎三つ巻きぬい	44
◎お好み記憶モード/プザー音/多国語設定方法	12	◎くけぬい（まつりぬい）	45
◎ドロップつまみの使い方	13	◎ピンタック	46
◎押さえ圧ダイヤル	13	◎キルティング	46
◎押さえ上げ	13	◎シェルタック	47
◎押さえの取りかえ方	14	◎アップリケ	47
◎押さえホルダーの外し方、付け方	14	◎スモッキング	48
◎針の取り扱い	15	◎ファゴティング	48
★針の取りかえ方	15	◎スカラップ（A）	49
★針のしらべ方	15	◎スカラップ（B）	49
★布に適した糸や針を選ぶ目安	15	◎パッチワーク	50
◎下糸の準備	16~18	◎もよう密着ぬい	50
★糸こまの取り付け	16	◎クロスステッチ	51
★ボビンの取り出し	16	◎飾りぬい	51
★ボビンに糸を巻く	17	◎コーディング	52
★ボビンのセット	18	◎2本針ぬい	53
◎上糸の取り付け	19~21	◎もようの形の整え方	54
★上糸をかける	19	●プログラムぬい	55~58
★糸通しの使い方	20	◎連続もようぬいの例	55
★下糸の引き上げ	21	◎止めぬいを使ったもようぬいの例	55
◎糸調子の合わせ方	22	◎反転記憶を使ったもようぬいの例	56
★自動糸調子	22	◎プログラムぬいを途中でやめたとき	56
★マニュアル糸調子	22	◎エロンゲータぬい	57
◎直線ぬい	23	◎ワンポイントぬい	58
★ぬい始め	23	●編集機能（1）	59~60
★ぬい方向の変更	23	◎プログラム内容の確認	59
★ぬい終わり	23	◎内容の一部を取り消すとき	59
◎針板ガイドラインの利用	24	◎内容の一部挿入	60
◎コーナーリングガイドの利用	24	●編集機能（2）	61
◎キルターガイドの利用	24	◎統一マニュアル方式	61
◎厚手の布のぬい始め方	24	◎個別マニュアル方式	61
◎ぬい目のあらしをかえるとき	25	●ミシンのお手入れ	62
◎直線ぬいの針落ち位置をかえるとき	25	◎かまと送り歯の掃除	62
◎直線ぬいの針落ち位置をかえるとき	25	◎内かまと針板の組み付け	62
●いろいろな実用ぬい	26~54	●ランプの取りかえ方	63
◎直線状のぬい目いろいろ	26~27	●ミシンの調子が悪いときの直し方	64
◎ジグザグぬい	28		
◎ジグザグぬいたち目かがり	29		
◎トリコットぬいたち目かがり	29		
◎ニットステッチ	30		
◎その他のかがりぬい	30~31		
◎ボタンつけ	32		

お取り扱いについてのお願い

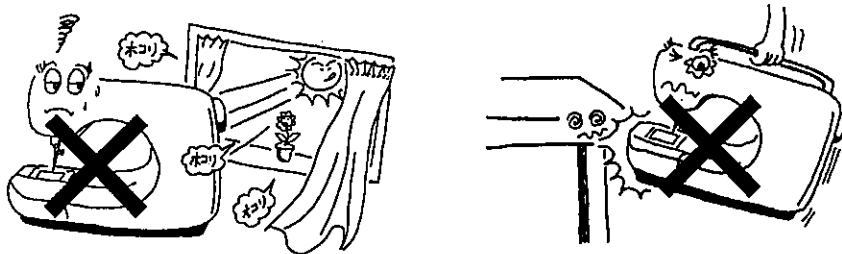
◇ご使用前に

- ① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。



◇いつまでもご愛用いただくために

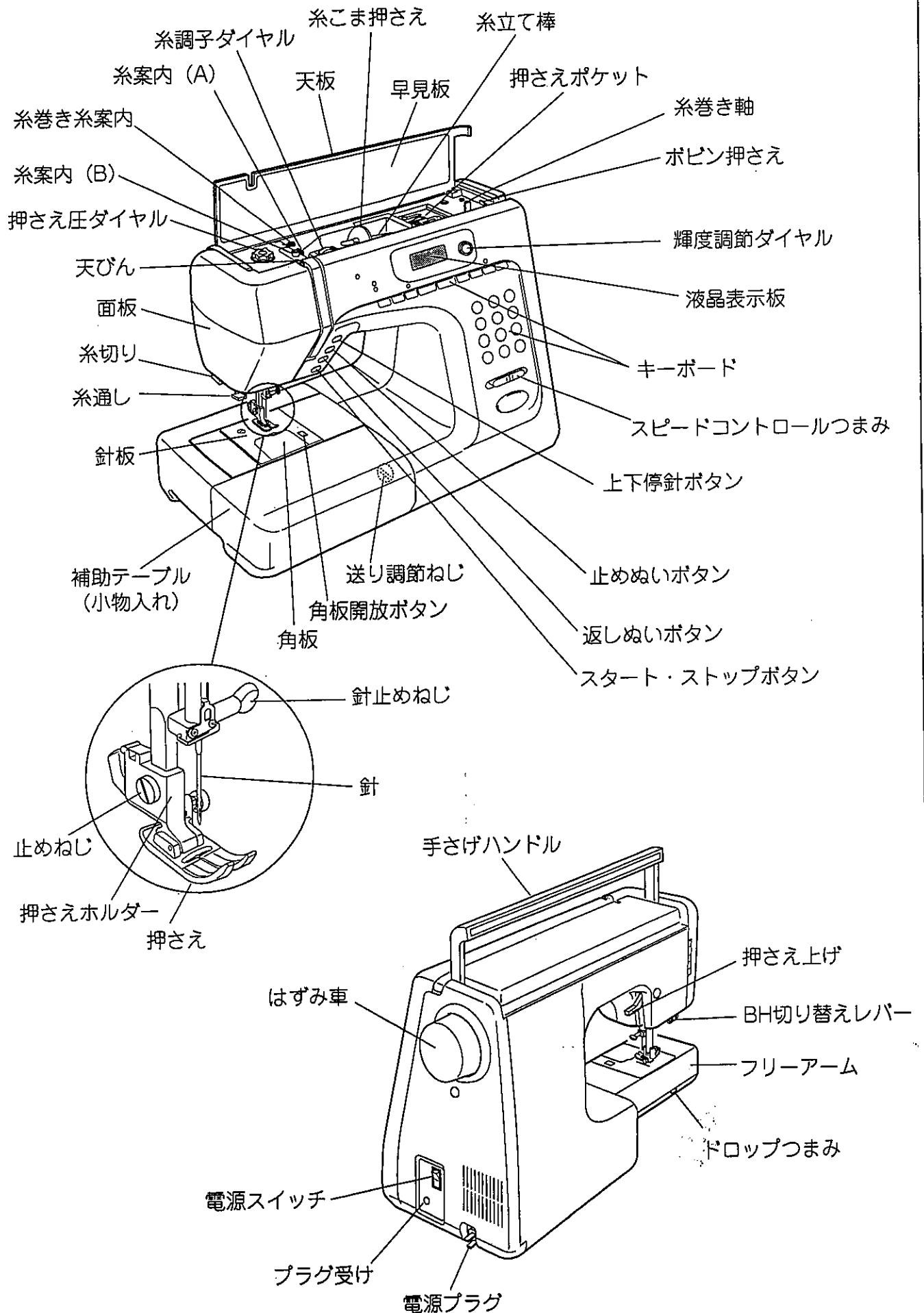
- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところはさけてください。
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。



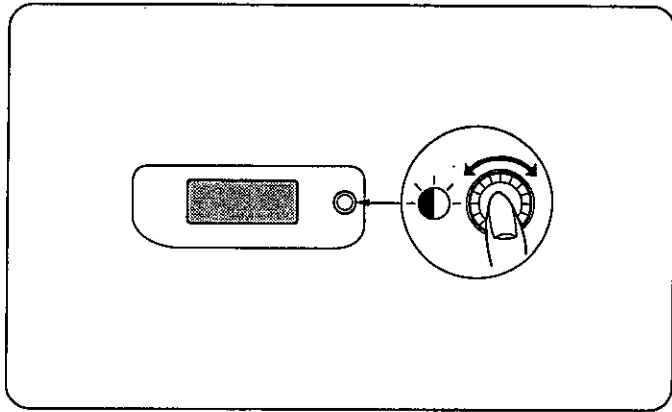
◇ 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(64ページ) により点検・調整を行ってください。

●各部の名称

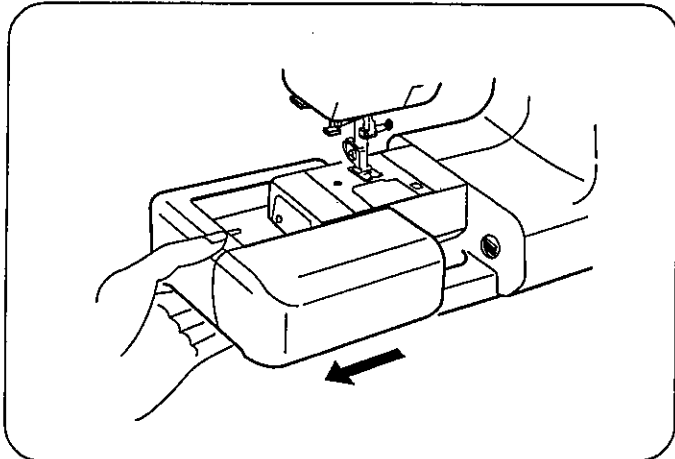


●輝度調節ダイヤル



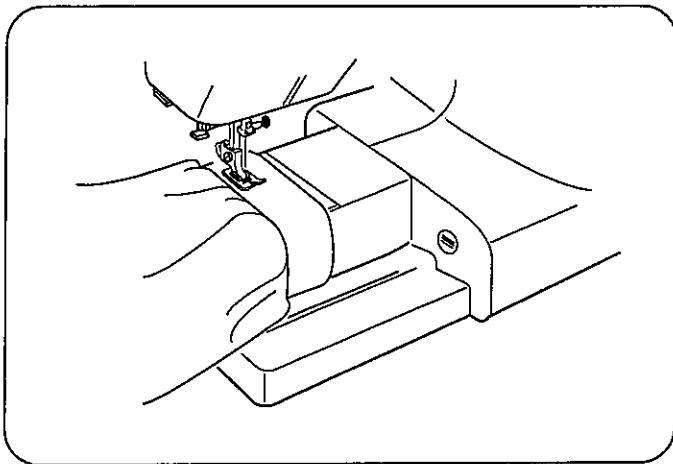
ダイヤルをまわすと液晶表示板のあかるさかわります。

●補助テーブルの使い方



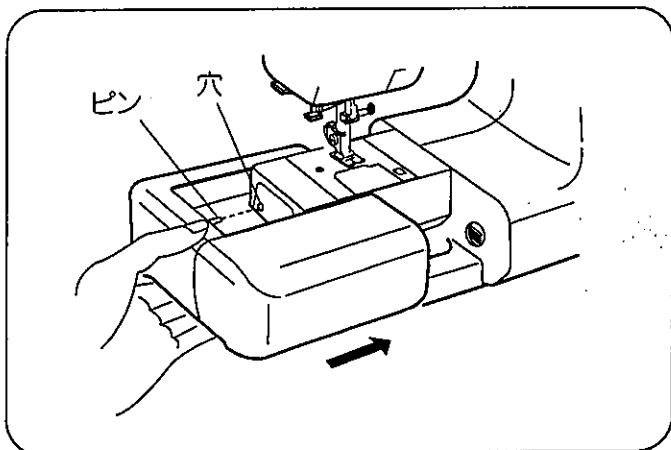
【外し方】

補助テーブルの下側に手をかけて、横に引いて外します。



【フリーアームの使い方】

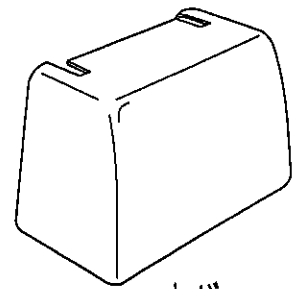
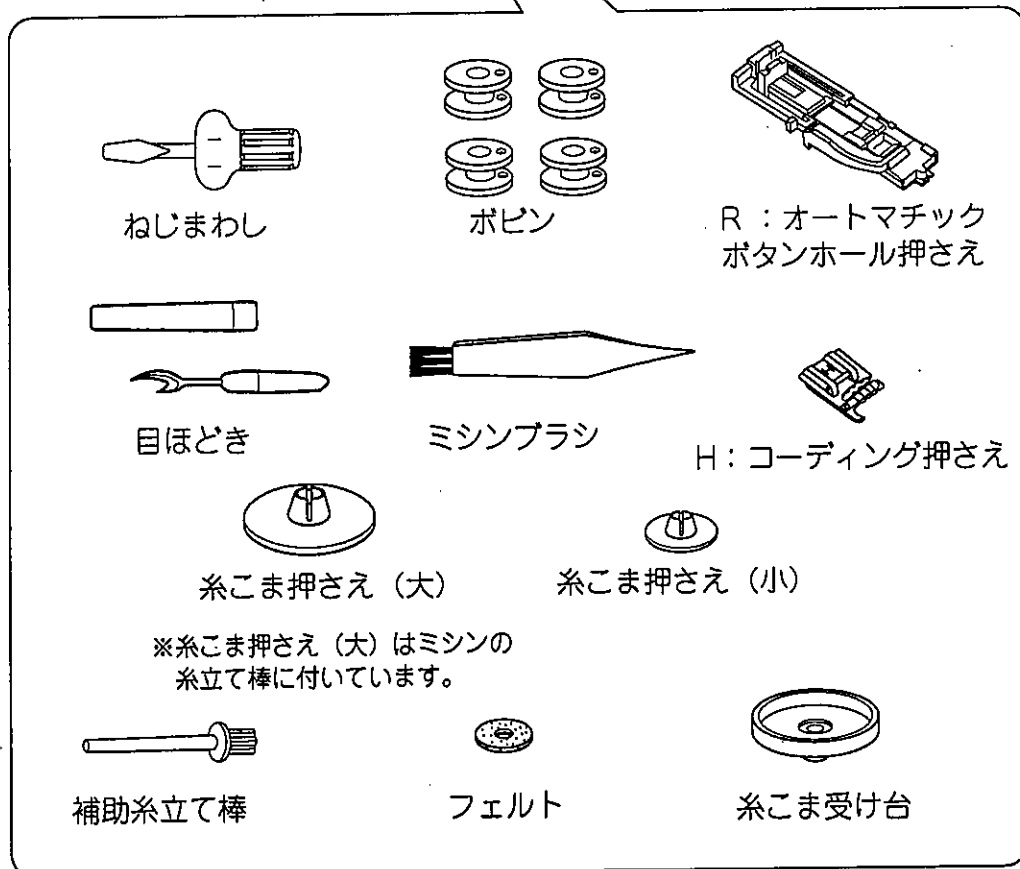
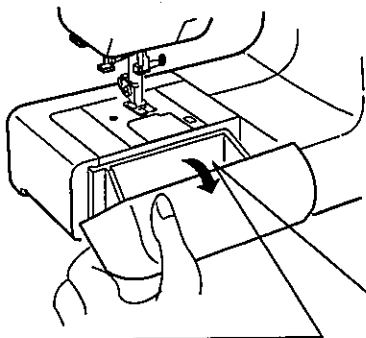
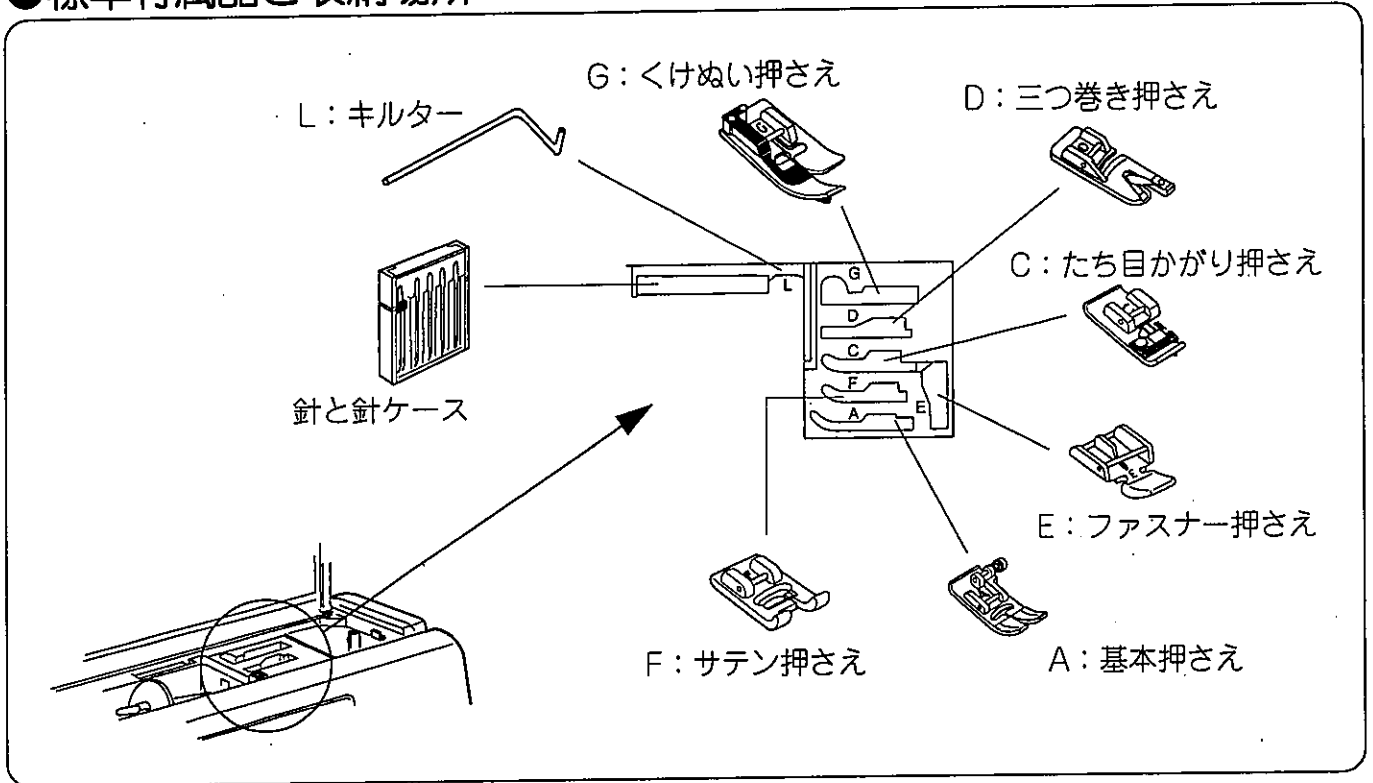
そでぐち袖口やくちはしすそなどのぬい、およびふくろ物の口端の始末に利用します。



【付け方】

フリーアームにそわせ、ピンを穴に入れ取り付けます。

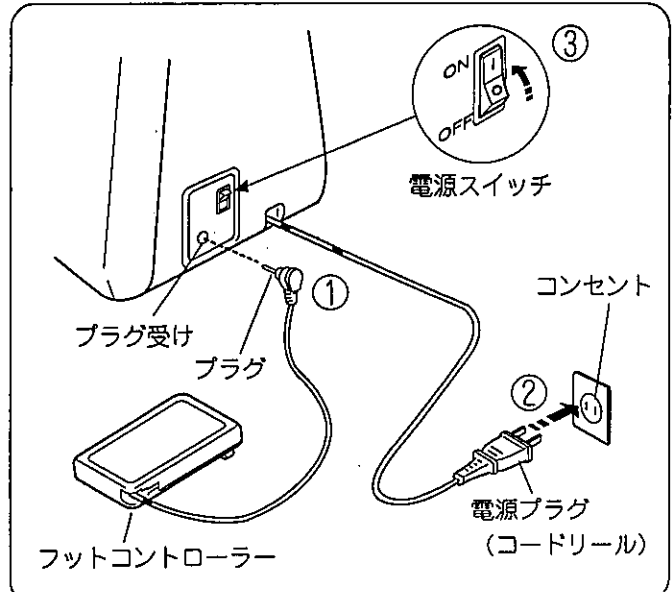
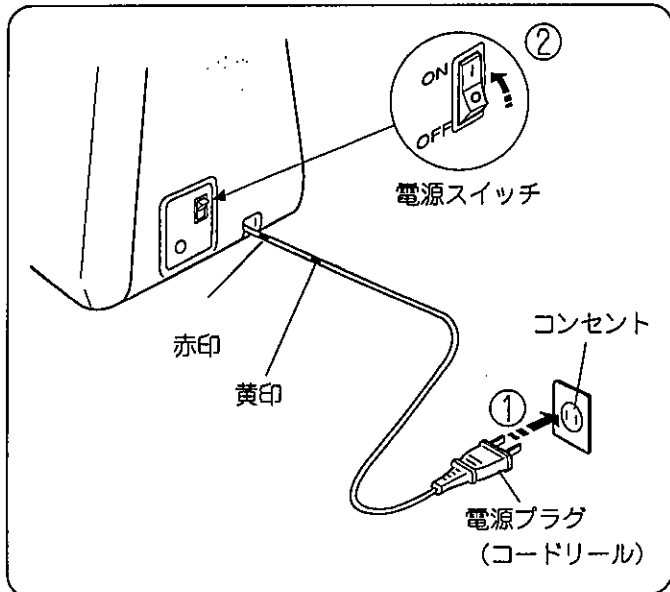
●標準付属品と収納場所



●操作方法

◎電源のつなぎ方

★スタート・ストップボタンを使用する場合 ★フットコントローラー(別売品)を使用する場合



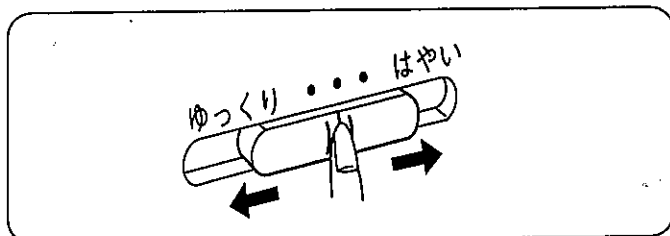
- ① 電源スイッチを「OFF」(切)にして、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ② 電源スイッチを「ON」(入)にします。

- ① 電源スイッチを「OFF」(切)にして、フットコントローラーのプラグをプラグ受けに差し込みます。
- ② 電源プラグを、コンセントに差し込みます。
- ③ 電源スイッチを「ON」(入)にします。

- ※ 電源プラグを引き出したときに、コードに黄印が出てきたらゆっくり引いてください。また、赤印以上は引き出さないでください。
- ※ 電源は一般家庭用 (100V 50/60Hz) です。
- ※ ミシンを使わないときは、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

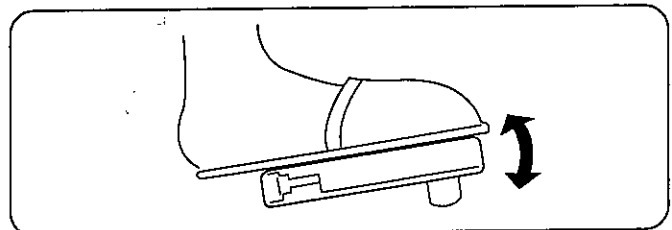
◎速さの調節の仕方

★スピードコントロールつまみ



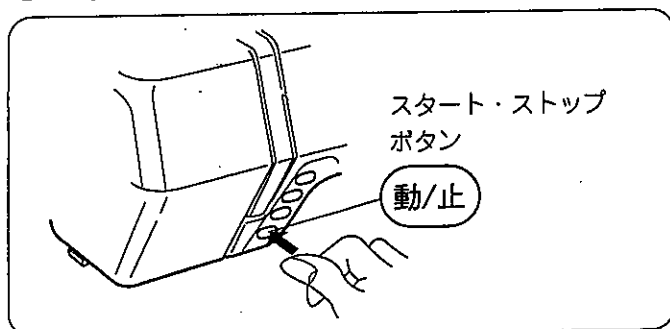
ぬう速さは自由に調節できますので、スピードコントロールつまみをお好みの速さにセットしてください。

★フットコントローラー(別売品)



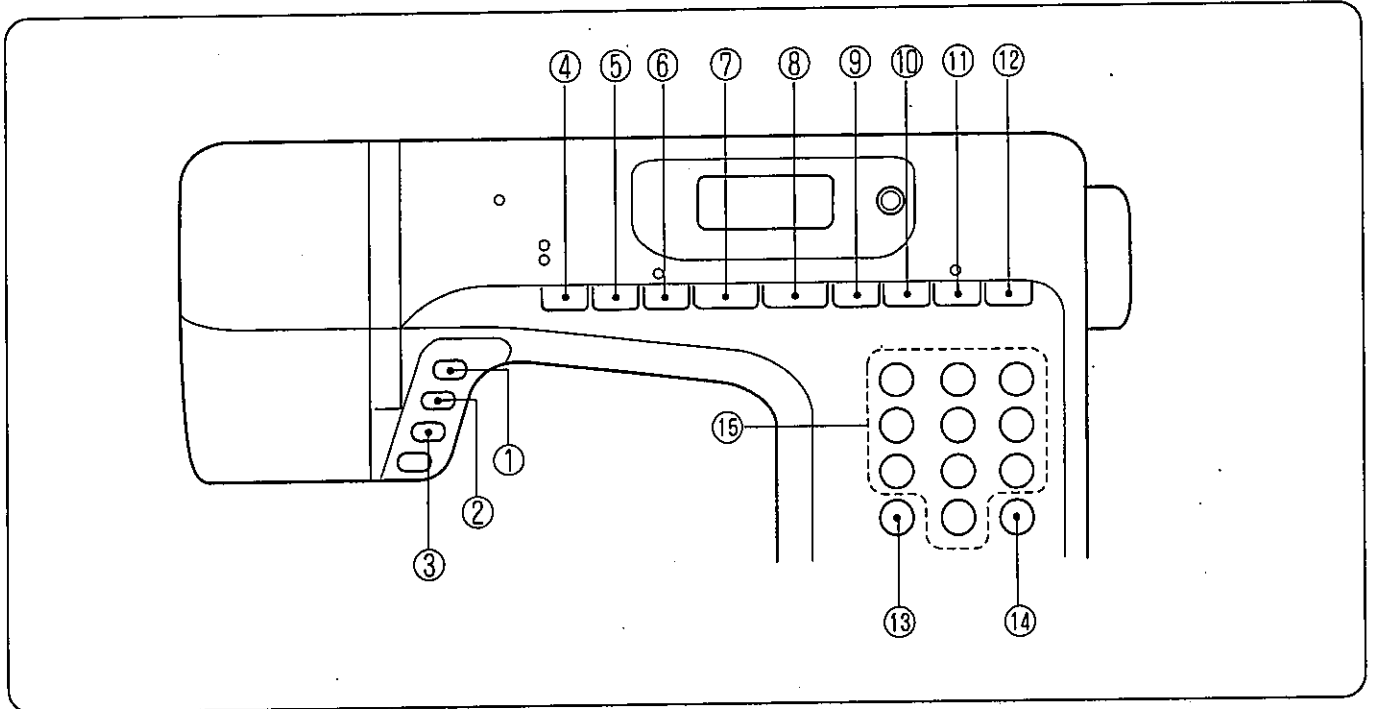
フットコントローラーは、深くふみ込むほど速くなります。
 ※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。
 ※フットコントローラー使用中は、スタート・ストップボタンは使えません

◎スタート・ストップボタン



ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。もう一度押すと、通常、針が上の位置で止まります。

◎キーの主なはたらき



①上下停針ボタン



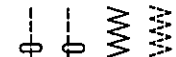
ミシンが止まっているときボタンを押すと、針の位置を、上にあるときは下に切りかえ、下にあるときは上に切りかえることができます。

※上位置に切りかえた状態でぬうと、ミシンを止めたとき針は上位置で止まり、下位置に切りかえた状態でぬうと針は下位置で止まります。（電源を入れたときは、上位置で止まる状態になっています。）

②止めぬいボタン



ぬっている途中でボタンを押すと、または一度止めてからボタンを押して再びスタートさせると、

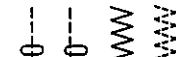
もよう  は、すぐに止めぬいをして自動的に止まります。

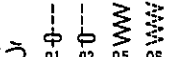
他のもようぬいのときは、もようを最後までぬい止めぬいをして自動的に止まります。

③返しぬいボタン



ぬっている途中でボタンを押すと、押しているあいだ

もよう  は、返しぬいをします。その他のもようのときには、すぐに止めぬいをして自動的に止まります。

※もよう  は、ミシンが止まっているときでも、ボタンを押しているあいだは返しぬいをします。

④モード切りかえキー

※ダイレクト
○ 選択モード

○ダイレクト
※ 選択モード

モード

キーを押すごとに、LED点灯が切りかわり、各モードの選択ができます。

ダイレクトモード：直接キーを押してもよう選択
選択モード：テンキー入力によるもよう選択

⑤2本針キー

2本針

2本針マーク



2本針ぬいを行うときに押します。

※2本針マークが表示されます。

解除するときには、もう一度キーを押します。

⑥編集キー

※
編集

記憶したもよりの確認、もよりの追加、削除などを行うときに押します。

※操作は、ぬい目の巾「-」または「+」キーで行います。(59~60ページをごらんください。)

【プログラムもよりの巾、あらさ設定機能】
プログラムされた個々のもよりに関してぬい目のあらさや、巾をかえることができます。
(61ページをごらんください。)

⑦ぬい目の巾キー

ぬい目の巾

- +

ぬい目の巾をかえるときに「-」キー、または「+」キーを押します。

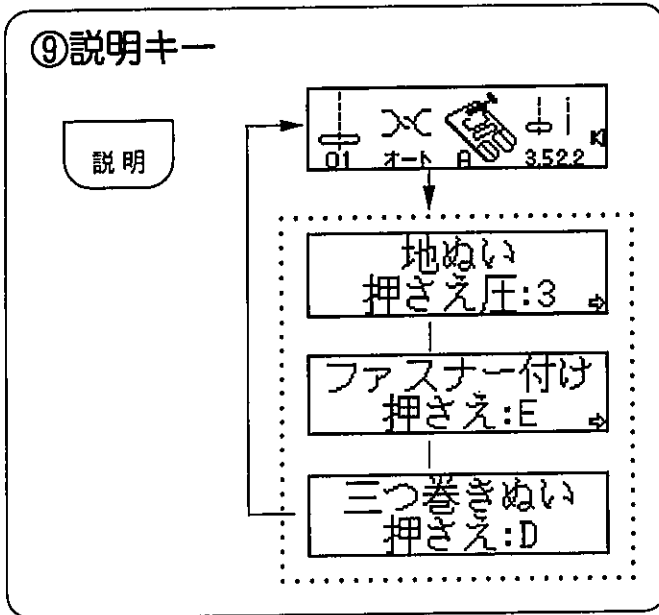
⑧ぬい目のあらさキー

ぬい目のあらさ

- +

ぬい目のあらさをかえるときに「-」キー、または「+」キーを押します。

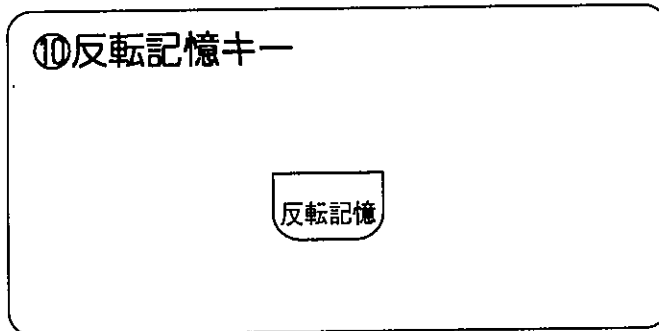
⑨説明キー



ぬい情報が表示されます。

- ※「説明」キーを押すごとに、画面が切りかわります。
- ※説明内容は、もように適した押さえや、押さえ圧が表示されます。

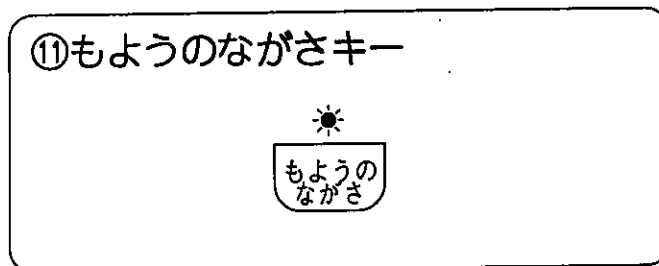
⑩反転記憶キー



もようを選んでからキーを押すと、選んだもようを左右反対に記憶します。

- ※ダイレクトモードのとき、および記憶キー（10ページ⑬）で記憶できないもようは、反転記憶できません。

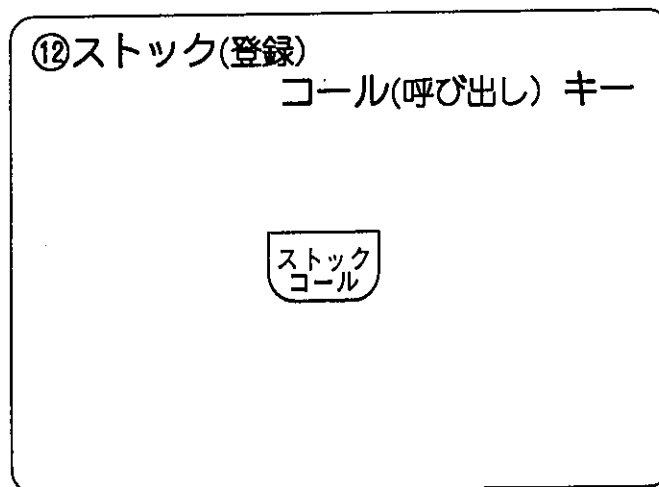
⑪もようのながさキー



キーを押すごとに、もよう#40~48の長さを1~5倍にかえられます。



⑫ストック(登録) コール(呼び出し) キー



もようを記憶したあと、または、編集したあとにストック/コールキーを押すと、はじめに登録したもようは取り消され、新規にもようが登録されます。

それ以外（もようを記憶していない）のときに、ストック/コールキーを押すと登録したもようを呼び出すことができます。

- ※最大50もようまでのプログラムぬいが登録できます。
- ただし、ダイレクトモードのときと、記憶キー（10ページ⑬）で記憶できないもようは、登録できません。

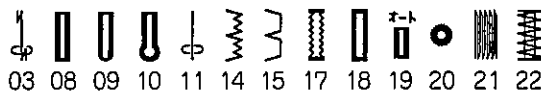
※登録したもようは、変更されるまで永久保存されます。

⑬記憶キー



もようを選んでから記憶キーを押すと、選んだもようが記憶されます。さらに、他のもようを選んでからキーを押すと、前のもように続けて、次に選んだもようを記憶します。記憶キーを押し続けると、キーを押した数だけ最後に選んだもようを記憶します。(最大記憶数は50です。)

※記憶できないもようは、



です。

※ダイレクトモードのときには、記憶できません。

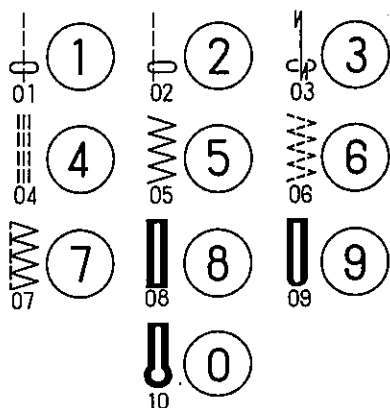
⑭とりけしキー



もようを記憶させているときにまちがえて選んだもようは、とりけしキーを押すことで、そのもようだけが取り消されます。

記憶させて、ぬい始めてからとりけしキーを押すと、記憶させたもようすべてが取り消されます。

⑮ダイレクト選択およびテンキー



【ダイレクト選択】

ダイレクトモードのとき、もよう#01~10は、もようの横のキーを押すだけで、直接選ぶことができます。

※選択モードのときには、もよう#01~10は、もよう番号を入力して選びます。

【テンキー】

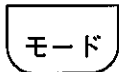
選択モードのときに、もようは2桁のもよう番号を入力して選びます。

◎もよりの選び方

【ダイレクト選択のとき】

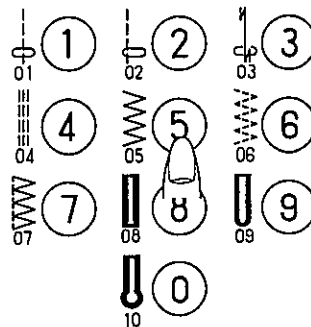
① ダイレクトモードにします。

※ダイレクト
○ 選択モード



② もよりの横のテンキーを押します。

例) もよう#05



③ もよう#05が表示されます。



ぬい目のあらさ
ぬい目の巾
押さえ
糸調子
選ばれたもよう

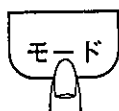
ブザー音: 表示されているときは、ブザー音がします。
(ブザー音の消し方は、12ページをごらんください。)

※押さえ表示は、もよりに合った基本的な押さえとなっておりますが、同じもようでもぬい方により使用する押さえが異なる場合があります。「いろいろな実用ぬい」(26~54ページ)の項目で確認してください。

【テンキーで選ぶとき】

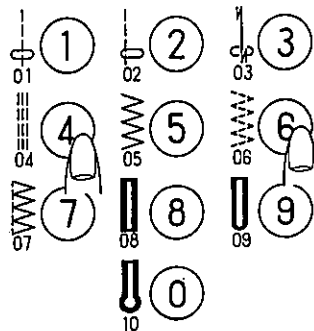
① 選択モードにします。

○ダイレクト
※選択モード

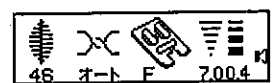
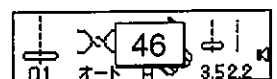


② テンキーで2桁のもよりの番号を押します。

例) もよう#46

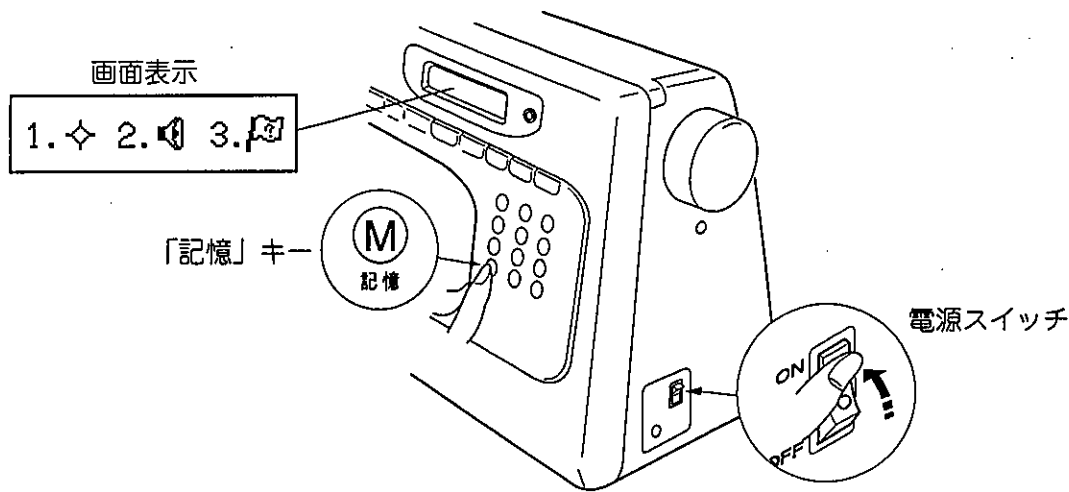


③ もよう#46が表示されます。



◎お好み記憶モード/ブザー音/多国語設定方法

① 「記憶」キーを押しながら、電源スイッチを「ON」(入)にします。



【お好み記憶モード設定】

電源を切っても、最後にぬったもようを呼び出すことができます。

② テンキー「1」でお好み記憶モードを選びます。



お好み記憶解除
お好み記憶セット

【ブザー音設定】

お好みにより、ブザー音を消すこともできます。

② テンキー「2」でブザー音設定モードを選びます。



ブザー音セット
ブザー音解除

【多国語設定】

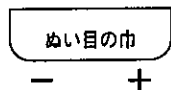
10カ国の言語が設定できます。

② テンキー「3」で多国語設定モードを選びます。

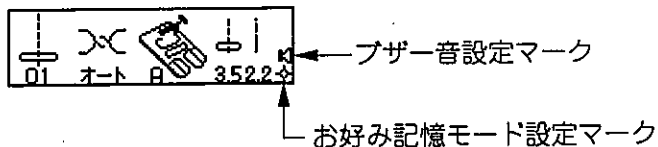


1. ENGLISH
2. ESPANOL
3. FRANCAIS
4. DEUTSCH
5. NEDERLANDS
6. ITALIANO
7. PORTUGUES
8. SUENSKA
9. РУССКИЙ ЯЗЫК
10. 日本語

③ 「ぬい目の巾」キーで、お好みの選択画面を選びます。



④ 「記憶」キーを押すと設定されます。

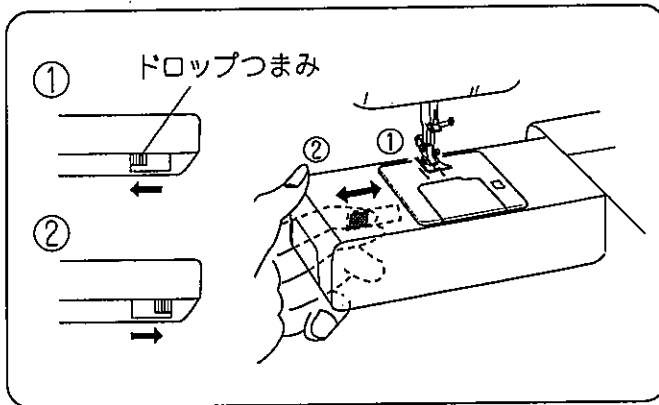


- 1. 英語
- 2. スペイン語
- 3. フランス語
- 4. ドイツ語
- 5. オランダ語
- 6. イタリア語
- 7. ポルトガル語
- 8. スウェーデン語
- 9. ロシア語
- 10. 日本語

※お好み記憶モードをセットすると、つぎからは電源投入時、前回最後にぬっていたもようが表示されます。(登録したもようをぬっていた場合は、その前にぬったもようが表示されます。)

※設定マークは、設定したときのみ表示されます。

◎ドロップつまみの使い方

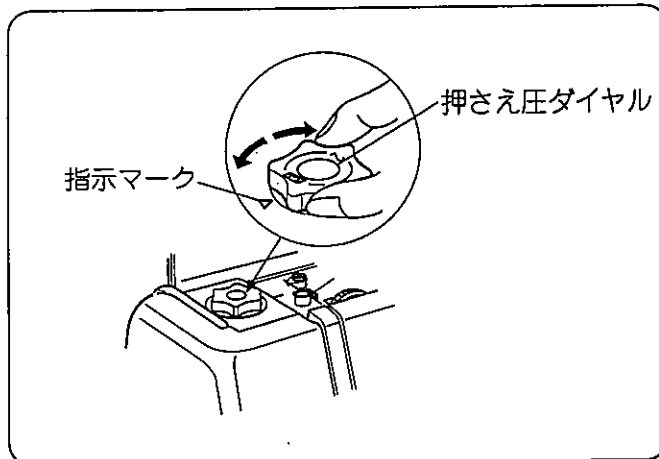


ボタンつけなどで送り歯をさげるときには、ドロップつまみを動かします。

①送り歯をさげた位置

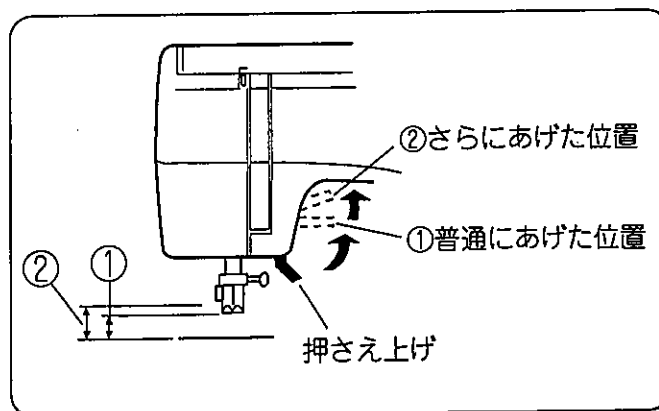
②送り歯をあげた位置（通常の位置）

◎押さえ圧ダイヤル



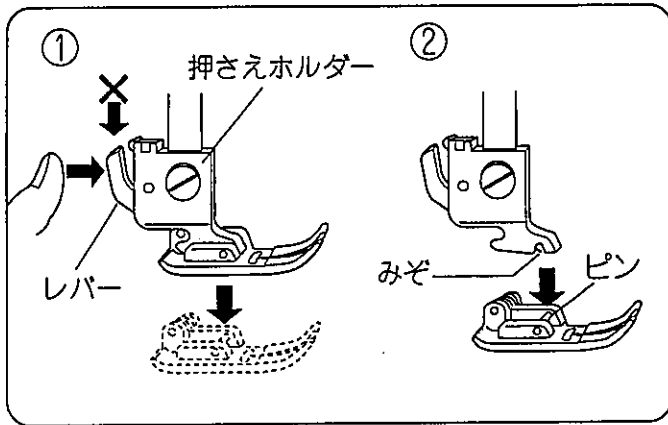
普通ぬいときは、「3」に合わせます。
うす手の化繊地や伸縮性のある布地などでぬいずれがあるとき、またはぬいしろ部分が重なり合うときは「2」または「1」に合わせます。

◎押さえ上げ



押さえ上げで、押さえのあげ下げをします。
押さえ上げを普通にあげた位置より、さらに高くあげると、押さえはさらにあがります。
補助リフトとしてお使いください。

◎押さえの取りかえ方

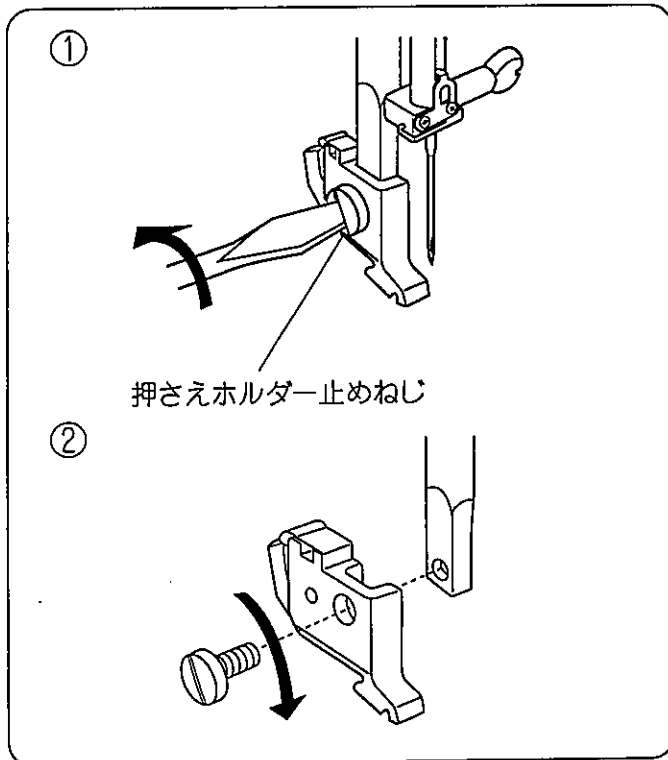


①押さえ上げをあげ、押さえホルダーのレバーを押して、押さえを外します。

②押さえのピンを押さえホルダーのみぞに合わせて、押さえ上げを静かにさげます。

※レバーは、真上から押さないでください。

◎押さえホルダーの外し方、付け方



【押さえホルダーの外し方】

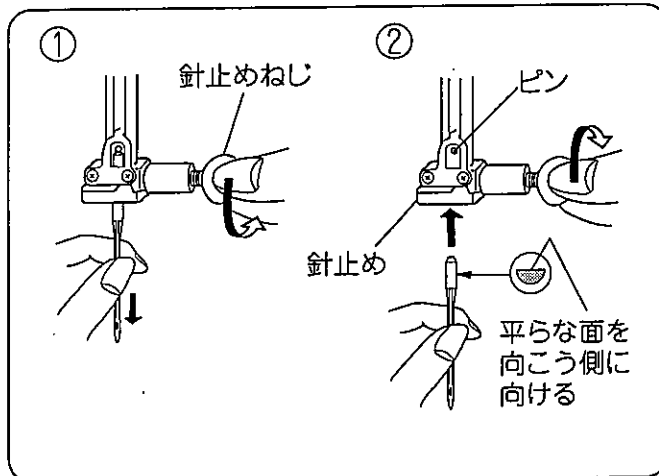
①押さえホルダー止めねじを左にまわして外します。

【押さえホルダーの付け方】

②押さえホルダー止めねじを右にまわして付けます。

◎針の取り扱い

★針の取りかえ方

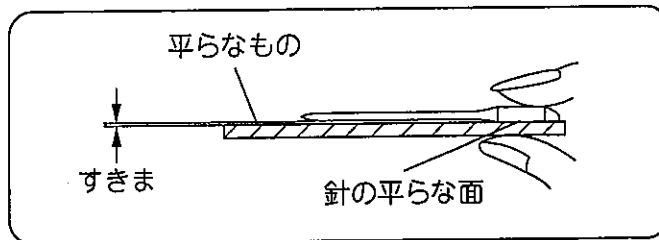


! 針の取りかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

① 針止めねじを手前に1~2回まわしてゆるめ、針を外します。

② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをかたくしめます。

★針のしらべ方



針の平らな面を平らなもの（針板など）に置いたとき、すきまが針先まで平均に見えるのが良い針です。

針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

★布に適した糸や針を選ぶ目安

	布	糸	針
うすい布	ローン	絹糸 80番~100番	9番~11番
	ジョーゼット	綿糸 80番~100番	
	トリコット	化繊糸 80番~100番	
	ウール・化繊布		
普通の布	普通木綿・化繊布	絹糸 50番	11番~14番
	薄手ジャージー	綿糸 60番~80番	
	一般ウール・化繊服地	化繊糸 50番~80番	
		綿糸 50番	14番
厚い布	デニム	絹糸 50番	14番~16番
	ジャージー	綿糸 40番~50番	
	コート地	化繊糸 40番~50番	
	キルティング	絹糸 30番	16番
		綿糸 30番	

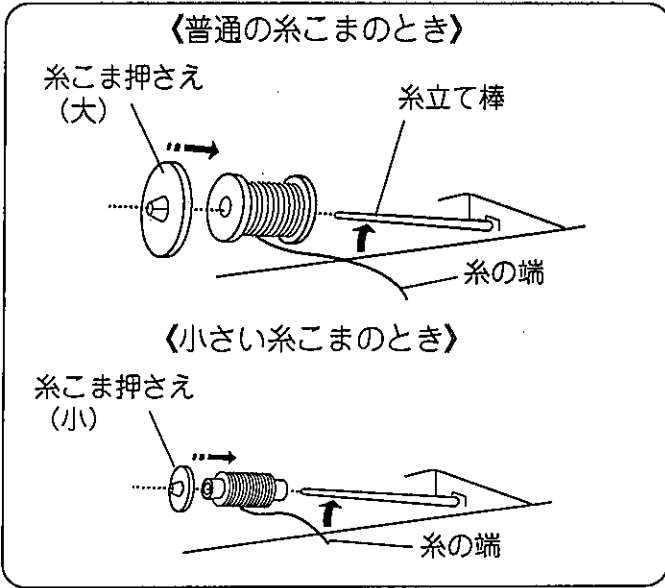
※一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。
この表を目安に針と糸を選び、ぬいたい布のはぎれを使って試しぬいをしてください。

※原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※伸縮性のある布地（ジャージー、トリコット）や目とびしやすい布地などには、ジャンメブルー針を使用すると効果があります。
（市販SP針も同様の効果があります。）

◎下糸の準備

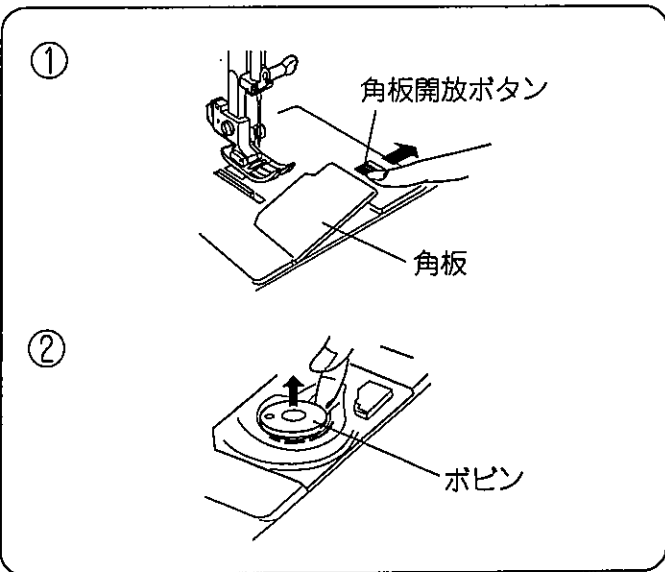
★糸こまの取り付け



糸立て棒を軽くおこし、糸の端が糸こまの下から手前に出るようにして糸こまを入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

※糸こま押さえ (小) は小さい糸こまに使用します。

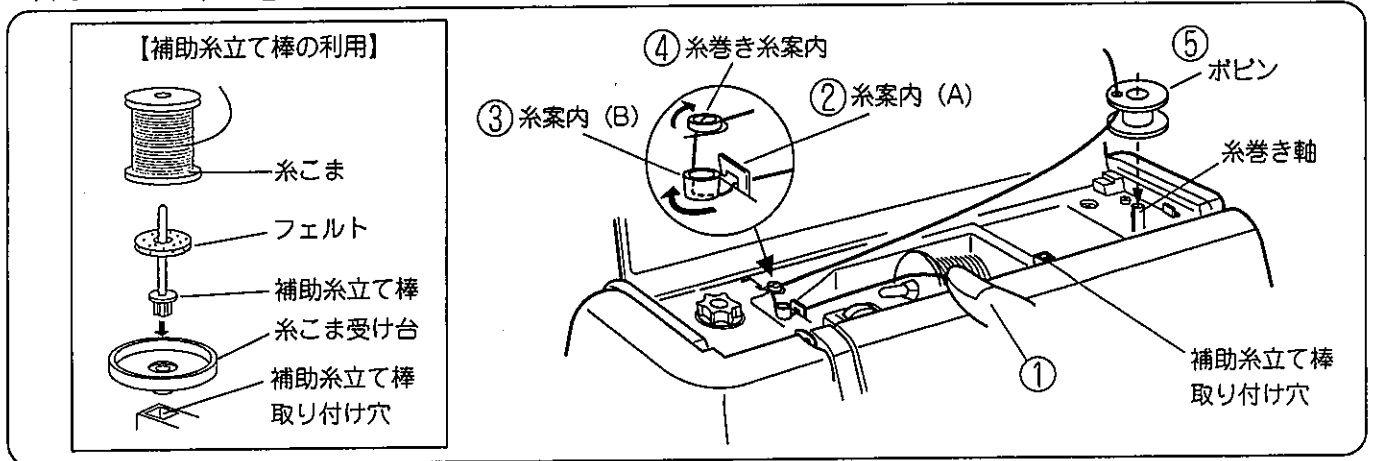
★ポビンの取り出し



①角板開放ボタンを右にずらして角板を外します。

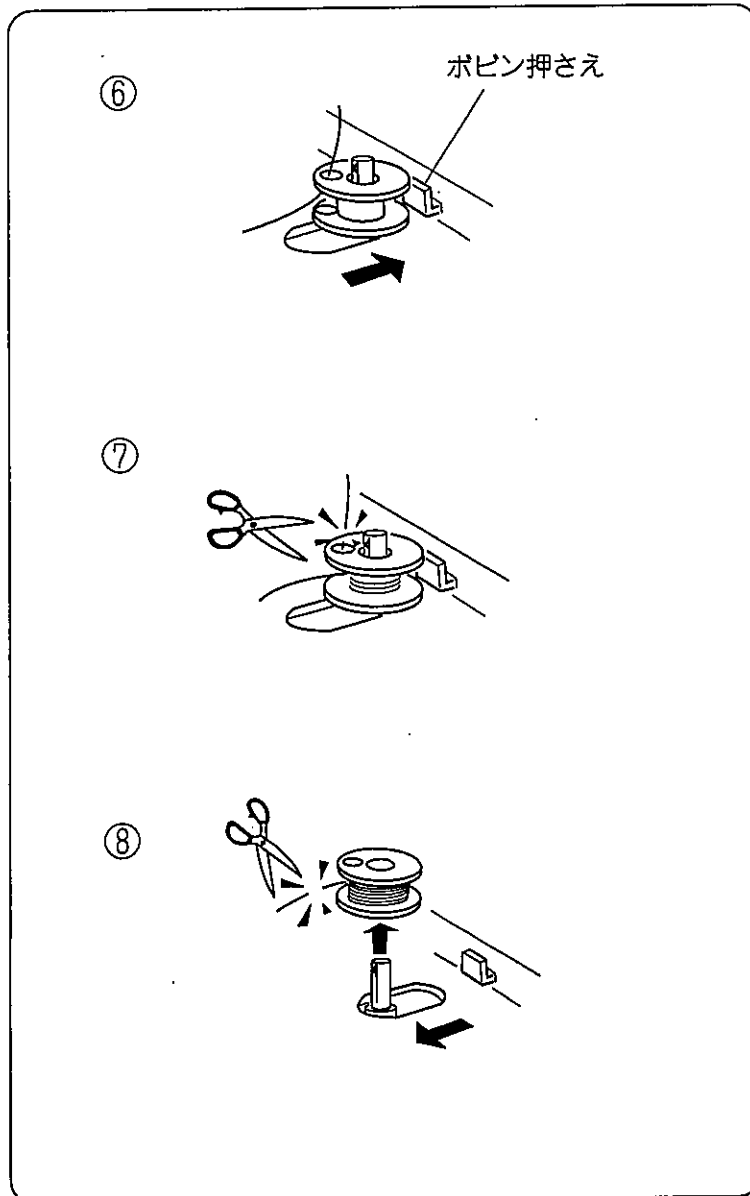
②ポビンを取り出します。

★ポピンに糸を巻く



※補助糸立て棒での利用もできます。
補助糸立て棒を使うときは、取り付け穴にセットします。
糸の端は糸こまの右側からうしろに出るようにします。

糸巻きのときは、スピードコントロールつまみを「はやい」でご利用ください。



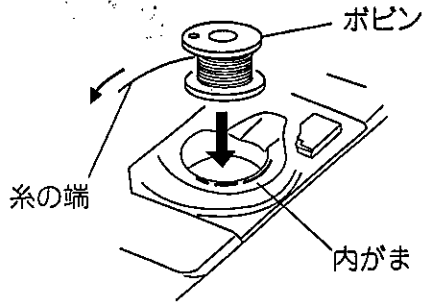
- ① 糸を軽く押さえます。
- ② 糸案内 (A) に、糸を通します。
- ③ 糸案内 (B) に、糸をかけます。
- ④ 糸巻き糸案内に、糸をかけます。
- ⑤ ポピンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。
- ⑥ ポピンをポピン押さえの方に押し付けます。
- ⑦ 糸の端をつまんだままミシンをスタートして、ポピンに糸が二重ほど巻きついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸を切ります。
- ⑧ 再びスタートして巻き終わるとポピンの回転が止まります。
ミシンを止めたあと、糸を切って糸巻き軸をもどし、ポピンを糸巻き軸から外します。

※糸巻き軸は、必ずミシンを止めてから移動してください。

※糸巻きは、安全のために、ミシンがスタートしてから約2分間で自動停止します。

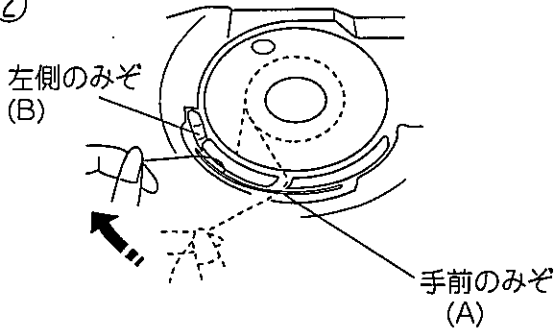
★ボビンのセット

①



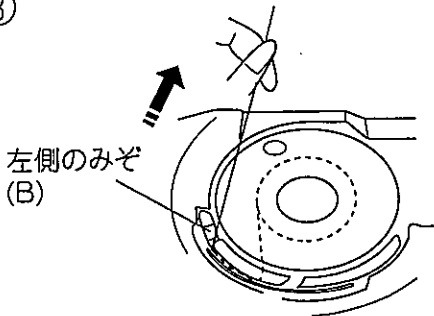
① 糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内がまに入れます。

②



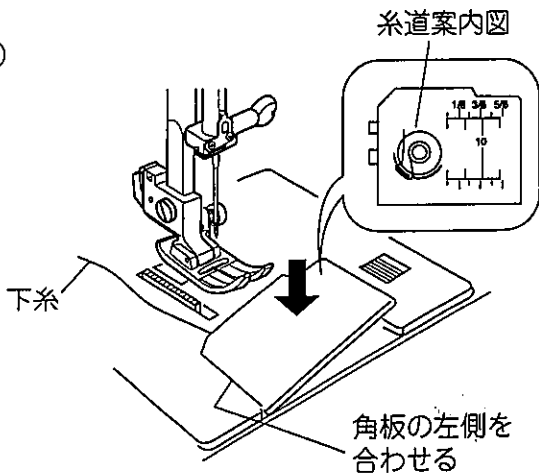
② 糸の端を引きながら、手前のみぞ(A)にかけ、そのまま左へまわして、左側のみぞ(B)のところに出示します。

③



③ 糸を左側のみぞ(B)にかけるように向こう側に出します。

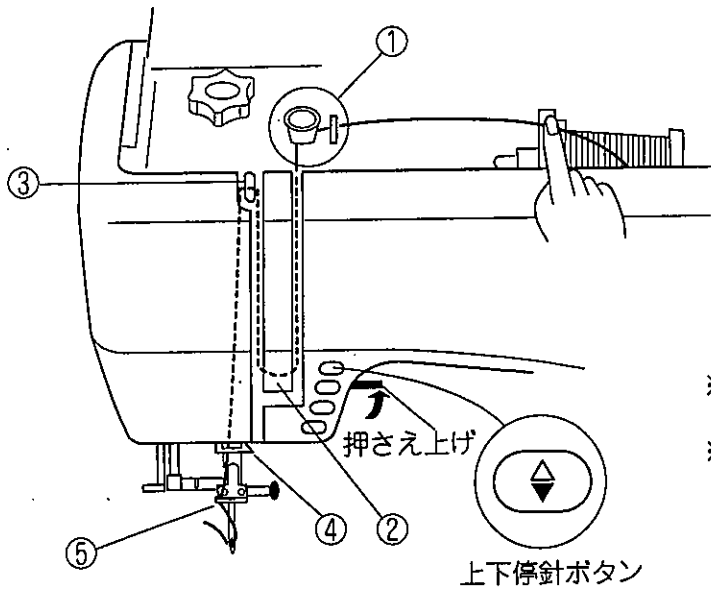
④



④ 下糸は10cmくらい引き出して、角板を左側から合わせて付けます。

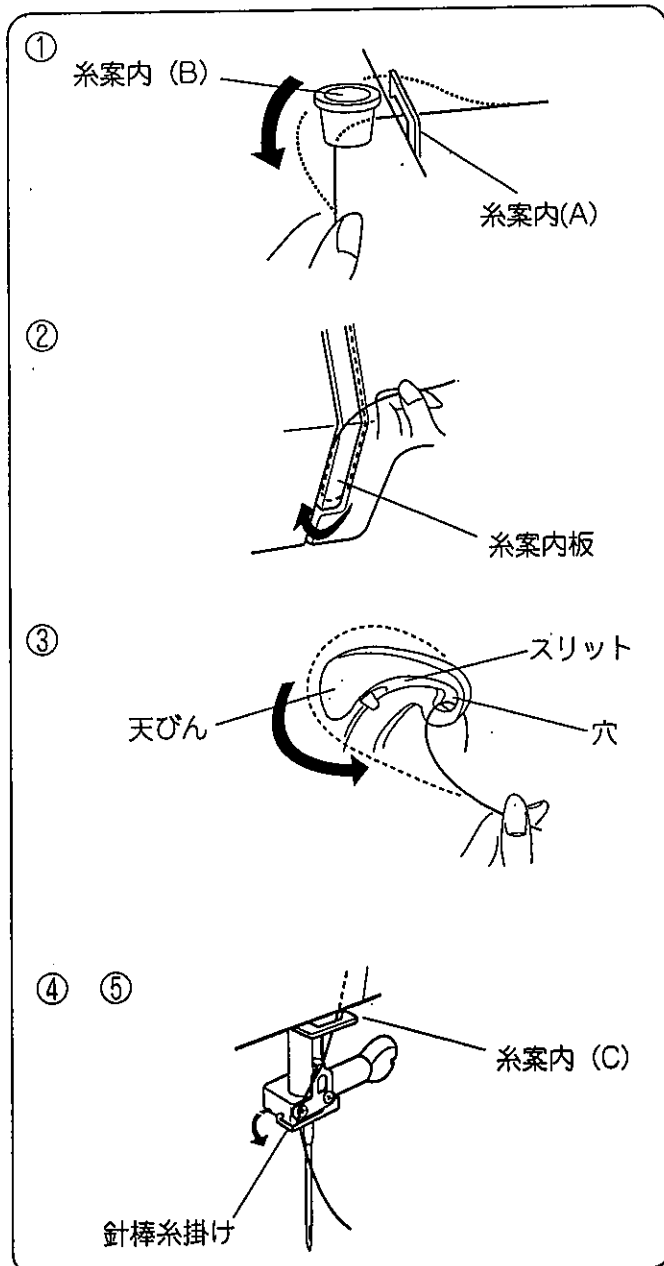
◎上糸の取り付け

★上糸をかける



※押さえ上げをあげます。

※電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを2回押して、針をあげます。
針をあげたら電源スイッチを切ります。



① 押さえ上げをあげ、糸こまから糸を引き出し、糸こまを軽く押えながら糸案内(A)に通し、糸案内(B)の下に巻きつけるようにしてかけ、糸案内板にそっておろします。

② 糸案内板の下をまわして、左上に引きあげます。

③ 天びんの右からうしろへまわしスリットに入れ、穴先まで引き入れて、まっすぐ下におろします。

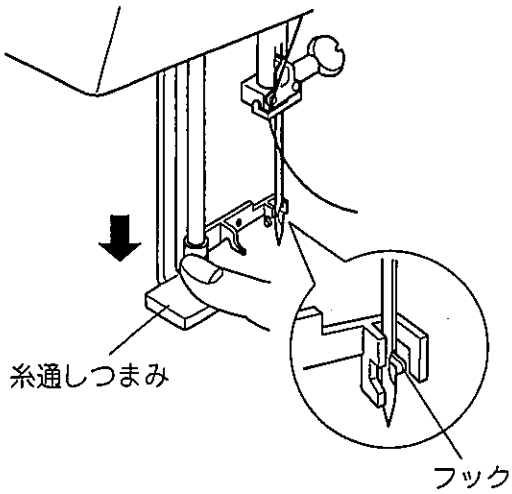
④ 糸案内(C)に右からかけます。

⑤ 針棒糸掛けに左からかけます。

※針には糸通しを使って糸を通します。
糸通しの使い方は20ページをごらんください。

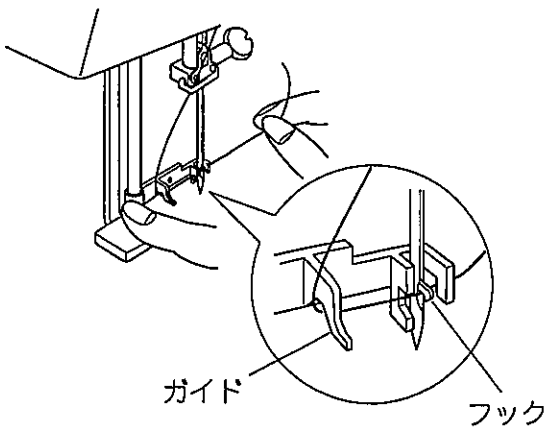
★糸通しの使い方

①



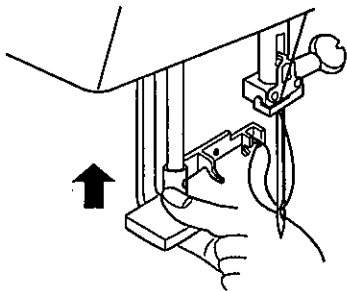
①押さえ上げをさげ、針をあげた状態で、糸通しつまみを止まるまでいっぱい引きさげます。フックが針穴に入ります。

②



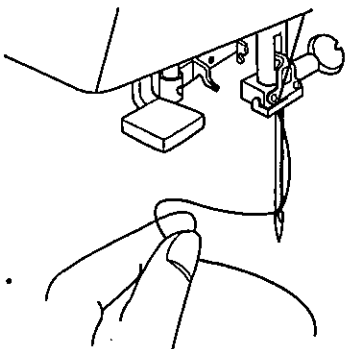
②糸をガイドとフックにかけます。

③



③糸の端を軽く持ち、糸通しつまみを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。

④

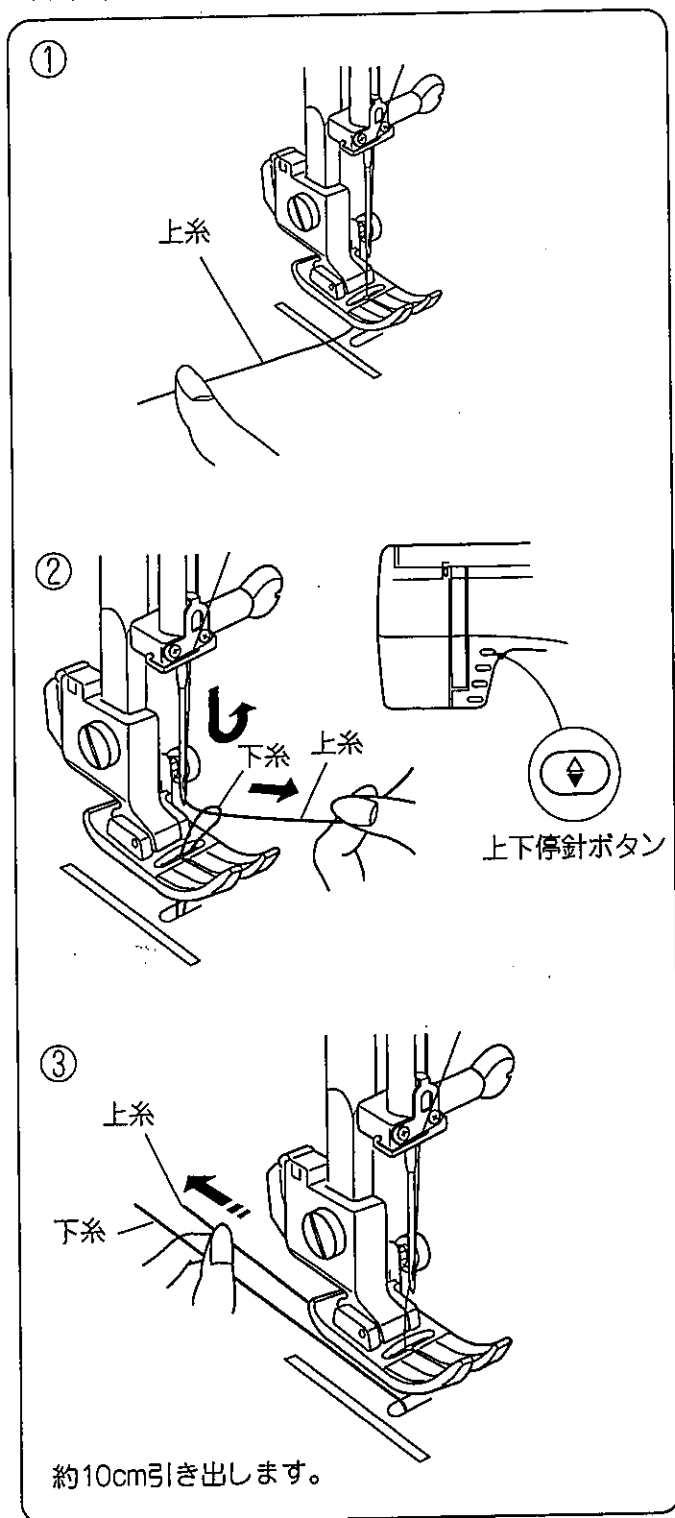


④糸の輪を糸通しから外し、針穴から端を引き出します。

※針は、11番～16番、およびジャノメブルー針が使えます。糸は、50番～100番が使えます。
(針、または糸の太さによっては、使えない場合があります。)

※2本針には使えません

★下糸の引き上げ



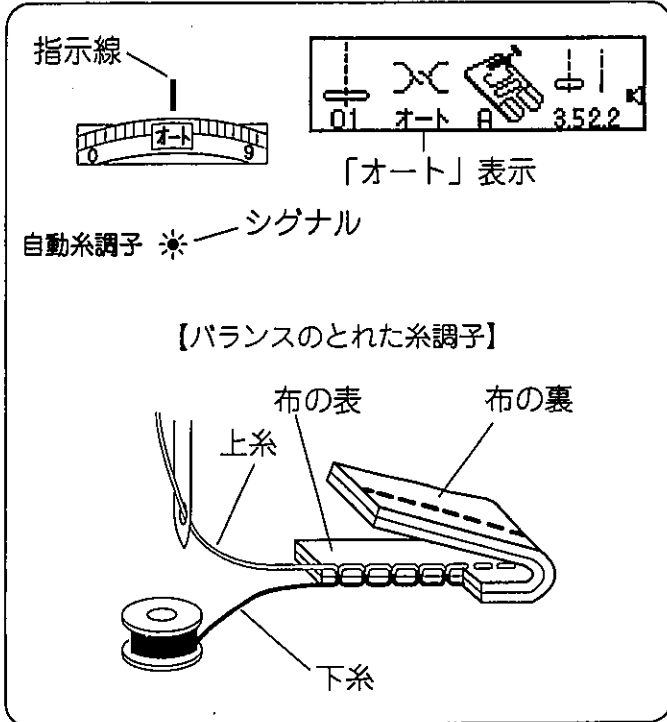
① 押さえ上げをあげ、糸の端を指で押さえておきます。

② 上下停針ボタンを2度押し、針をあげます。上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

③ 上糸・下糸を押さえの下にして、うしろへそろえて出します。

◎糸調子の合わせ方

★自動糸調子



このミシンは、指示線に糸調子ダイヤルの「オート」を合わせると、シグナルが点灯し、普通ぬい
のときにバランスよくぬえる糸調子に自動セット
されます。

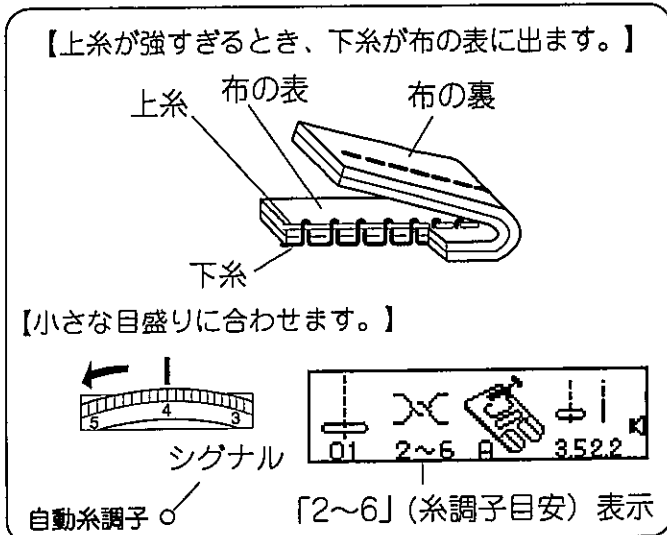
画面表示は、「オート」が表示されます。

※特殊なぬい方をする模様の中には、画面にマニ
ュアル糸調子の数値が表示されシグナルが点滅しま
すので、糸調子ダイヤルをマニュアル糸調子の数値に
セットしてください。

直線ぬいのはきは、上糸と下糸が布のほぼ中央で
交わります。

シグザグぬいのはきは、布の裏側に上糸が少し出
るくらいになります。

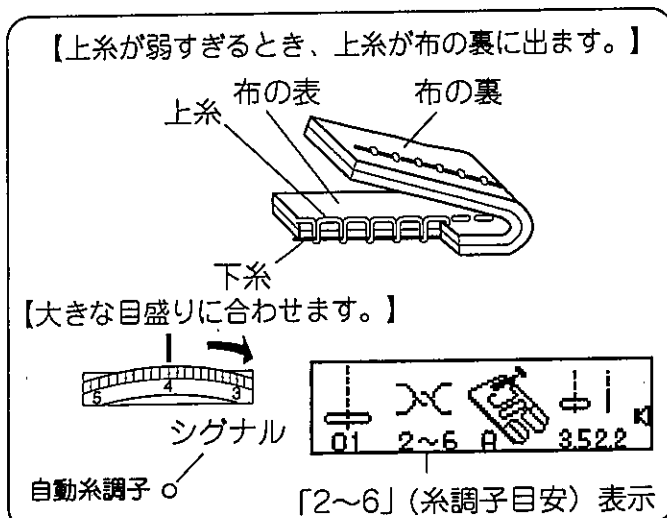
★マニュアル糸調子



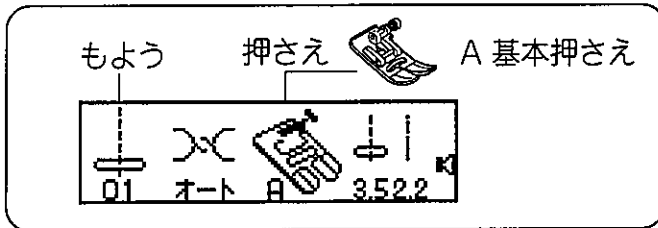
糸や布の種類によって糸調子のバランスがとれな
いときは、糸調子ダイヤルを「0~9」の範囲に合
わせると、シグナルは消灯し、マニュアル糸調子
となり、上糸と下糸の交わる位置を自由に調節で
きます。

画面表示は、一般的なぬいの糸調子目安が表示さ
れます。

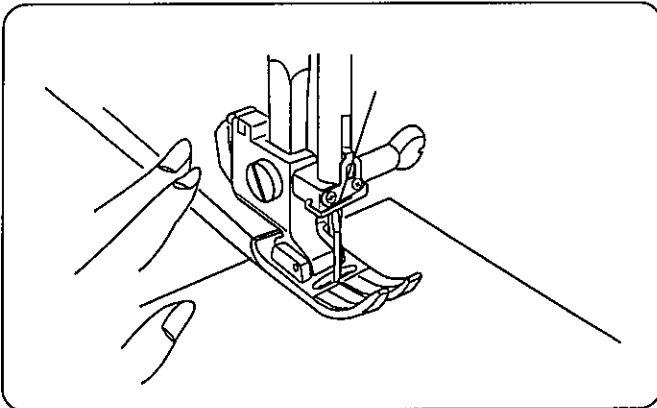
(図の「2~6」は直線もよりの例です。)



◎直線ぬい



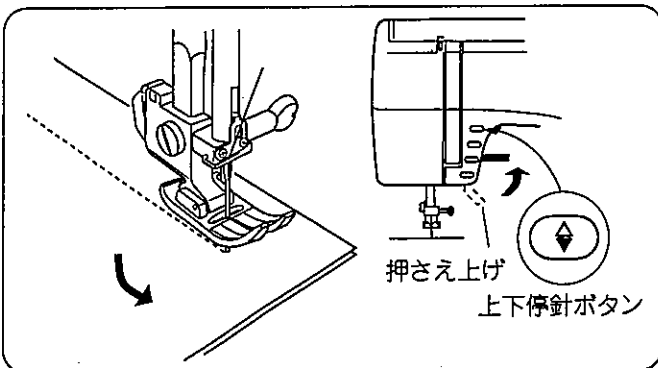
★ぬい始め



糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手前にまわして、ぬい始めの位置に針をさします。
押さえ上げをさげて、ゆっくりぬい始めます。

※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押しながら返しぬいする方法と、自動返しぬいの付いたもよう#03を使う方法があります。
(26ページをごらんください。)

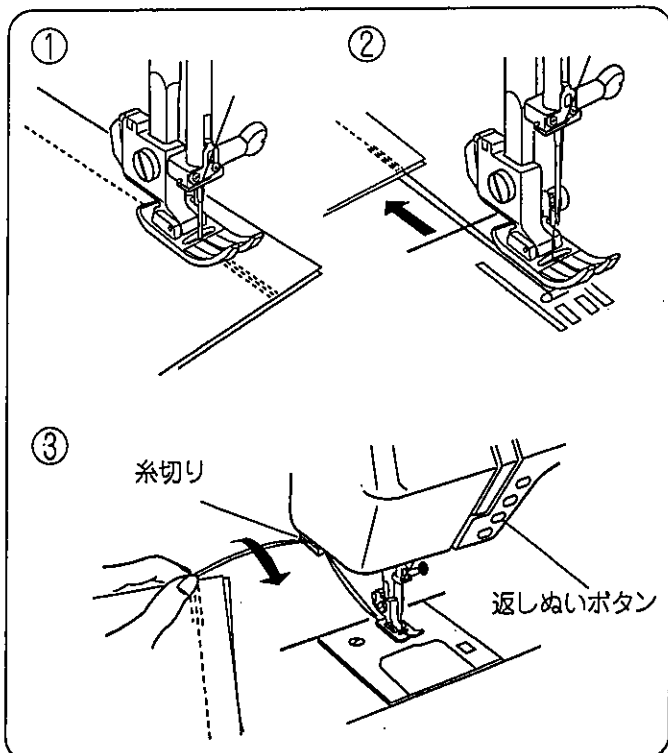
★ぬい方向の変更



ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押さえ上げをあげます。針を布にさしたまま、ぬい方向を変えます。
押さえ上げをさげて、ふたたびぬい始めます。

※ぬい方向をかえるとき、コーナリングガイドを目安にすると便利です。(24ページをごらんください。)

★ぬい終わり



【返しぬい】

①返しぬいボタンを押しながら数針返しぬいをします。

※もよう#03のときは、返しぬいボタンを一度押すだけで自動的に返しぬいをします。

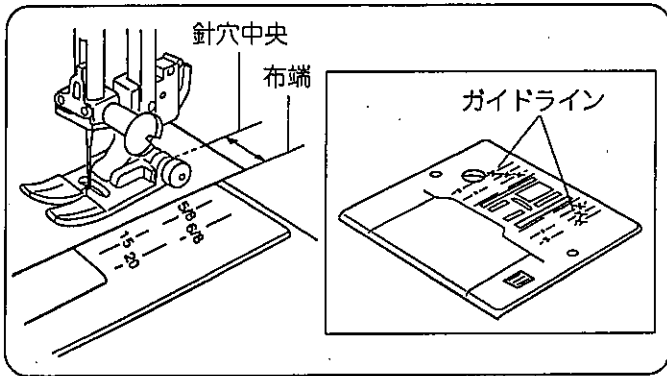
【布の引き出し方】

②押さえ上げをあげて、布を向こう側に静かに引き出します。

【糸切り】

③布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

◎針板ガイドラインの利用

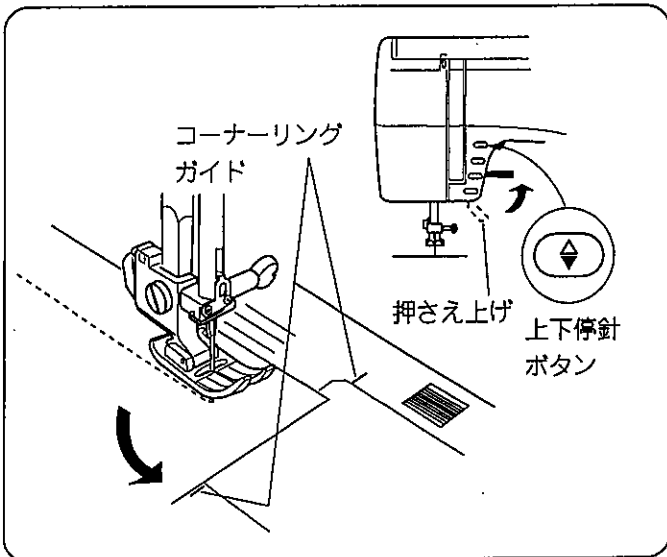


布端を針板ガイドラインに合わせてぬいます。

数字	15	20	4/8	5/8	6/8
間かく(cm)	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

※数字は針穴中央からガイドライン（布端）までの距離です。

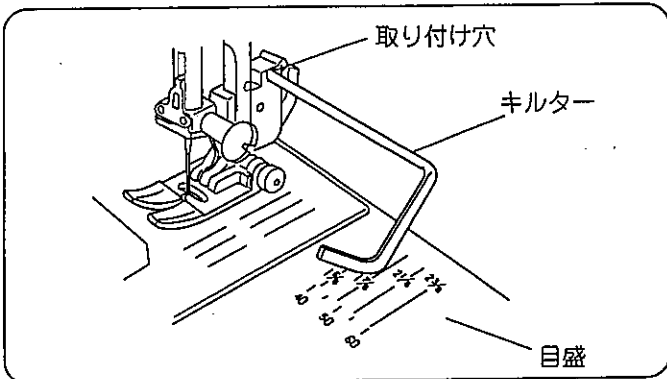
◎コーナーリングガイドの利用



【布端から1.6cmのところまで直角にぬい方向をかえるとき】

- ①布端がコーナーリングガイドのところに来たらミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布にさします。
- ②押さえ上げをあげ、布を回転させてガイドラインの5/8（1.6cm）にあ合わせます。
- ③押さえ上げを下げ、ミシンをスタートします。

◎キルターガイドの利用



キルターガイドは、キルティングのぬい目間かくを決めるときを目盛です。

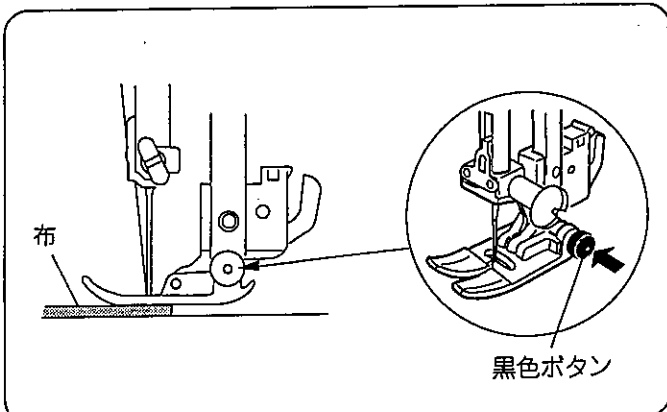
キルターを取り付け穴に差し込んで、目盛に合わせます。

ぬい方は、キルティング46ページをごらんください。

数字	40	50	60	15/8	17/8	2 1/8	2 3/8
間かく(cm)	4.0	5.0	6.0	4.1	4.8	5.4	6.0

※数字は、針落ち中央からの距離です。

◎厚手の布のぬい始め方

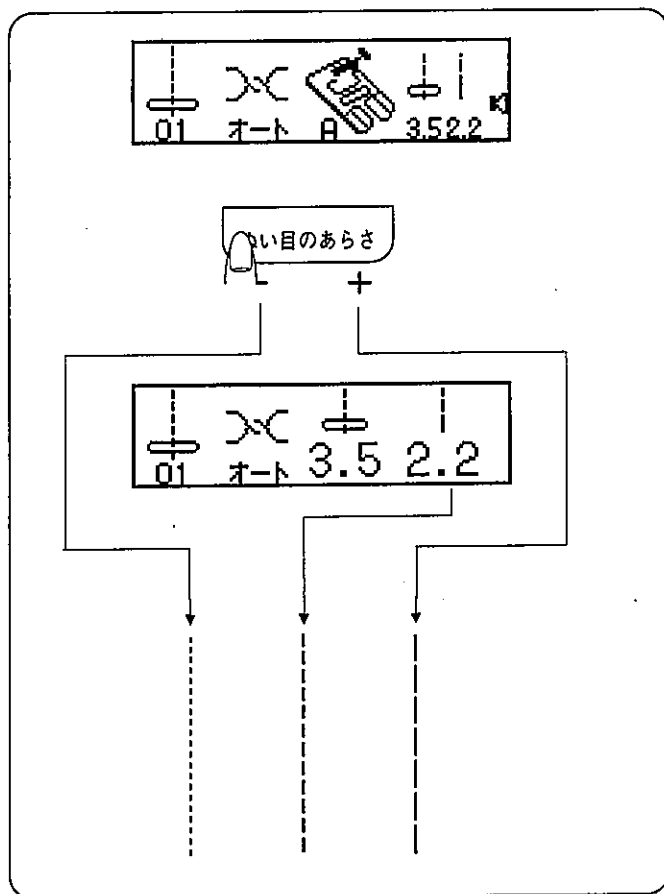


①ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押し込みます。

②ボタンを押したままで押さえ上げを下げます。

③ボタンから手をはなし、ぬい始めます。

◎ぬい目のあらかさをかえるとき



ぬい目あらかさキーを押すと、自動セットの数値2.2が表示されます。

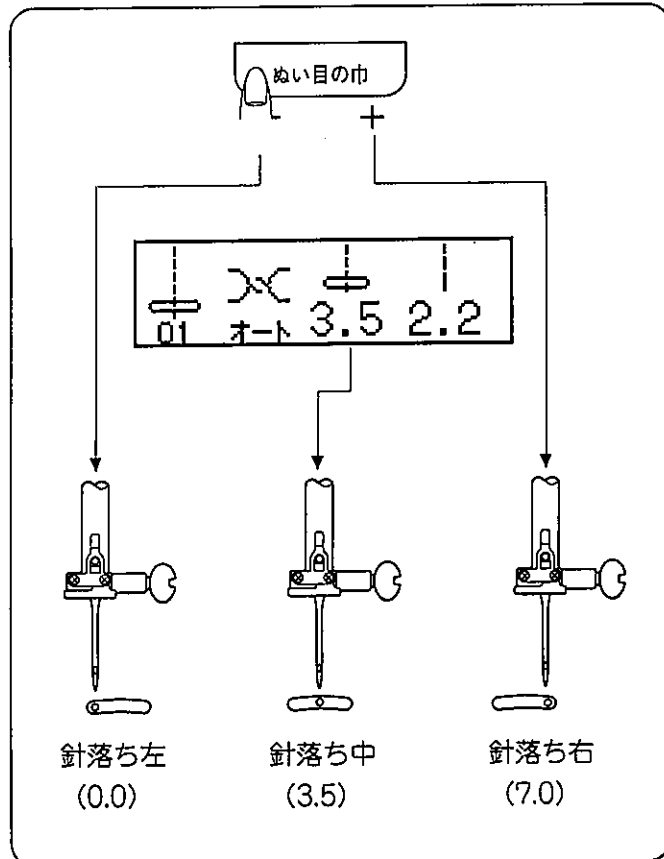
※0~5の範囲でかえることができます。

①「-」キーを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目が細くなります。

②「+」キーを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目があらかくなります。

※返しぬいのぬい目あらかさは、2.5以上にはなりません。

◎直線ぬいの針落ち位置をかえるとき



ぬい目の巾キーを押して、針落ち位置をかえます。

①「-」キーを押すと針が左へ移動します。

②「+」キーを押すと針が右へ移動します。

※もよう




は針落ち位置をかえることができるもようです。

●いろいろな実用ぬい

◎直線状のぬい目いろいろ


【地ぬい】

もよう 押さえ



A基本押さえ
または、
Eファスナー押さえ

もよう 押さえ




A基本押さえ

地ぬいやファスナーつけに使用します。

端ぬいに使用します。

【自動返しぬい】

もよう 押さえ




A基本押さえ

しっかりしたほつれ止めを自動的に行うときに使用します。(ぬい終わりにきたら、返しぬいボタン(Ⓜ)を一度押します。数針返しぬいをして自動的に止まります。)

【三重ぬい】

もよう 押さえ




A基本押さえ

伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利です。

【自動止めぬい】

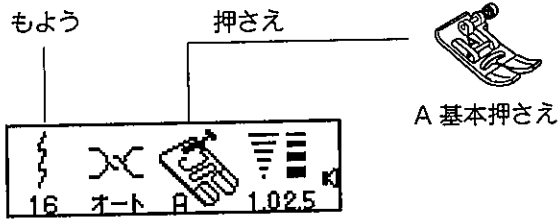
もよう 押さえ



A基本押さえ

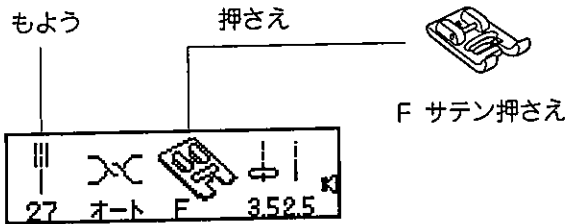
目立たない止めぬいを自動的に行うときに使用します。(ぬい終わりにきたら、返しぬいボタン(Ⓜ)を一度押します。数針止めぬいをして自動的に止まります。)

【伸縮ぬい】



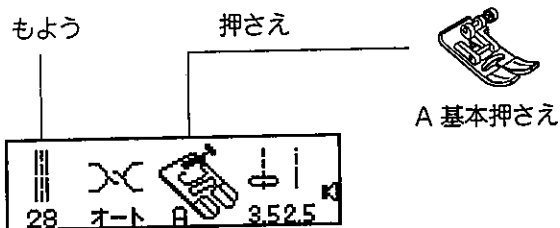
布が伸びても、糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目です。

【飾りぬい】



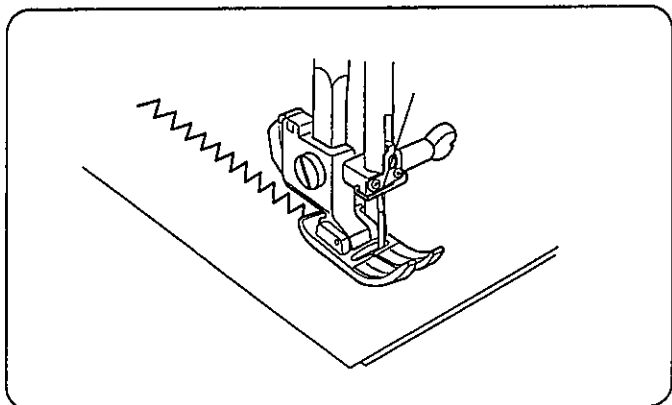
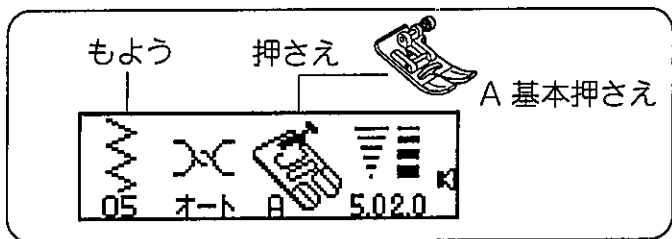
飾りぬいや、キルティングなどに利用します。

【サドルステッチ】



ぬい目のあらい三重ぬいです。飾りぬいや刺し子風にも使えます。

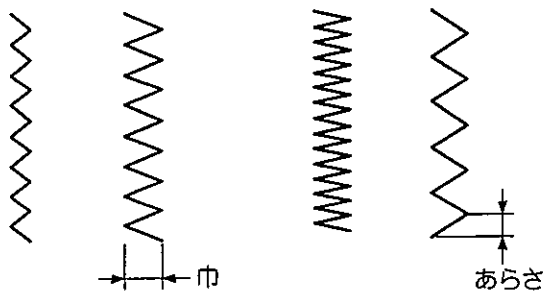
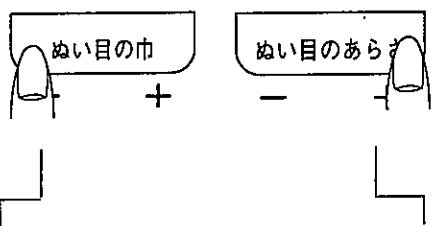
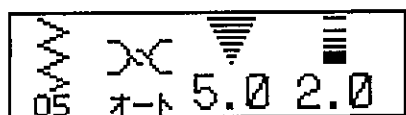
◎シグザグぬい



伸縮性のある布（ニット、ジャージー、トリコットなど）には接着芯を貼るとききれいにぬえます。

※ぬい目の巾を調節するときは、針を布からあげてください。

【ぬい目の巾・あらかさをかえるとき】



巾がせまくなります。
巾が広くなります。

ぬい目が細くなります。
ぬい目があらかくなります。

ぬい目の巾キーまたはぬい目のあらかさキーを押すと、自動セットの数値5.0（巾）および2.0（あらかさ）が表示されます。

【ぬい目の巾をかえるとき】

※0～7.0の範囲でかえることができます。

「-」キーを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目の巾は、せまくなります。

「+」キーを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目の巾は、広くなります。

【ぬい目のあらかさをかえるとき】

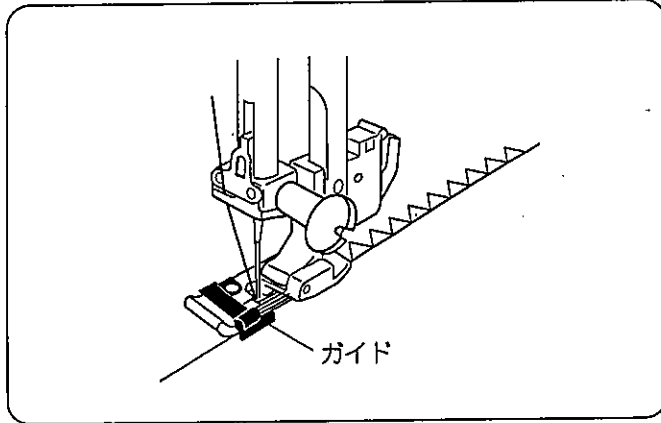
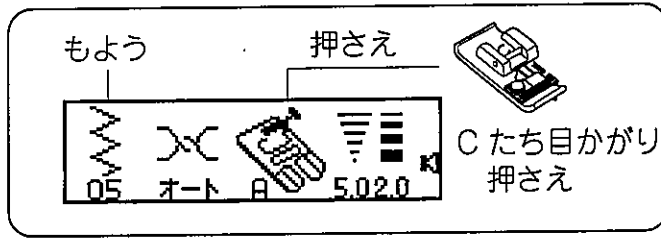
※0.2～4.5の範囲でかえることができます。

「-」キーを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目のあらかさは、細くなります。

「+」キーを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目のあらかさは、あらかくなります。

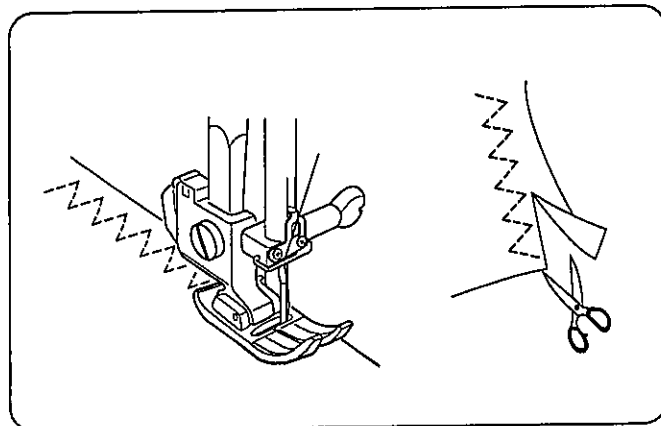
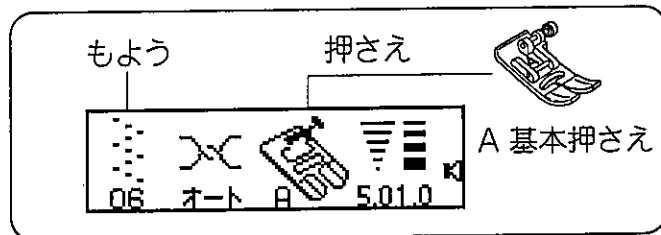
※返しぬいのぬい目あらかさは、2.5以上にはなりません。

◎ジグザグぬいたち目かがり



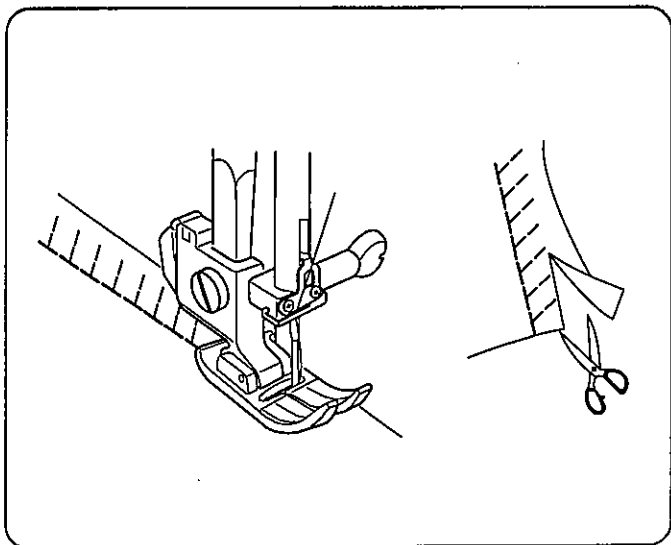
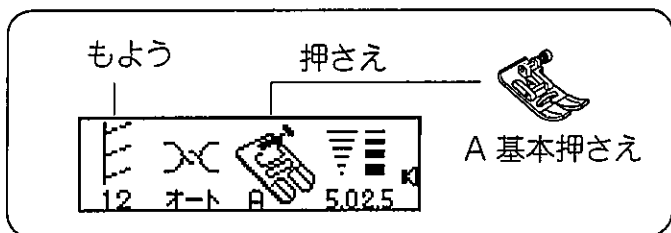
布端のほつれ止めとして広く利用します。
布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬい
ます。

◎トリコットぬいたち目かがり



ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、
布端の返り防止などに利用します。
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところ
をぬい目近くで切り落とします。

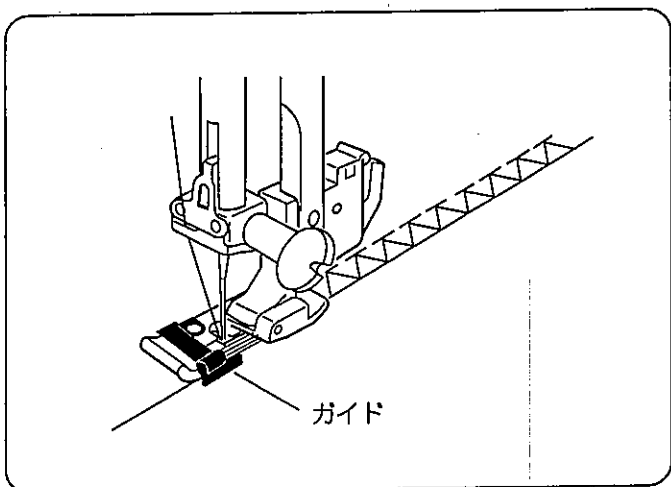
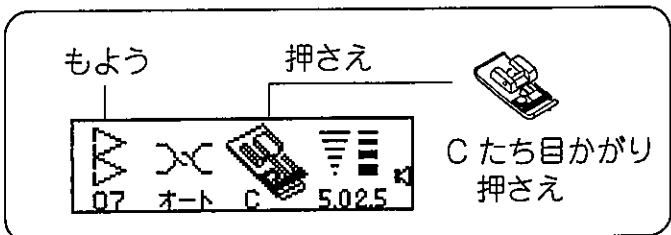
◎ニットステッチ



ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なところをぬい目の近くで切り落とし、片方にたおして仕上げます。

◎その他のかがりぬい

【かがりぬい (1)】

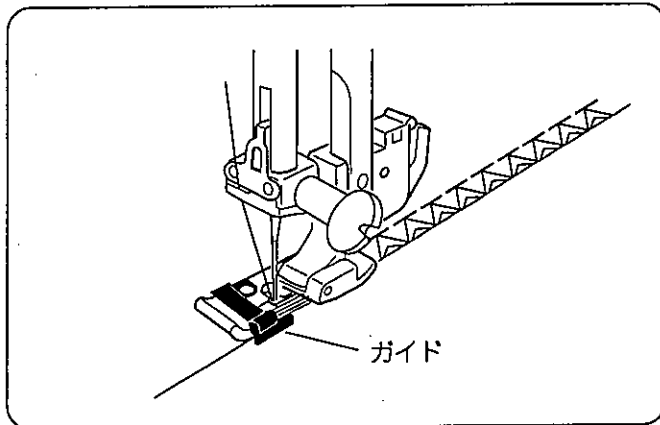
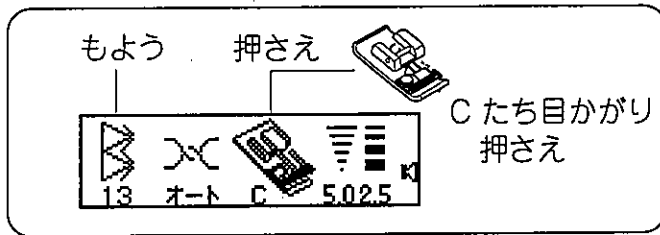


地ぬいを兼ねたかがりぬいに利用します。
また、布端のほつれ止めとしても使えます。
布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。

※ぬい目の巾は、5.0～7.0でぬいます。

※目のとびやすい伸縮性の布や目のつんだ布には、ブルー針を使用すると効果があります。

【かがりぬい (2)】

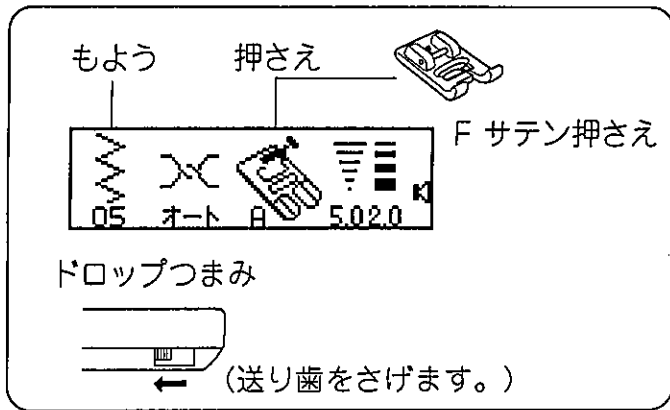


中、厚地のしっかりした布端をかがるときに利用
します。

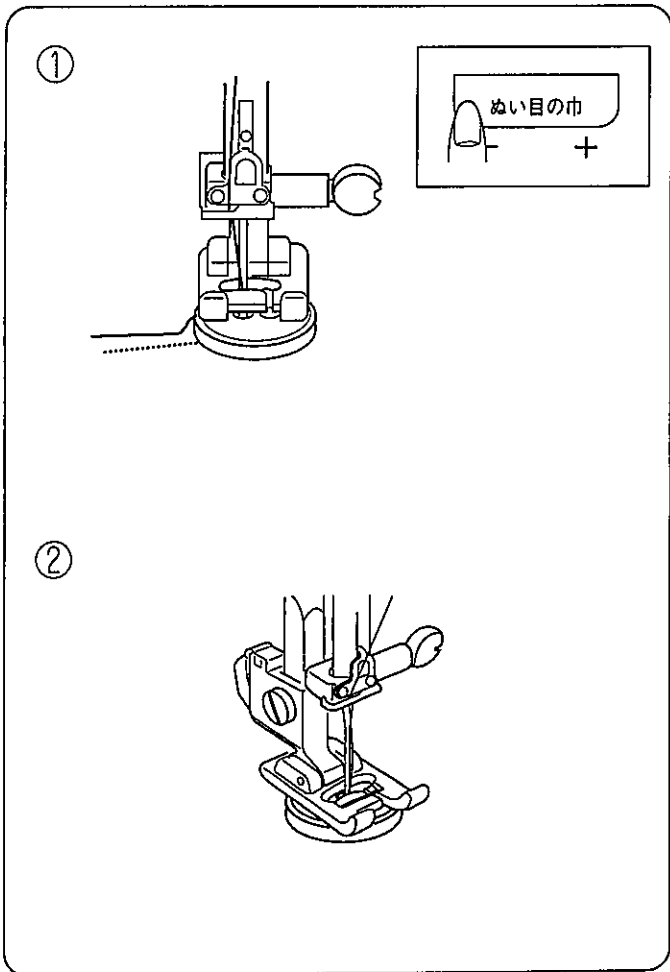
布端を押さえのガイドにあててぬいます。

※ぬい目の巾は、5.0~7.0でぬいます。

◎ボタンつけ



ドロップつまみを動かして送り歯をさげます。
(送り歯のさげかたは13ページをごらんください。)



① ぬい目の巾キーを押し、ボタン穴の巾に針がおりるように「-」、「+」キーで調節します。

はずみ車を手でまわして、ぬい目の巾とボタンの左右の穴が同じ位置に来るようにして押さえ上げをさげます。

※模様ぬい始めには止めぬいが入っていますので、はずみ車をまわしたとき、左位置で数針上下を繰り返します。
左右に針が振りはじめてからボタン穴の巾に合わせてください。

② はずみ車を手前にまわして、針が左右の穴におりることを確かめます。

10針ほどぬったら、上糸と下糸を20cmくらい残して切ります。

※ぬい始めの上糸と下糸は、ハサミで切り取ってください。

③ 押さえ上げをあげて布を引き出し、ぬい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。

※ぬい終わったらドロップつまみをもどして、送り歯をあげます。

◎センサーボタンホール

★ボタンホールの種類

ダイレクトモードのとき、テンキー「8」「9」「0」を押すと、3種類のボタンホールが選べます。また、それぞれのキーで3種類の巾を選ぶことができます。
 ※選択モードで「08」「09」「10」を選んだときには、巾をかえることはできません。

【スクエア（両止め）】# 08・・・シャツ・ブラウスなどに使います。

※ダイレクト
○選択モード

モード

中 → 「8」キーをもう一度押す → 小 → 「8」キーをもう一度押す → 大

08 オート R 4.50.4 08 オート R 3.50.4 08 オート R 6.00.4

【ラウンド（片止め）】# 09・・・シャツ・ブラウスなどの薄い素材に使います。

※ダイレクト
○選択モード

モード

中 → 「9」キーをもう一度押す → 小 → 「9」キーをもう一度押す → 大

09 オート R 4.00.4

【キーホール（鳩目穴）^{はと}】# 10・・・ジャケットなどの厚い素材に使います。

※ダイレクト
○選択モード

モード

大 → 「0」キーをもう一度押す → 中 → 「0」キーをもう一度押す → 小

10 オート R 7.00.4

(選択順序は大中小になります。)

【スクエア（両止め）】# 17/ # 18・・・伸縮性のある布に使います。

17

18

17 オート R 5.00.7

18 オート R 5.00.7

※ボタンホール# 17・# 18は、選択モードでテンキーで番号を入力します。 ○ダイレクト
※選択モード

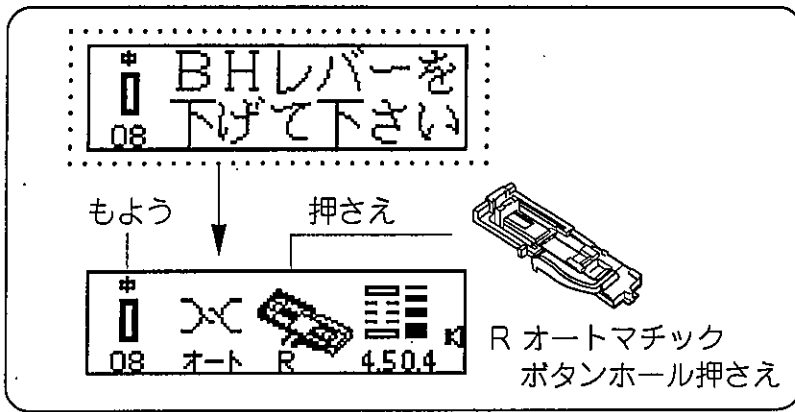
モード

※ぬい目の巾をかえるには、36ページを
ごらんください。

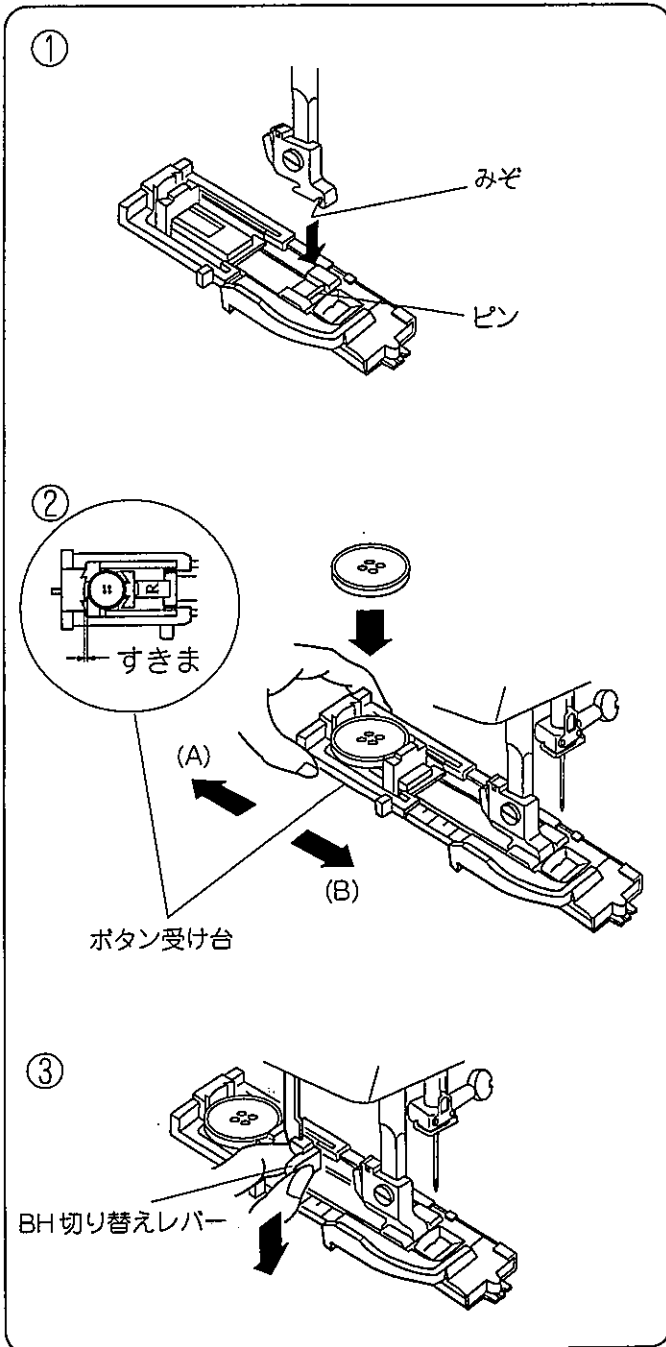
【注意事項】

- ※ボタンホールの長さは、ボタンをセットするだけで自動的に決まります。
- ※ボタンの直径が2.5cmまで、ボタンホールができます。
- ※必ず試しぬいをして、正しくぬえることを確認しましょう。
- ※伸縮性のある布には、裏に芯地を貼り、押さえ圧ダイヤルを「1」または、「2」にしてぬいます。

★ぬい方



【センサーボタンホール# 08】

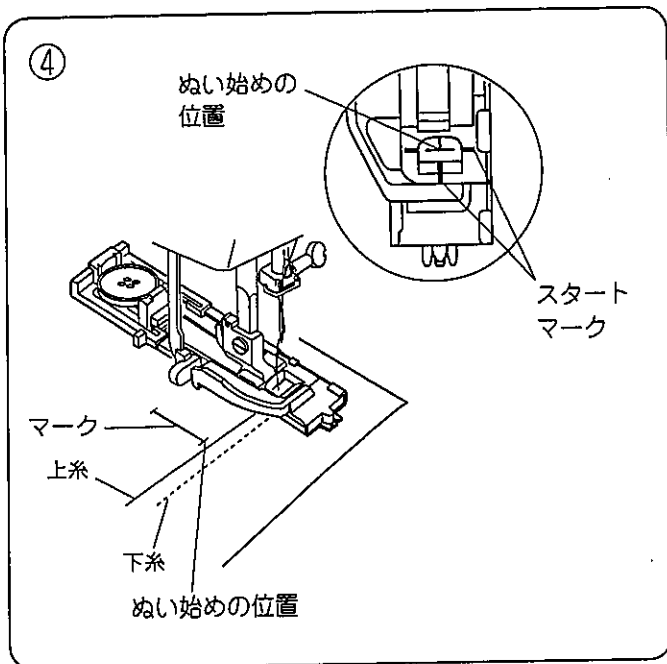


①上下停針ボタンを押して針をあげ、押さえ上げをあげます。
 押さえホルダーのみぞと押さえのピンを合わせ、
 押さえ上げをさげてセットします。

②ボタン受け台を(A)の方向へ引き、ボタンを乗せて(B)方向にもどしてはさみ込みます。

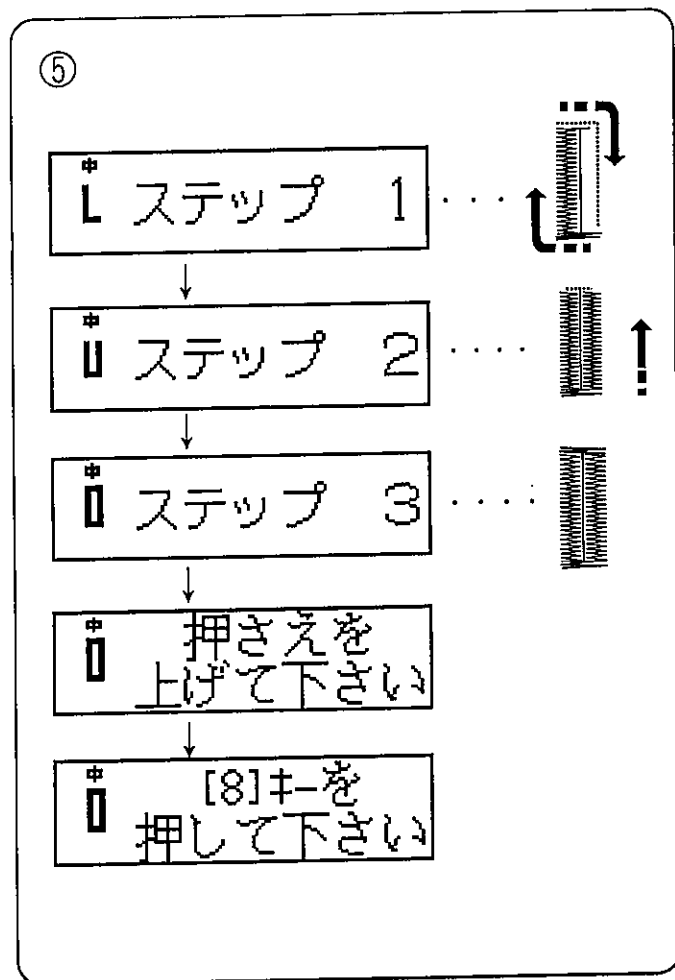
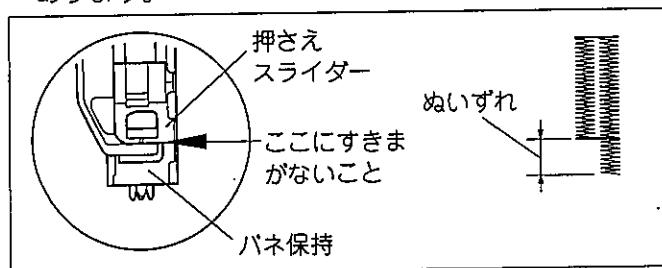
※ボタン受け台のすきまをあけて位置決めをすると、
 その分大きいボタンホールができます。

③BH切り替えレバーを止まるまでいっぱい引きさげます。



④ 押さえ上げをあげて上糸を押さえの穴から下に
通し、横に引き出して下糸とそろえます。
布を入れ、押さえのスタートマークとぬい始め
の位置を合わせ、針をさして、押さえ上げをさ
げます。

※ ぬい始めに、押さえスライダーとバネ保持のあいだ
にすきまがないことを確認してください。すきまが
あると、ぬい終わったときぬいずれがおこること
があります。



⑤ ミシンをスタートさせます。
ボタンホールをぬい終わったところで、自動的
に止まります。

【ぬっていく順序】

ステップ 1・・・かんぬきと左側のボタンホール
ぬいをします。



ステップ 2・・・右側のボタンホールぬいをしま
す。

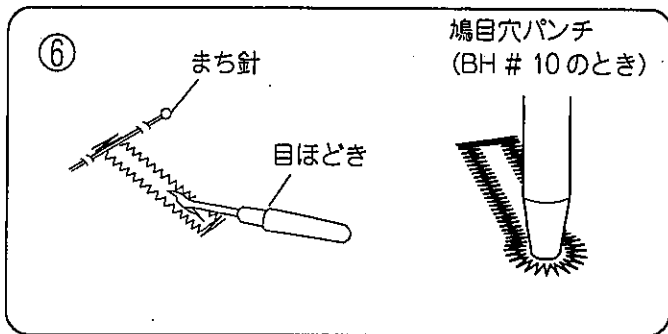
ステップ 3・・・かんぬきと止めぬいをして自動
的に止まります。

押さえ上げをあげます。

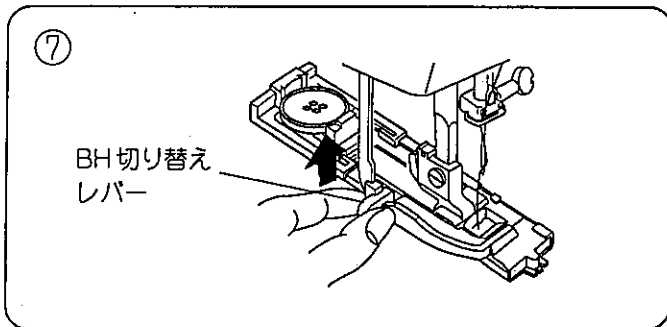
引き続きボタンホールをぬう場合には、テンキー
「8」を押します。

押さえ上げをさげて、ミシンをスタートします。

※ ボタンホール   は、続けてぬう場合、再びミシ
ンをスタートするだけでぬうことができます。

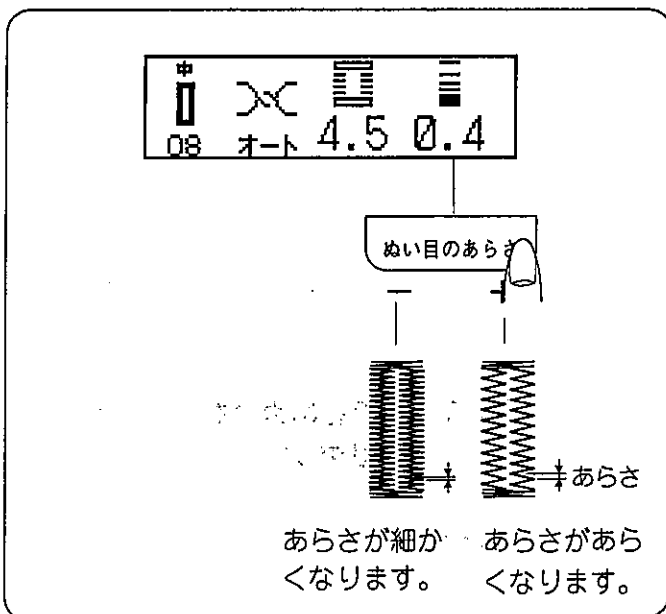


⑥ かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかかった糸を切らないように切り開きます。



⑦ ボタンホールぬいが終わったら、BH切り替えレバーを止まるまでいっぱい押しあげて、もとじてください。

★ぬい目のあらかさ調節



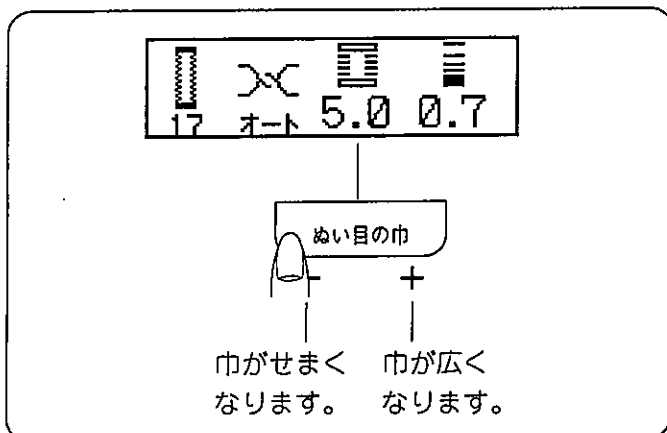
【ぬい目のあらかさをかえるとき】

ぬい目のあらかさキーを押すと、自動セットされている数値0.4が表示されます。

「-」または「+」キーを押して0.2～0.8の範囲でかえてください。

※ボタンホール# 17、# 18のぬい目のあらかさをかえるには0.5～1.0の範囲でかえてください。

★ぬい目の巾調節・・・もよう# 17/18

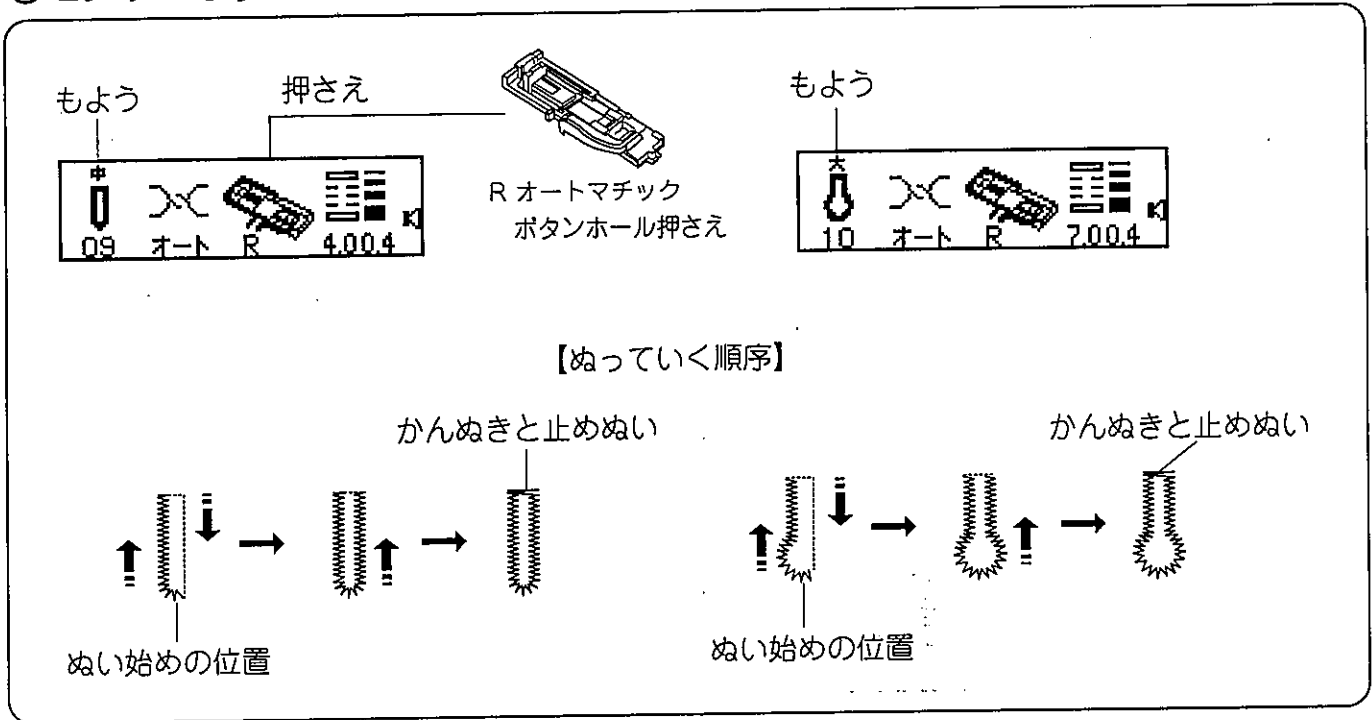


ぬい目の巾キーを押すと、自動セットされている数値5.0が表示されます。

「-」または「+」キーを押して2.5～7.0の範囲でかえてください。

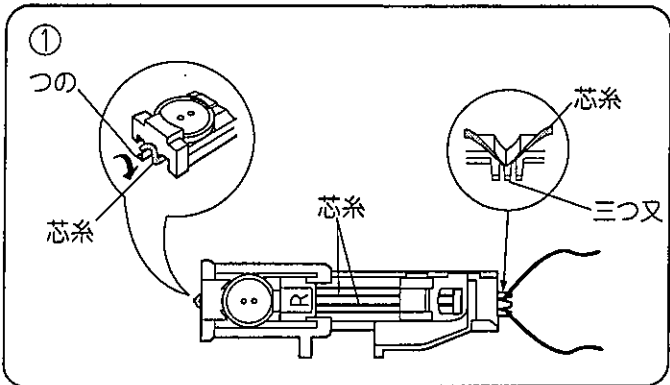
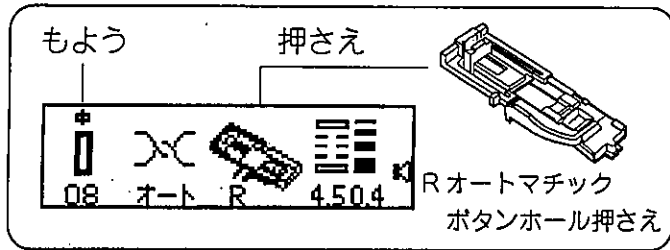
※もよう# 08、# 09、# 10のぬい目の巾は、ぬい目の巾キーではかえられません。(ぬい目の巾の設定は33ページをごらんください。)

◎センサーボタンホール (# 09/ # 10)

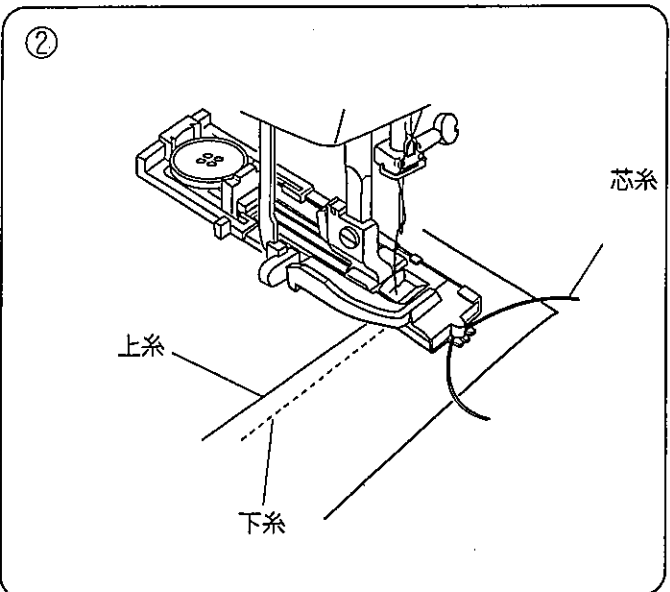


※ぬい方およびぬい目のあらし調節は、センサーボタンホール# 08と同じです。

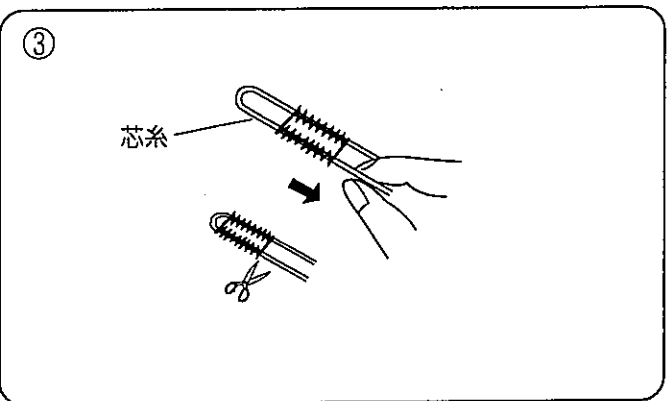
◎芯入りセンサーボタンホール



- ① R オートマチックボタンホール押さえを押さえホルダーにセットして、芯糸の輪を押さえのうしろ側にあるつのにかけ、押さえの下から手前に平行になるように引き出し、前側の三つ又にはさみます。
ぬい目の巾は芯糸に合わせてセットします。



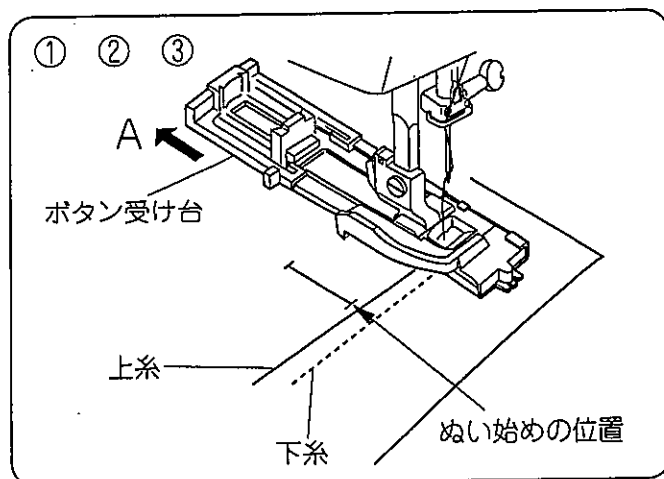
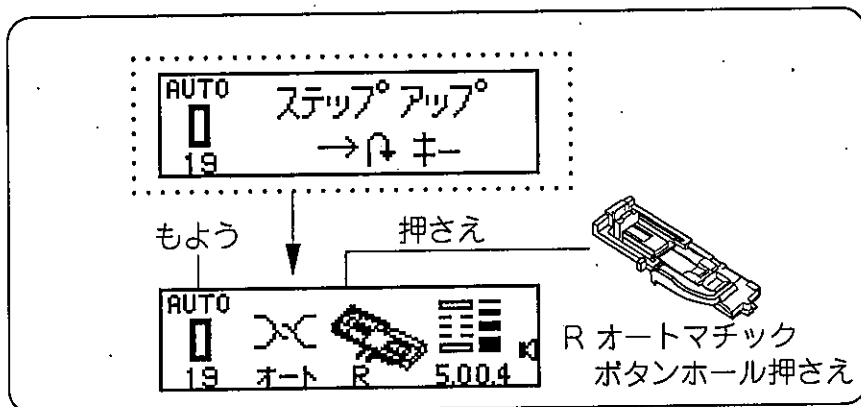
- ② 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。ぬい始めの位置に針をさして押さえ上げをさげます。
ミシンをスタートさせて、センサーボタンホールの手順と同じようにぬいます。



- ③ 左側の芯糸を引いて、たるみをなくし余分な糸を切ります。

※穴のあけ方は、36 ページをごらんください。

◎オートボタンホール (# 19)



- ① ボタン受け台を A の方向に一杯に引き出します。
- ② 上糸を押さええの穴から下に通し、横に引き出して上糸とそろえます。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。

【ぬっていく順序】

④ ステップ 1

返しぬいボタン

⑤ ステップ 2

⑥ ステップ 3

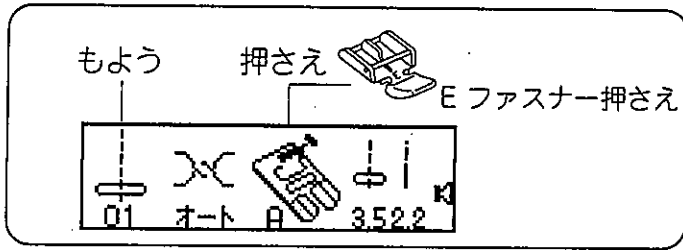
⑦

- ④ ステップ 1・・・ 左側のボタンホールをぬい必要な長さまでぬったらミシンを止め、返しぬいボタンを押します。
- ⑤ ステップ 2・・・ かんぬきと右側のボタンホールをぬい、ぬい始めの位置にもどったらミシンを止めて、返しぬいボタンを押します。
- ⑥ ステップ 3・・・ かんぬきと止めぬいをして自動的に止まるまでぬいます。
- ⑦ 押さえ上げをあげます。
ミシンは、一度ぬったボタンホールの大きさを記憶しています。二度目からは、同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。

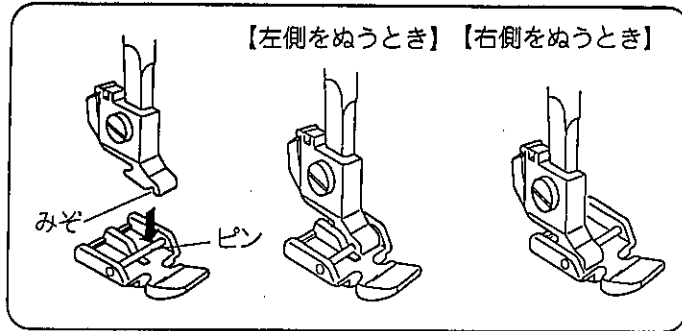
※ボタンホールの大きさを変更したいときには、もよう # 19 をもう一度選択してください。

※ボタンホールの左右のぬい目あらがさがそろわないときには、54 ページをごらんください。

◎ファスナーつけ



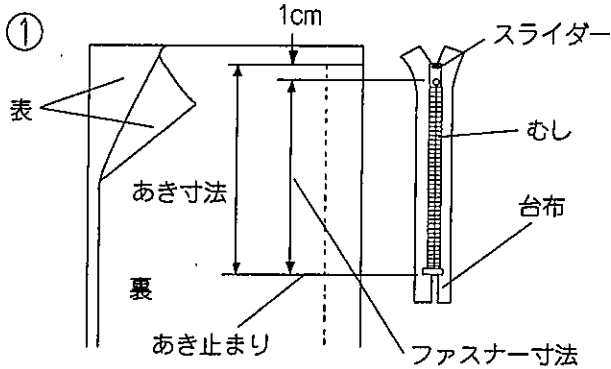
★ファスナー押さえの付け方



左側をぬうときは、押さえホルダーのみぞにピンを合わせて右側にセットします。
右側をぬうときは、左側にセットします。

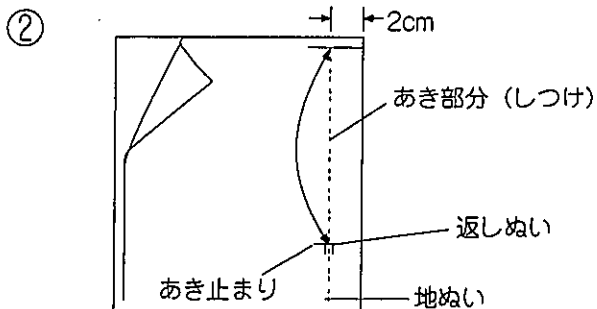
★準備 (例：左脇あきのぬい方)

【ファスナーのあき寸法を確かめる】



①ファスナーのあき寸法を確かめます。
あき寸法はファスナー寸法に1cmプラスした寸法です。

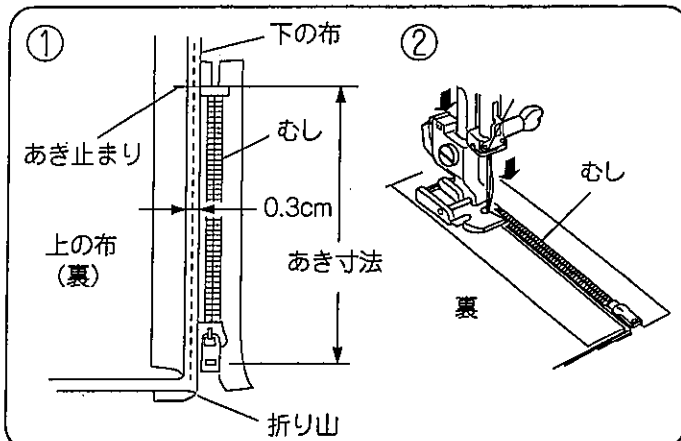
【仮ぬいのしつけと地ぬいをする】



②仮ぬいのしつけと地ぬいをします。
布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。
あき部分は、ぬい目のあかさ4.0でしつけをします。

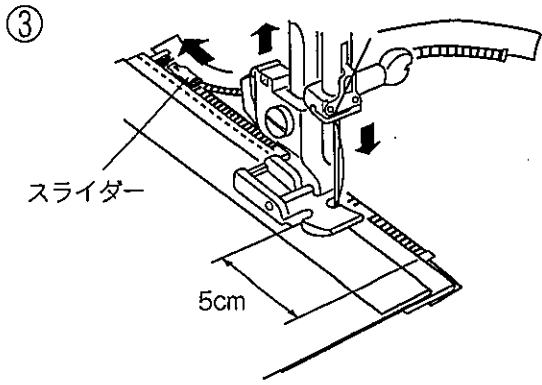
※しつけは、ほどこしやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。

★ぬい方

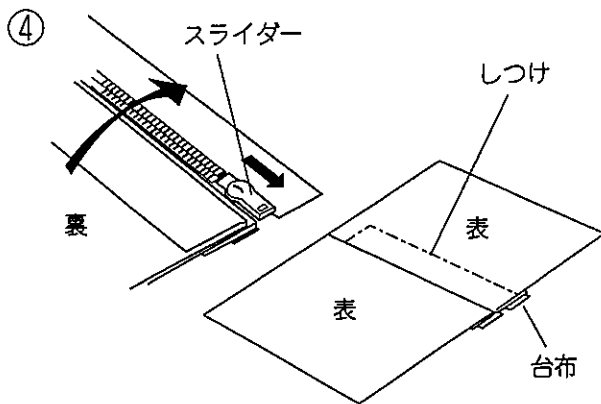


①ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを0.3cm出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

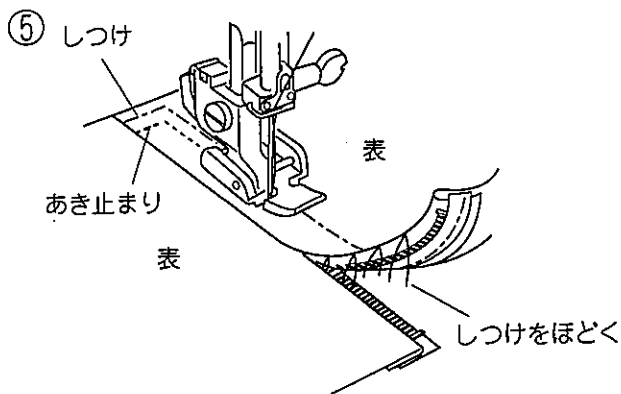
②押さえホルダーをファスナー押さえの右側にセットして、むしのきわに押さえの端をあてて、あき止まりからぬいます。



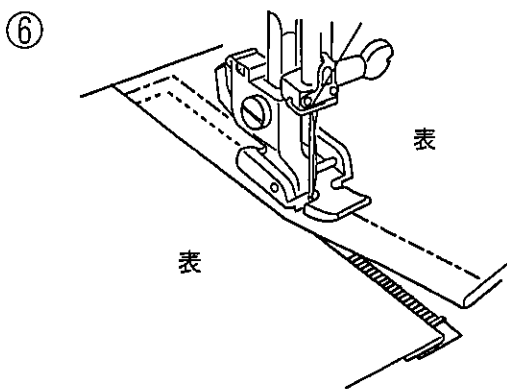
③ファスナーの端から5cmほど手前でミシンを止め、針を布にさします。
 押さえ上げをあげてスライダを押さえの向こう側にずらし、押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。



④ファスナーをとじ、スライダを上にあたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。
 かぶせた布と台布をしつけで止めます。

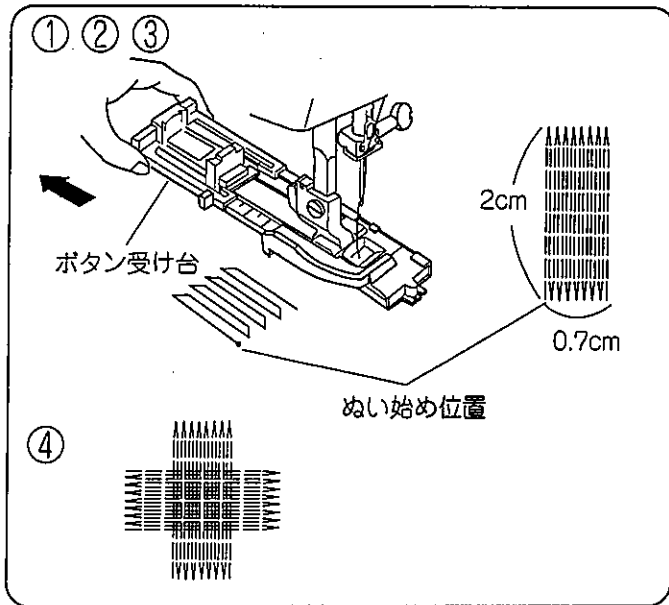
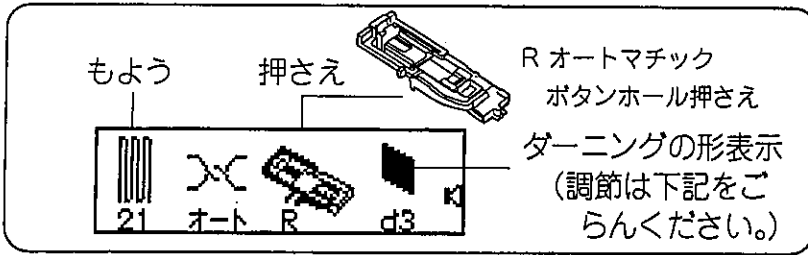


⑤押さえホルダーをファスナー押さえの左側に付けかえ、上の布のあき止まりを返しぬいし、むしのきわに押さえの端をあててぬいます。
 ファスナーの上側を5cmほど残したところで止め、はずみ車をまわして針をさげ、針を布にさしたままで押さえ上げをあげて、★準備の手順②でぬったしつけ糸をほどきます。



⑥スライダを押さえの向こう側にずらし、押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終わったら手順④でぬったしつけ糸をほどきます。

◎ダーニング (つくろいぬい)

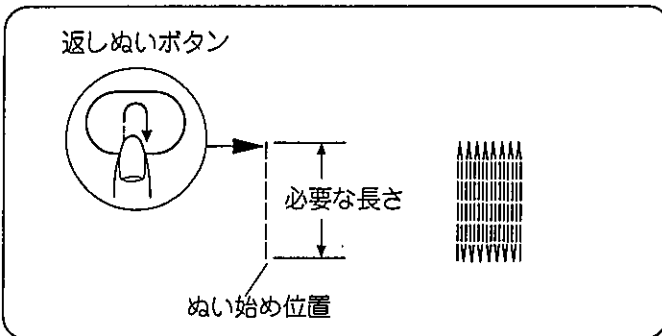


【ぬい】

- ① ボタン受け台を一杯に引き出します。
- ② 上糸を押さえ穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげ自動的に止まるまでぬいます。

※ 1回のぬいで、最大長さ約2cm、最大巾約0.7cmまでぬえます。

- ④ 布の向きをかえてくり返しぬいます。



【2cmより短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して、自動的に止まるまでぬいます。

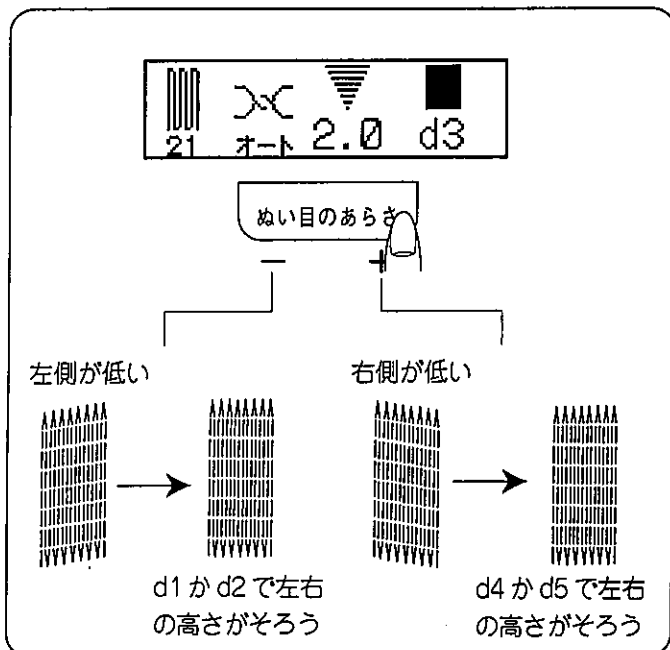
【ダーニングの記憶】

ぬいのあとに記憶キーを押すと、くり返し同じ長さのダーニングができます。

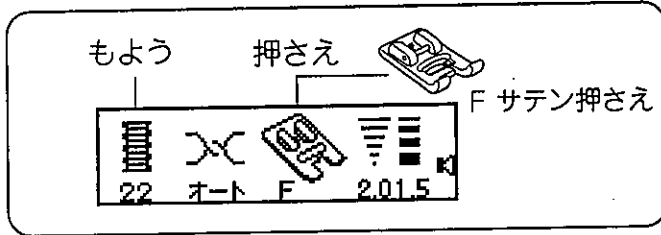
【ダーニングの形の整え方】

ダーニングのぬい始め (左側) と、ぬい終わり (右側) の高さがそろわないときは、ぬい目のあらしさキーで調節します。

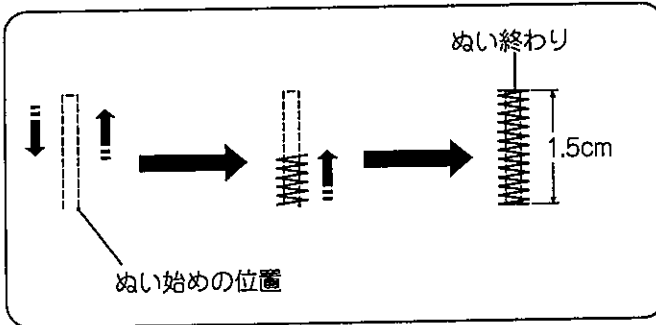
ぬい目のあらしさキー「-」または「+」を押すと自動セットされている d3 が表示されます。「-」キー、または「+」キーを押して、d1～d5 の範囲で調節します。



◎かんぬき止めぬい

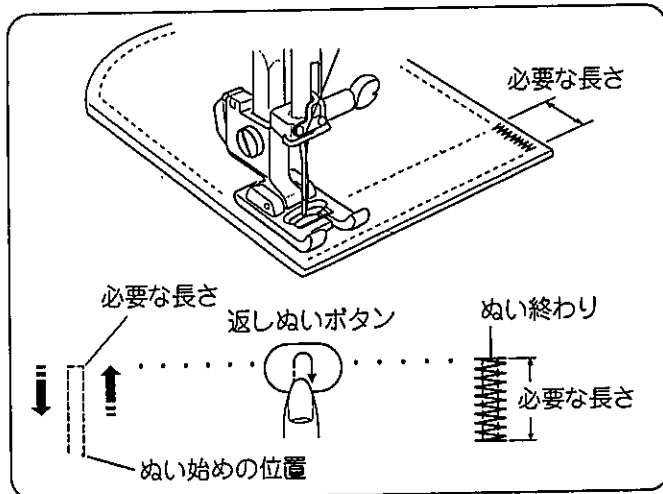


※ぬい目に力がかかって、ほつれやすい部分などに使うと、ぬい目がしっかりします。



1回のぬいで、オート値で1.5cmが自動的にぬえます。

ぬい目の巾、あらさをかえたいときは、
ぬい目の巾 または ぬい目のあらさ キーを押して調節してください。

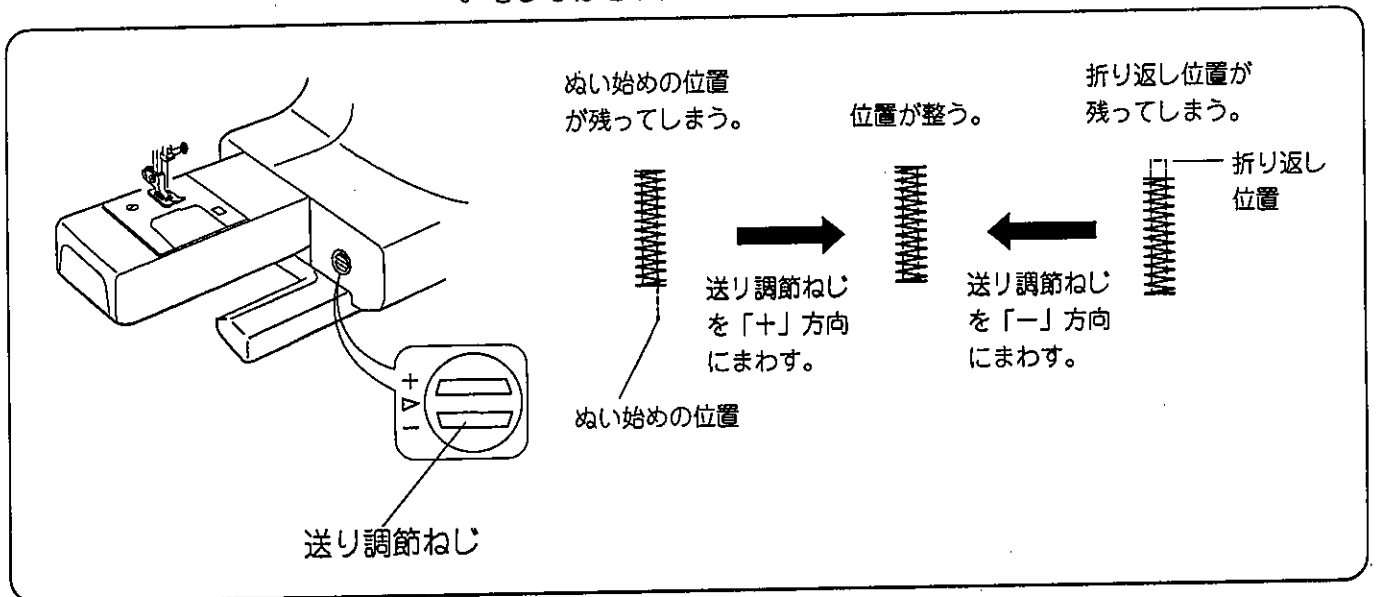


1.5cmより短い長さでぬうときは、必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押すと、その長さが決まります。

【かんぬき止めの記憶】

M 記憶 キーを押して、再スタートすると、くり返し同じ長さのかんぬき止めがぬえます。

【もよう位置ずれの整え方】 もよりの位置がずれる場合には、実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。



◎三つ巻きぬい

【直線三つ巻きぬい】

【シグザグ三つ巻きぬい】

(ぬい目の巾を 1.0～2.0 で使用します。)

①布端の長さ 6cm を約 0.3cm の巾で三つ折りにします。

※折り目のつきにくい布はアイロンで折り目をつけておくと、ぬいやすくなります。

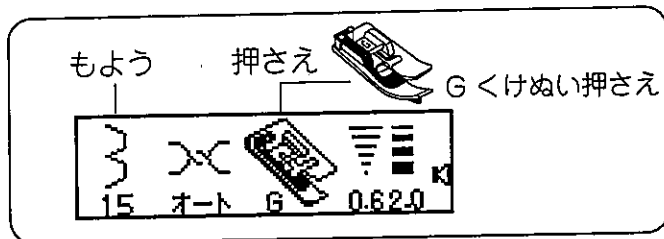
②ぬい始めの部分に針をさし、押さえ上げをさげます。上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、布端と押さえのガイドを合わせて1～2cm ぬいます。

③上下停針ボタンを押して針をさし、押さえ上げをあげて三つ折りの部分を開き、押さえのうずの中に巻き込みます。

④押さえ上げをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。

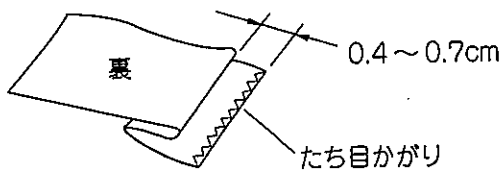
⑤布端のしまつをするとき、三つ巻きぬいの重なる部分は、布端を切り落として折り合わせ、厚みをうすくします。

◎くけぬい (まつりぬい)



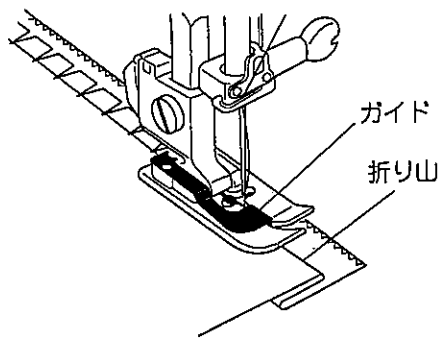
※もよう # 14 も使えます。

【布の折り方】



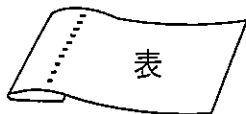
【ぬい】

①



① ガイドを折り山に合わせ、針が折り山から外れないように、ぬい目の巾キーで針落ち位置を調節してぬいます。

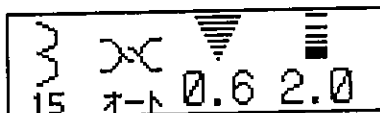
②



② ぬい終わったら布をひろげます。

※左側におりる針が必要以上に折り山にかかりすぎると、表に出るぬい目が大きくなり、きれいに仕上がりにませんのでご注意ください。

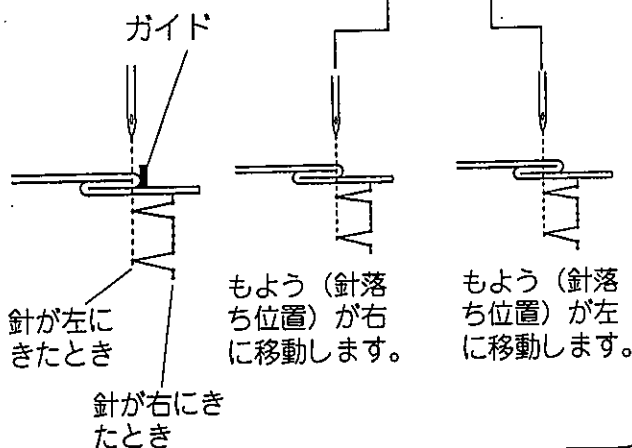
【針落ち位置をかえたいとき】



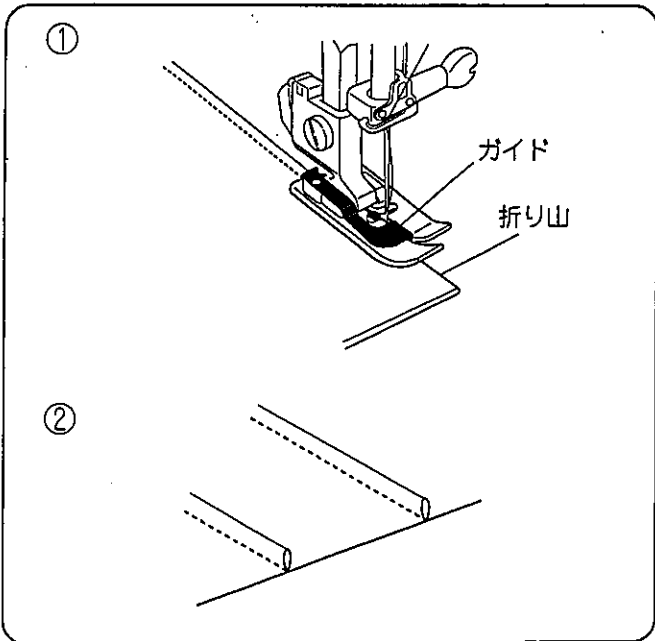
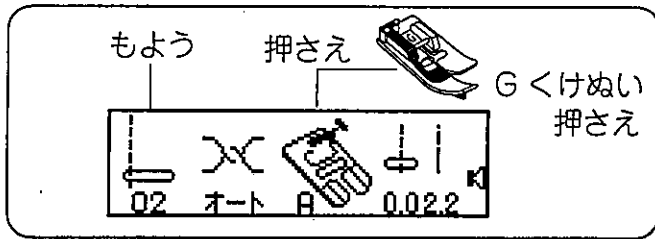
ぬい目の巾キーを押すと、自動セットされている数値0.6が表示されます。

※表示0.6は、ガイドから針落ちが左にきたときの巾を示します。

※もよう # 14、# 15は、ぬい目の巾は変化せず、もよう（針落ち位置）が左右に移動します。



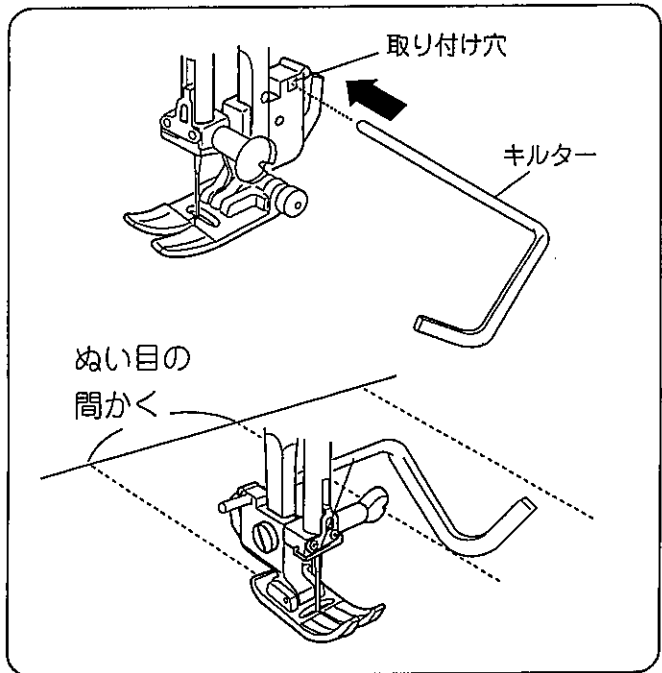
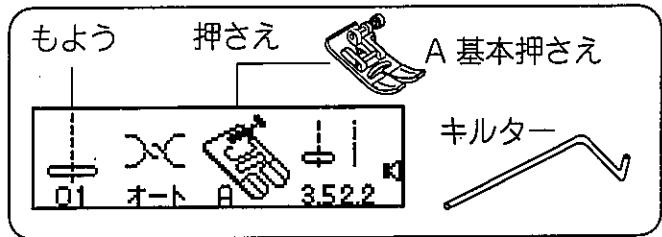
◎ピンタック



① 布の折り山をガイドに合わせてぬいます。

② ぬい終わったら片返しにして、アイロンをかけ整えます。

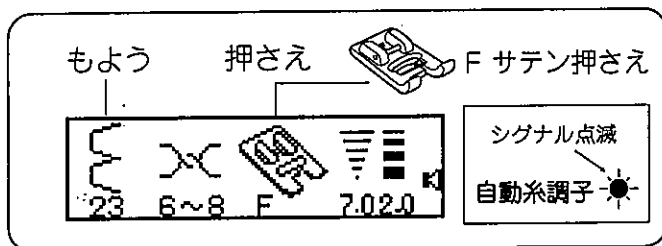
◎キルティング



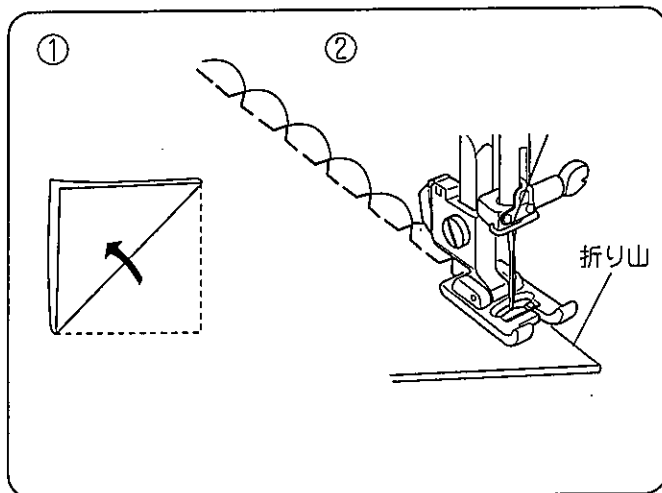
キルターを取り付け穴に入れ、ぬい目の間かくに合わせます。

※キルターは前にぬったぬい目をたどるのに使います。

◎シェルタック



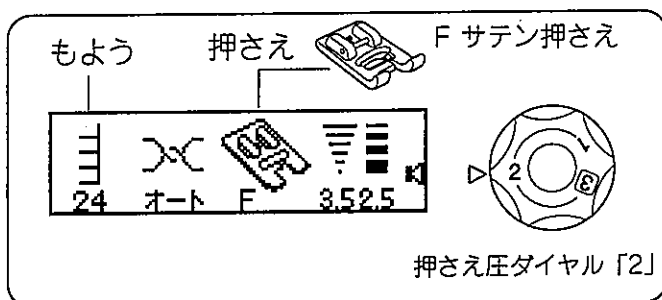
※もよう# 23 を選ぶと、画面の糸調子に6～8が表示されシグナルが点滅します。
マニュアル糸調子「6～8」でご使用ください。



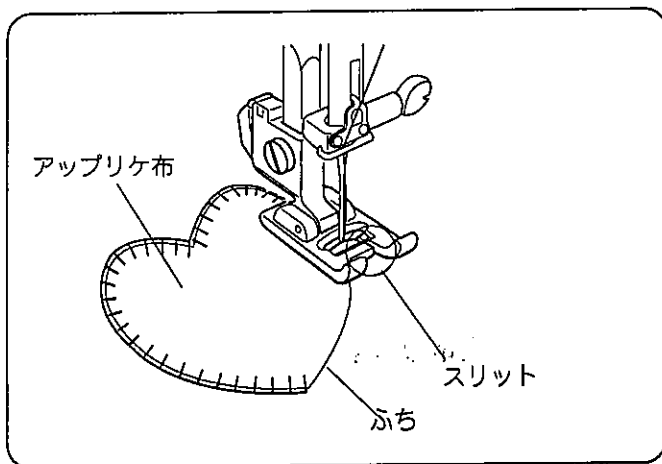
- ① 布をバイアスに二つ折りにします。
- ② 針が右にきたとき布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。
布を開き、アイロンで山を片側にたおします。

※糸調子は試しぬいをしてシェルタックの山がきれいになるように調整します。

◎アップリケ



※ほかに# 25、# 26などのもようが使えます。

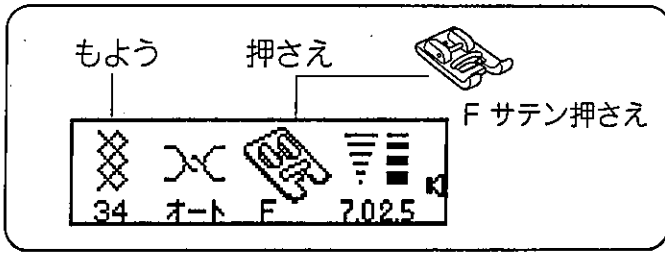


押さえ圧ダイヤルを「2」に合わせます。
アップリケ布を糊づけするか、しつけで止めます。
アップリケ布が針の左にくるようにし、スリットをアップリケ布のふちにそわせながらぬっていきます。

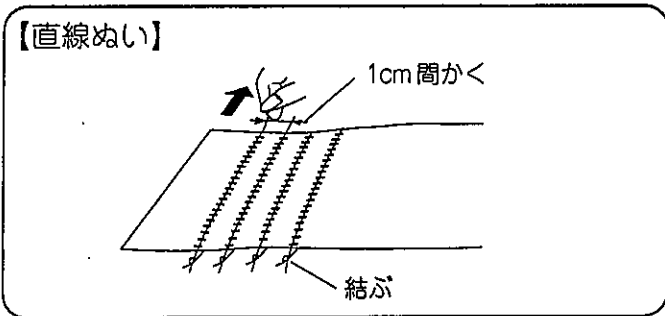
※カーブのところや方向転換するところでは、ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を下位置にしたままで方向をかえると、きれいに仕上がります。

※ぬい終わったら、押さえ圧ダイヤルを「3」にもどします。

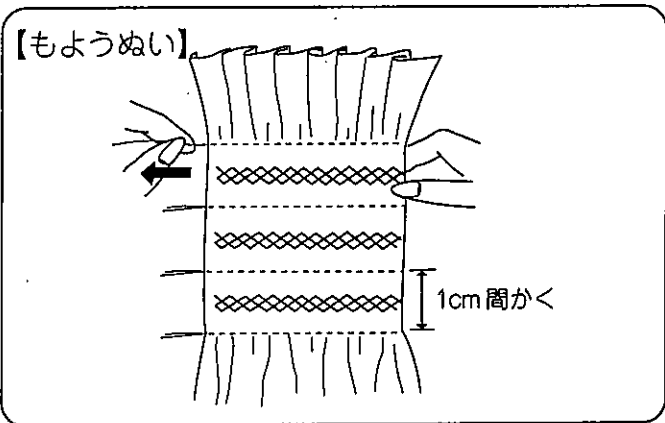
◎スモッキング



※ほかに# 37、# 61などのもようが使えます。

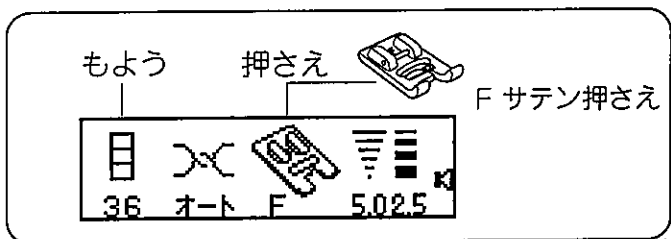


上糸の調子を弱くして、ぬい目のあらかさが3.0～4.0の直線を1cm間かくで数本ぬいます。

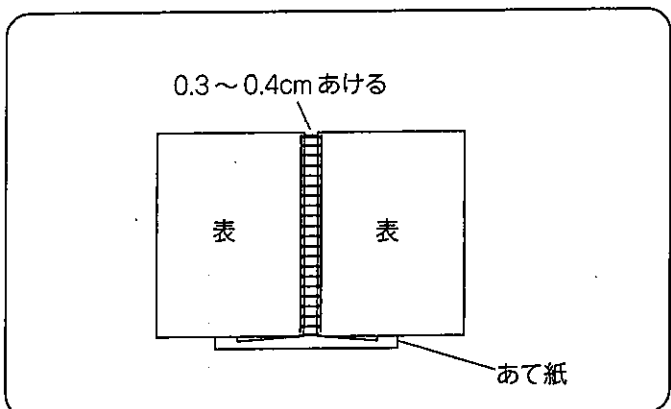


上糸と下糸を布の片側でむすび、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。直線ぬいと直線ぬいのあいだにもようぬいをしてから直線ぬいの糸を抜き取ります。

◎ファゴティング

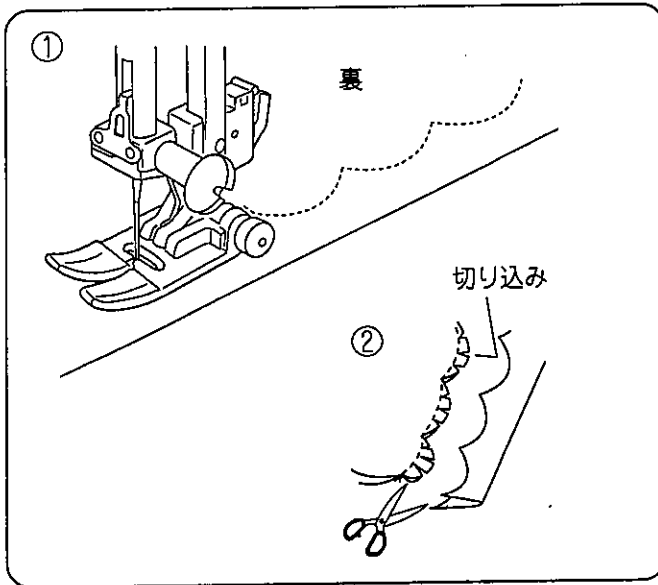
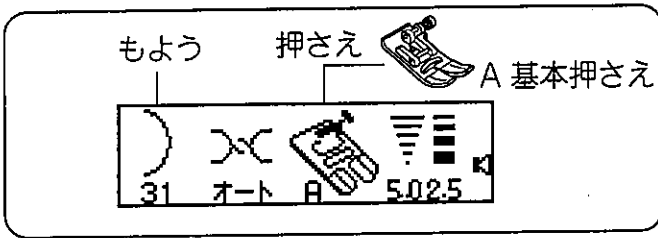


※ほかに# 30、# 33などのもようが使えます。



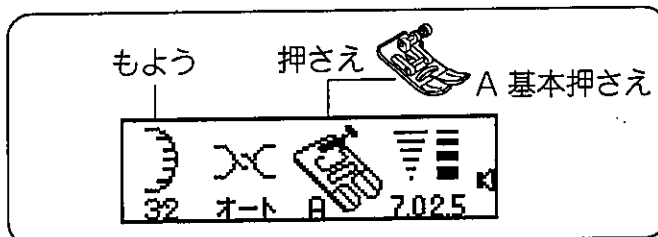
布端と布端の間かくを0.3～0.4cmあけて、下にあて紙をします。布の表から間かくの中央を中心にしてぬいます。最後にあて紙を取ります。

◎スカラップ (A)

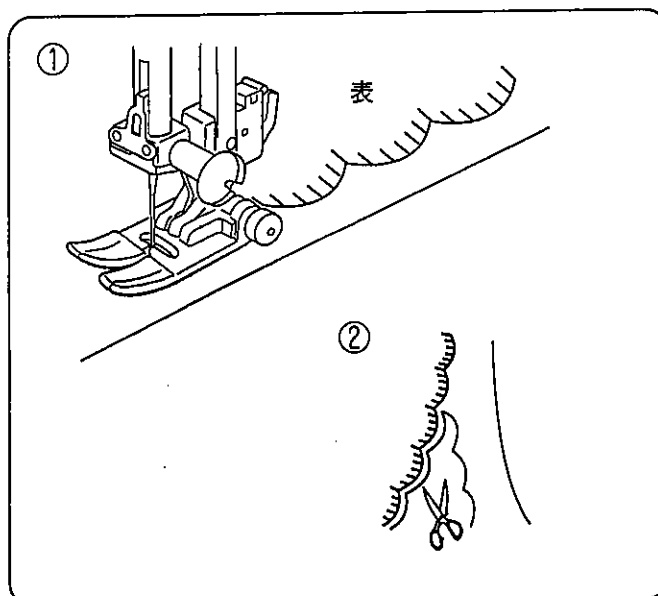


- ① 布を中表に合わせ、布端をぬいます。
- ② ぬい目にそって、0.3cmくらいぬいしろを残して切りとり、ぬいしろに切り込みを入れます。
- ③ 布を表に返して、スカラップの山を表に出し、アイロンで仕上げます。

◎スカラップ (B)

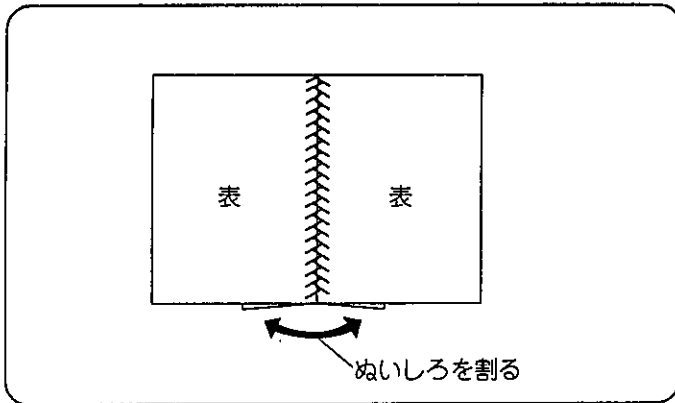
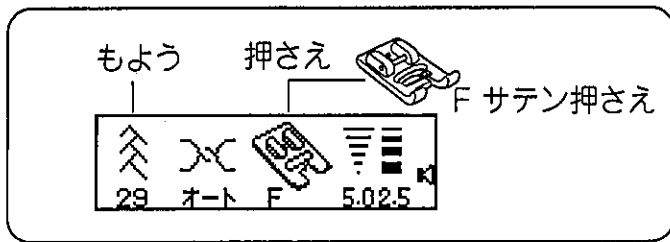


※もよう # 42 も使用できます。



- ① 布を表から、布端を1cmくらい残してぬいます。
- ② 糸を切らないように、外側の布を切り落とします。

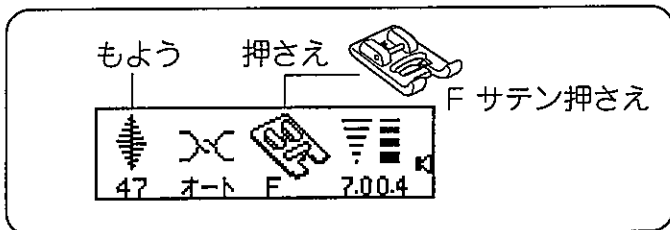
◎パッチワーク



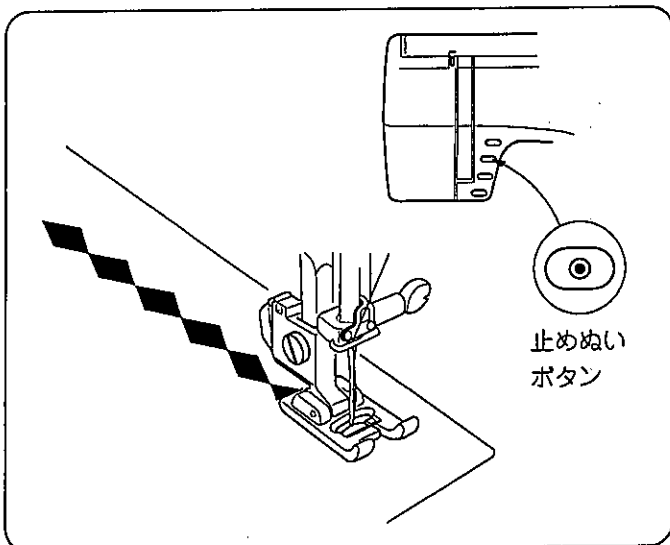
布を中表に合わせ、地ぬいをしてぬいしろを割ります。

布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

◎もよう密着ぬい



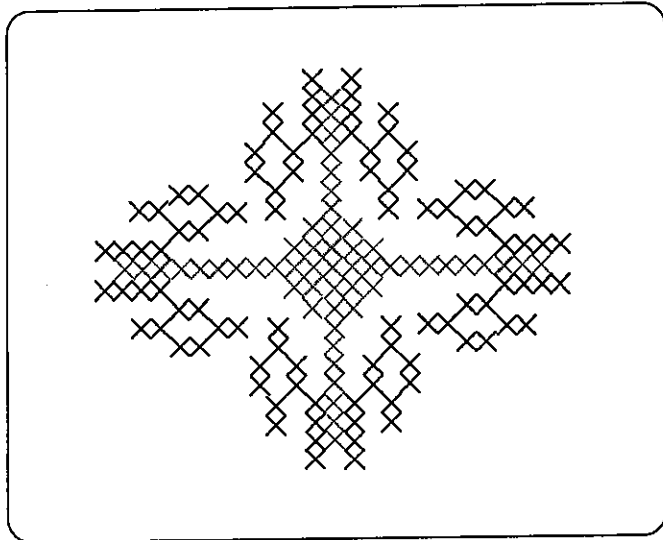
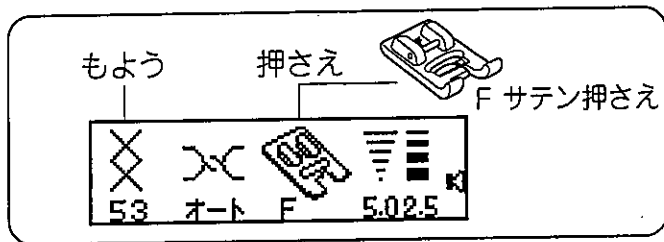
※もようは、# 40～# 49 が使えます。



布が縮むときは、下に紙を敷くか、または、接着芯を貼ると、きれいに仕上がります。

「止めぬい」ボタンを押すと、そのもよりの最後で自動的に止まります。

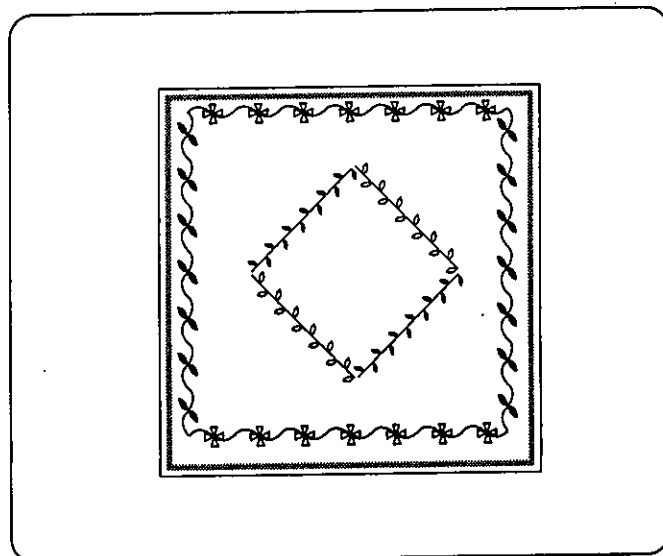
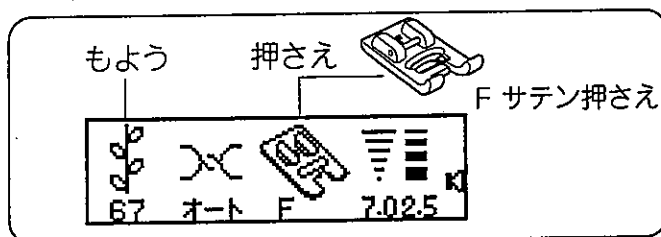
◎クロスステッチ



刺しゅうによく使われるクロスステッチができます。

※「ぬい目の巾」キーで調節すると、ステッチの大きさがかえられます。

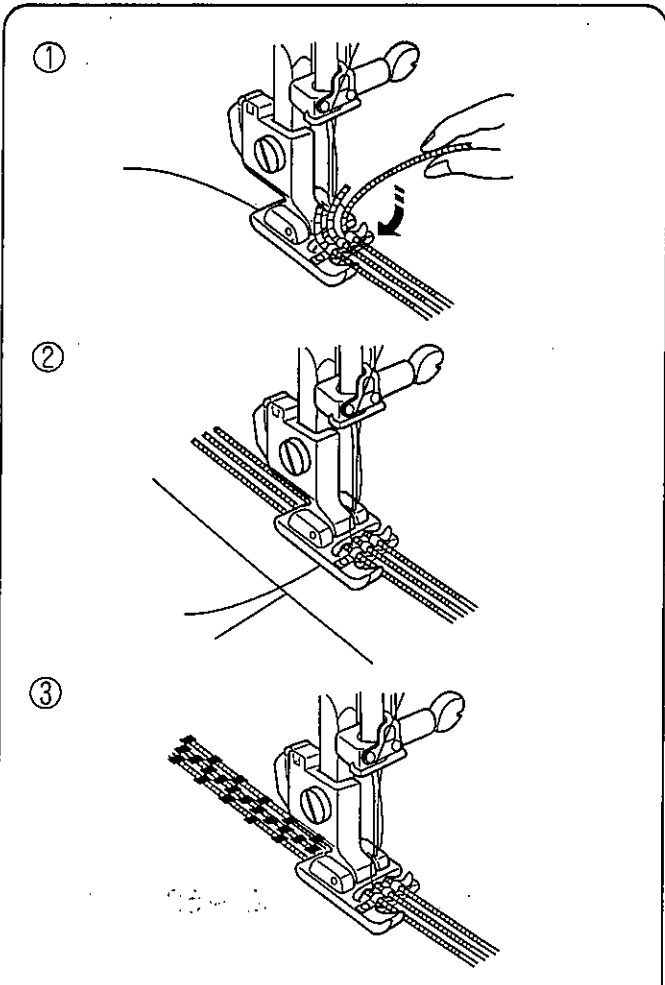
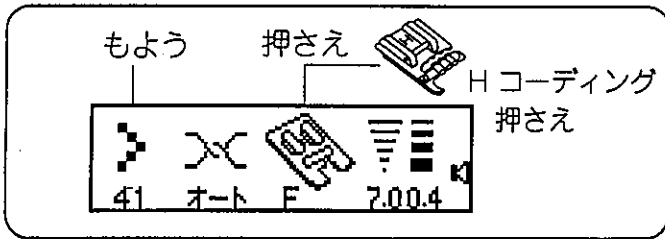
◎飾りぬい



※もようは、# 35～39、# 50～68などが使えます。

テーブルクロスなどの飾りぬいとして使用します。布が前後するので、ぬい目がまがらないように注意してぬいます。

◎コーディング



【3本コードのとき】

- ① コードを、押さえばねの下にくぐらせ、みぞに通します。
- ② コードを押さえのスリットから押さえの下をくぐらせ、押さえのみぞに入れます。
- ③ コードを平行にそろえて、ぬい目がコードにまたがるように、ぬいます。

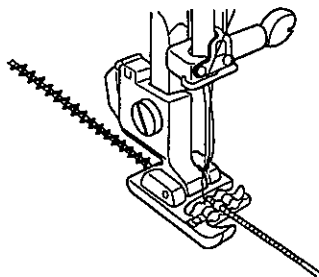
※コードは、極細毛糸やフランス刺しゅう糸、レース糸などを利用します。



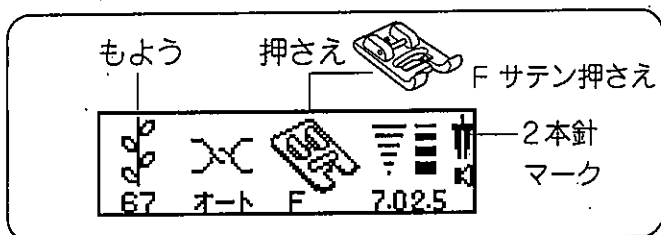
【1本コードのとき】

※もようは、# 52 も使えます。

押さえの中央のみぞを使い、もよう# 05のぬい目の巾を調節してぬいます。



◎ 2本針ぬい



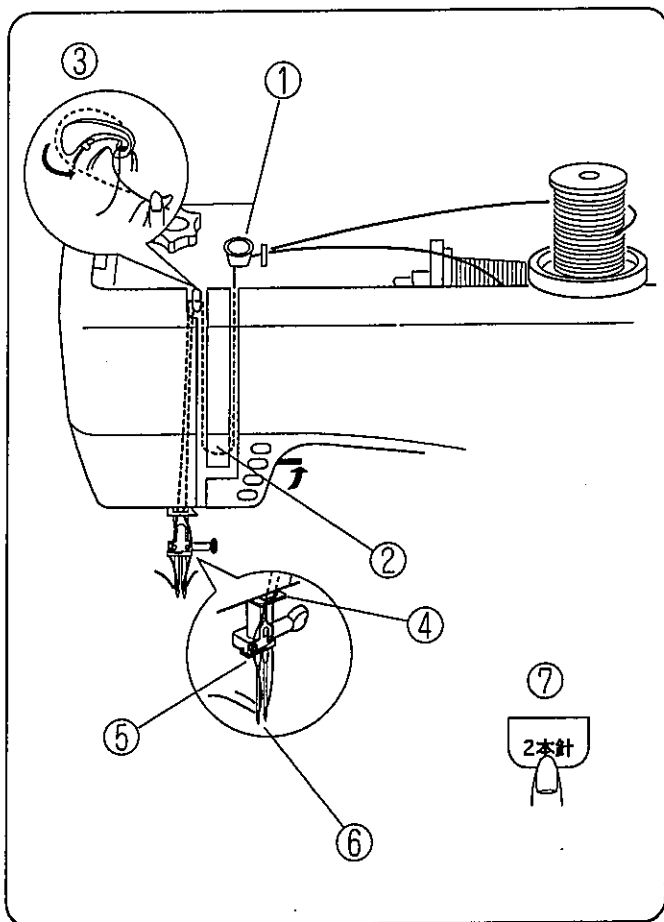
※もようは、# 01、# 05、# 29、# 31、# 32、# 37、# 40、# 42、# 60、# 67などが使えます。

これ以外のもようのときには、ためしぬいをしてください。

※2本針ぬいのとき押さえはA基本押さえ、またはFサテン押さえをご使用ください。

※針の取りかえは、電源スイッチを切って行なってください。

※補助糸立て棒の下側に糸こま受け台を差し込んで、取り付け穴に補助糸立て棒を立て、糸こまを入れます。(17ページをごらんください。)



2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように①～⑥の順序で正しくかけてください。

①～④の糸の通し方は、1本針のときと同じです。

⑤針棒糸掛けに左右に分けてかけます。

⑥2本針に左右に分けて糸を通します。

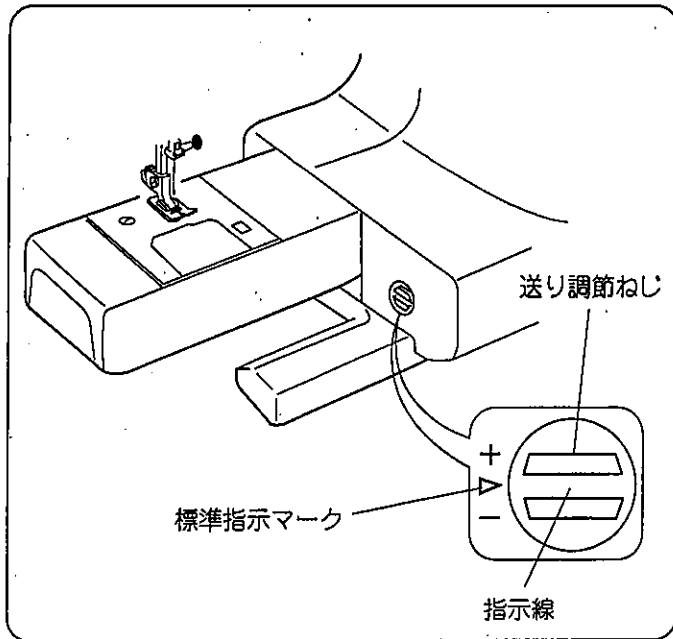
※針の手前から向こう側に、手で通してください。
(糸通しは使えません。)

⑦電源を入れ、もようを選んで2本針キーを押します。

※「2本針」キーを押すと、2本針マークが表示されます。

※ぬい方向をかえるときは、針を上げて布の方向をかえてください。

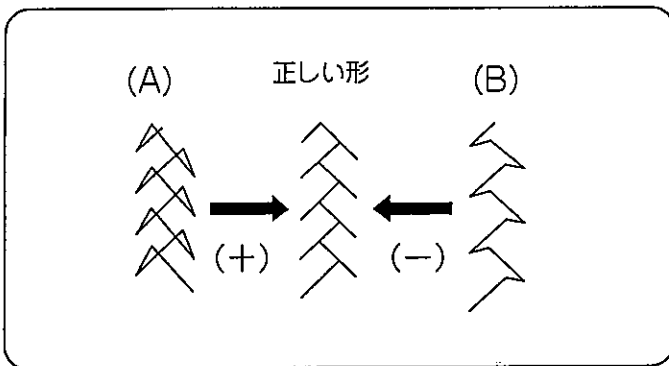
◎もよりの形の整え方



布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては、もよりの形がくずれることがあります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。

※標準指示マークと指示線が一致する位置が、もよりを正しくぬえる目安の位置です。

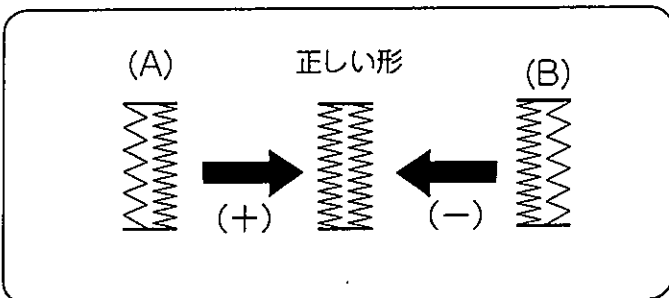
【スーパーもよりの形の整え方】



図(A) のようにもよりがつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図(B) のようにもよりのびているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

【オートボタンホール (# 19) の左右のぬい目あらしの整え方】



図(A) のように左側があらいつきは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図(B) のように右側があらいつきは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

●プログラムぬい (もようの組み合わせ「記憶」ぬい)

◎連続もようぬいの例 (もよう# 49・# 47)

ステップ	表示	ぬい
① ○ダイレクト *選択モード モード		
② (4) (9)		
③ (M) 記憶		
④ (4) (7)		
⑤ (M) 記憶		

記憶させたもようを、くりかえしぬいます。

- ① 選択モードを選びます。
- ② もよう# 49 を選びます。
- ③ 「記憶」キーを押します。
- ④ もよう# 47 を選びます。
- ⑤ 「記憶」キーを押します。
- ⑥ ミシンをスタートしてぬいます。

※ぬい終わりは、最後のもようをぬっている途中に「止めぬいボタン」(◎)を押すと、もようを最後までぬって止めぬいをし、自動的に止まります。

◎止めぬいを使ったもようぬいの例 (もよう# 49・# 47・# 69)

ステップ	表示	ぬい
① ○ダイレクト *選択モード モード		
② (4) (9)		
③ (M) 記憶		
④ (4) (7)		
⑤ (M) 記憶		
⑥ (6) (9)		
⑦ (M) 記憶		

記憶させた数のもようをぬって自動的に止まります。

- ① 選択モードを選びます。
- ② もよう# 49 を選びます。
- ③ 「記憶」キーを押します。
- ④ もよう# 47 を選びます。
- ⑤ 「記憶」キーを押します。
- ⑥ もよう# 69 を選びます。
- ⑦ 「記憶」キーを押します。
- ⑧ ミシンをスタートしてぬいます。

※プログラムするとき正しくない操作をすると警告電子音(ブザー)が鳴って誤りを知らせてくれます。

◎反転記憶を使ったもようぬいの例 (もよう# 45)

ステップ	表示	ぬい
① ○ダイレクト *選択モード モード		
② ④ ⑤		
③ M 記憶		
④ 反転記憶		

もようを選んでから「反転記憶」キーを押すと、キーを押した数だけそのもようを左右反対に記憶します。

- ①選択モードを選びます。
- ②もよう# 45 を選びます。
- ③「記憶」キーを押します。
- ④「反転記憶」キーを押します。
- ⑤ミシンをスタートしてぬいます。

※ぬい終わりは、最後のもようをぬっている途中に「止めぬいボタン」(◎)を押すと、もようを最後までぬって、止めぬいをし、自動的に止まります。

◎プログラムぬいを途中でやめたとき

【プログラムのはじめにもどすときは】

・・・(先頭頭出し)

ぬっている途中でミシンを止め、「記憶」キーを押すと、プログラムのはじめにもどります。

- ①プログラム内容
- ②ミシンを止めた位置
- ③ミシンを止めたら「記憶」キーを押します。
- ④ミシンをスタートさせると、プログラムしたはじめのもようからぬっていきます。

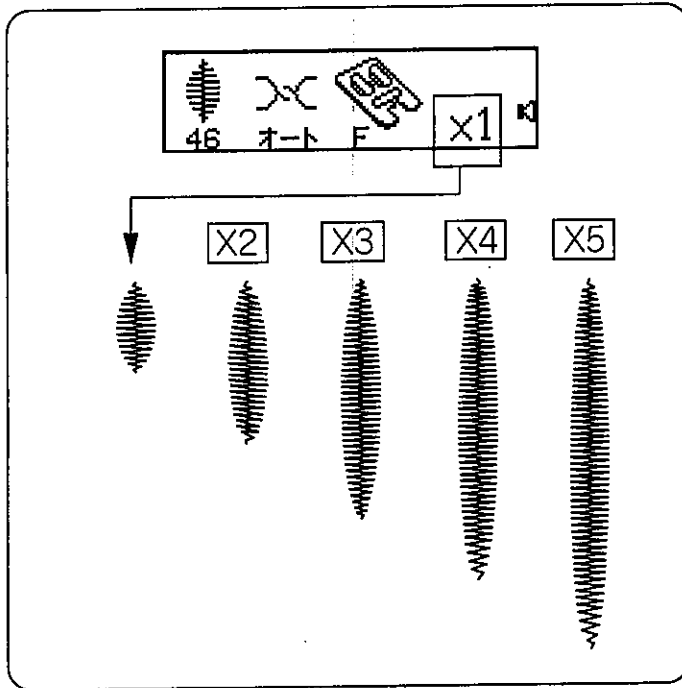
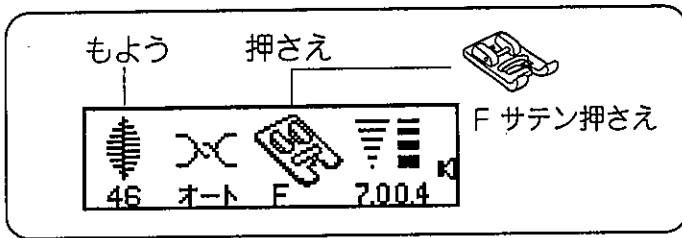
【ぬいかけたもようのはじめからぬうときは】

・・・(途中頭出し)

ぬっている途中でミシンを止め、「反転記憶」キーを押すと、ぬいかけたもようのじめにもどります。

- ①プログラム内容
- ②ミシンを止めた位置
- ③ミシンを止めたら「反転記憶」キーを押します。
- ④ミシンをスタートさせると、ぬいかけたもようのはじめからぬっていきます。

◎エロンゲータぬい



「もようのながさ」キー ^{*} もようの
ながさ を押すごとにも
よの長のさを1~5倍にかえられます。

ぬい目の巾、あらさをかえると、もようはさらに
変化します。

※もようは、



が使えます。

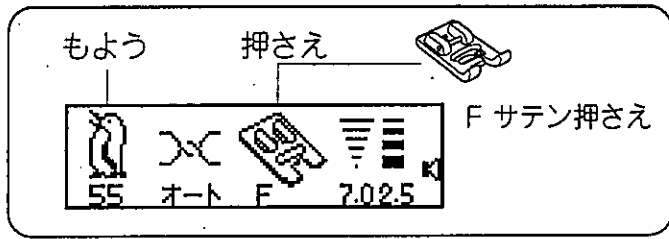
ステップ	表示板	ぬい
① ○ダイレクト ※選択モード モード		
② ④ ⑥		
③ M 記憶		
④ ④ ⑥		
⑤ [*] もようの ながさ		
⑥ M 記憶		

【ぬい例】(もよう# 46)

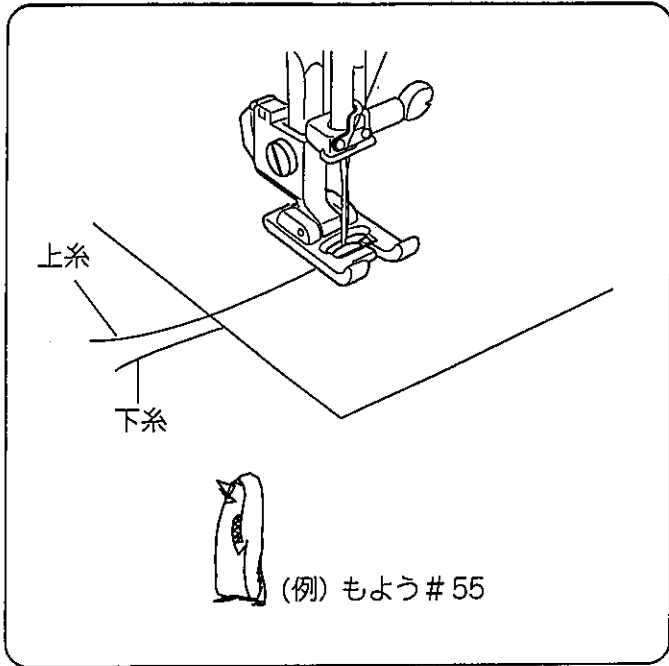
- ① 選択モードを選びます。
- ② もよう# 46を選びます。
- ③ 「記憶」キーを押します。
- ④ もよう# 46を選びます。
- ⑤ 「もようながさ」キー(エロンゲータ)を押
します。もう一度押してx2にします。
- ⑥ 「記憶」キーを押します。
- ⑦ ミシンをスタートしてぬいます。

※ぬい終わりは、最後のもようをぬっている途中に
「止めぬいボタン」(◎)を押すと、もようを最後
までぬって止めぬいをし、自動的に止まります。

◎ワンポイントぬい



※もよう # 55、# 56 がワンポイントもようです

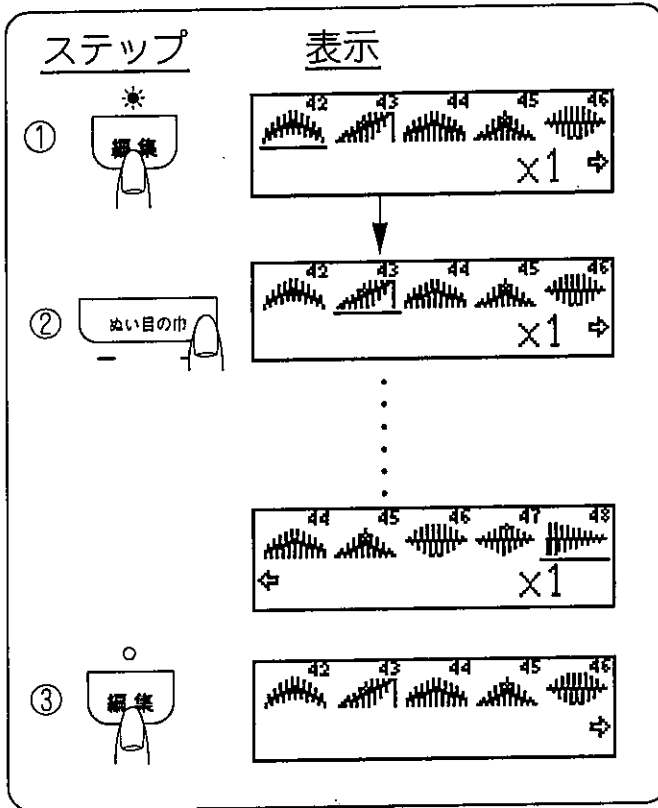


上糸と下糸を横に引き出します。

※もようの始めと終わりに、止めぬいが自動セットされています。

●編集機能 (1)

◎プログラム内容の確認 (例) もよう# 42~48が記憶されているとき



①「編集」キーを押します。

はじめに記憶したもようのようにカーソルが点滅します。

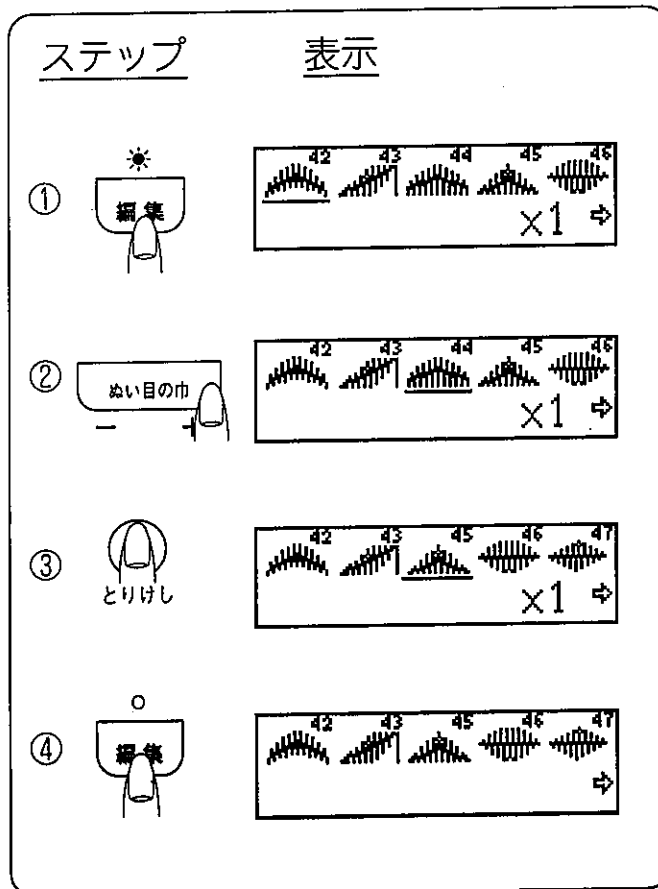
※⇒マークは、「もよう# 46」のうしろにも、もようが記憶されていることを示します。

②「ぬい目の巾」キー「+」でカーソルを移動させます。

※「-」キーを押すと左へカーソルが移動します。

③はじめの表示にもどすときは、「編集」キーを押します。

◎内容の一部を取り消すとき (例) もよう# 42~48が記憶され、# 44を取り消すとき





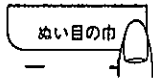

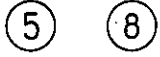
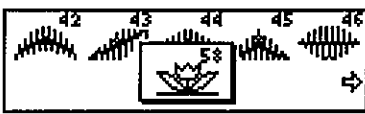




①「編集」キーを押します。

②「ぬい目の巾」キー「+」で「もよう# 44」のところへ移動します。

③「とりけし」キーを押すと、「もよう# 44」が取り消されます。

④「編集」キーを押します。

◎内容の一部挿入 ^{そうじゅう} (例) もよう# 42~48が記憶され、# 43と# 44のあいだに# 58を挿入

ステップ	表示
① 	
② 	
③ 	
④ 	
⑤ 	

①「編集」キーを押します。

②「ぬい目の巾」キーを押し、挿入したい場所の次のもよう（# 44）にカーソルを移動させます。

③テンキーでもよう# 58を入力します。

④「記憶」キーを押すと、もよう# 58が挿入されます。

⑤「編集」キーを押します。

●編集機能 (2)

◎統一マニュアル方式

ステップ	表示	ぬい
①		
②	ぬい目の巾 - + 	
③	ぬい目の巾 - + 	

オート値のぬい目の巾

ぬい目の巾「5.0」

プログラムされた複数もよう全体を1つのもようとして、ぬい目の巾・あらさを一括調節する方法です。

(例) ぬい目の巾を統一する方法

- ① もよう # 58・# 65・# 39 を記憶します。
- ② 「ぬい目の巾」 キーを押します。
※ぬい目のあらさは「ぬい目あらさ」キーを使い、ここで同時に変更できます。
- ③ 「-」 キーを押してぬい目の巾を5.0にします。
※ミシンをスタートさせてぬうと、すべてのもようのぬい目巾が最大5.0に設定されます。

◎個別マニュアル方式

ステップ	表示	ぬい
①		
②	ぬい目の巾 - + 	
③	説明 	もよう長さ x2に変更
④	もようの ながさ 	
⑤	説明 	
⑥	編集 	

プログラムされた個々のもようについて、ぬい目の巾・あらさ・もよう長さを調節する方法です。

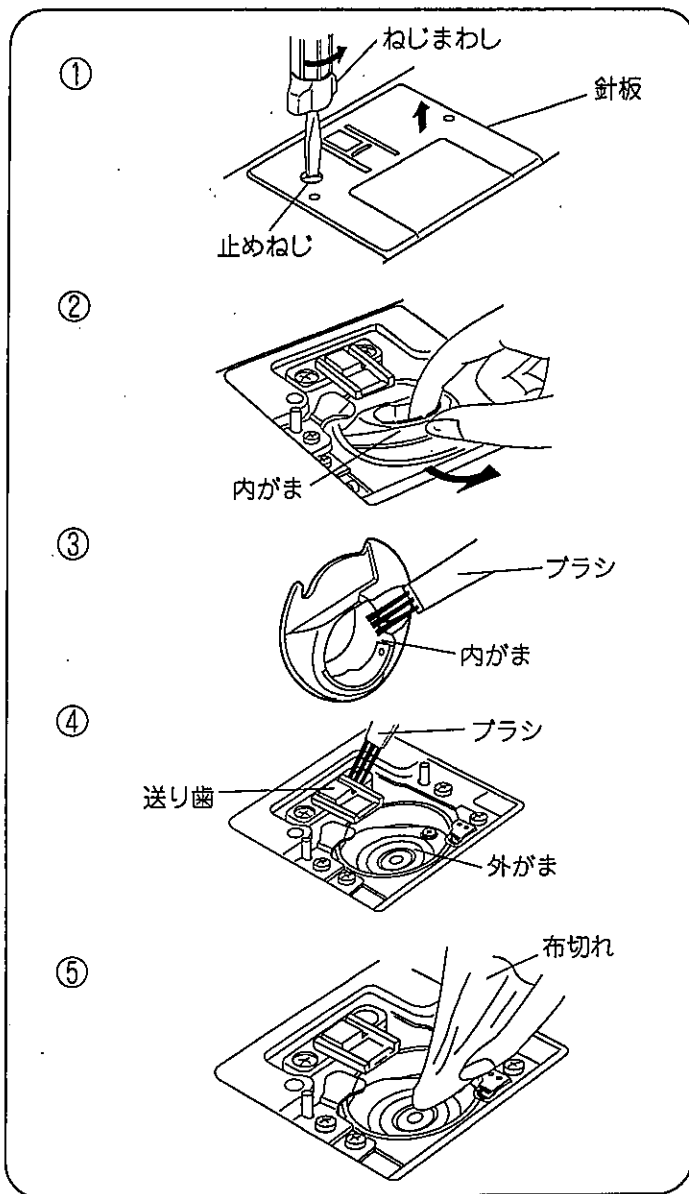
(例) もよう長さ # 46 の1カ所を変更する方法
(もよう # 48・# 46・# 48 を記憶)

- ① 「編集」 キーを押します。
- ② 「ぬい目の巾」 キーを押して変更するもようにカーソルを合わせます。
- ③ 「説明」 キーを押します。
- ④ 「もようのながさ」 キーを押して「x2」にします。
※ぬい目の巾は「ぬい目の巾」キーで、ぬい目のあらさは「ぬい目のあらさ」キーを使い、ここで同時に変更できます。
- ⑤ 「説明」 キーを押します。
※「説明」キーを押したあと、スタート・ストップボタンでぬうことができます。
- ⑥ 「編集」 キーを押します。

※始めの画面にもどすときに押します。

●ミシンのお手入れ

◎かまと送り歯の掃除

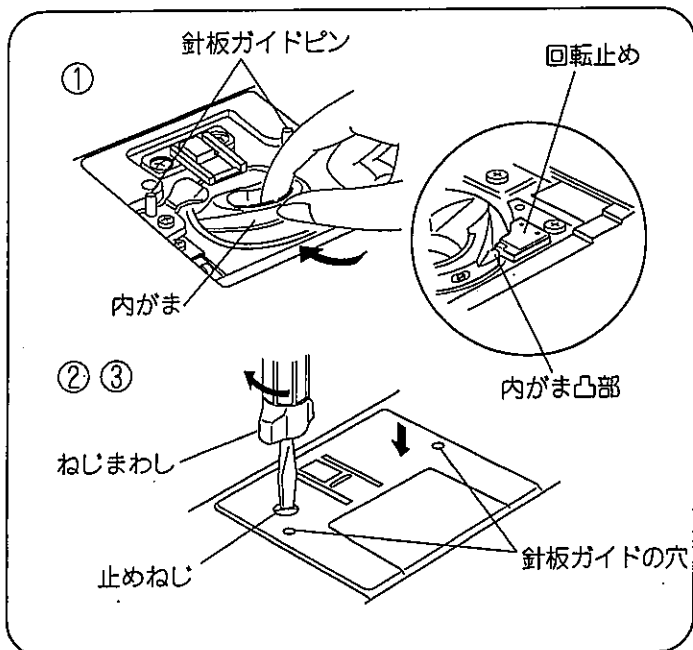


お手入れのときは…
 ※上下停針ボタンを押して針をあげてから、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 ※説明されている箇所以外は分解しないでください。

- ①針と押さえを外します。
止めねじを外し、針板を外します。
- ②ボピンを取り出し、内がまの手前を上へ引きながら外します。
- ③内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。
- ④送り歯のごみをブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。
- ⑤外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

※ブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、電気掃除機などで吸い取ってください。

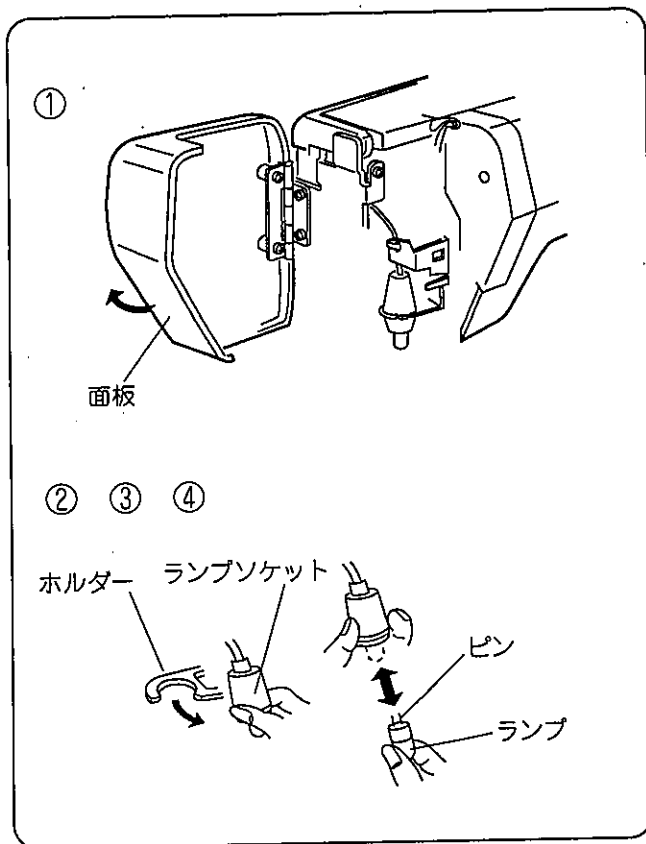
◎内がまと針板の組み付け



- ①内がまを差し込みます。
内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。
- ②ボピンを入れ、2カ所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴を合わせ、針板を取り付けます。
- ③止めねじをしめます。

※お手入れが終わったら、忘れずに針と押さえを付けてください。

●ランプの取りかえ方



※電源スイッチは、必ず切ってください。
※取りかえは、ランプが冷えてから行ってください。

【取り外し】

- ① 面板を開けます。
- ② ランプソケットをホルダーから外して、ランプを引き抜きます。

【取り付け】

- ③ ランプのピンをソケットの穴に合わせながら、差し込みます。
- ④ ランプソケットをホルダーに取り付け、面板を閉めます。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所からみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. ぬい始めに、上糸・下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6. ぬい終わったとき、布を手前に引いている。 7. 針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。 	<p>19 ページ参照 22 ページ参照 15 ページ参照 15 ページ参照 23 ページ参照 23 ページ参照 15 ページ参照</p>
下糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方が、まちがっている。 2. 内がまの中に、ごみがたまっている。 3. ポピンにキズがあり、回転がなめらかでない。 	<p>18 ページ参照 62 ページ参照 ポピンを交換する。</p>
針が折れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 針止めねじのしめ付けが、ゆるんでいる。 3. ぬい終わったとき、布を手前に引いている。 4. 布にくらべて針が細すぎる。 	<p>15 ページ参照 15 ページ参照 23 ページ参照 15 ページ参照</p>
ぬい目かとぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 布に対して、針と糸が合っていない。 3. 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャンメブル針（市販SP針）を使っていない。 4. 上糸のかけ方がまちがっている。 5. 品質の悪い針を使用している。 	<p>15 ページ参照 15 ページ参照 15 ページ参照 19 ページ参照 針を交換する。</p>
ぬい目がしわになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸・下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3. 布にくらべて針が太すぎる。 4. 布にくらべてぬい目があらずすぎる。 5. 押さえ圧が合っていない。 *特にうすい布をぬうときは、下側に紙をあててぬってください。 	<p>22 ページ参照 18,19 ページ参照 15 ページ参照 ぬい目を細かくする。 13 ページ参照</p>
布送りがうまくいかない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 送り歯に糸くずがたまっている。 2. ぬい目が細かすぎる。 3. 送り歯があがっていない。 	<p>62 ページ参照 ぬい目をあらくする。 13 ページ参照</p>
ぬい目に輪ができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸にくらべて針が太すぎるか、細すぎる。 	<p>22 ページ参照 15 ページ参照</p>
ミシンがまわらない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2. かまに、糸やごみがたまっている。 3. 糸巻き軸が、下糸を巻いたあと、元にもどっていない。 (糸巻き状態になっている) 4. フットコントローラ（別売品）を接続したままでスタート・ストップボタンを押している。 	<p>6 ページ参照 62 ページ参照 17 ページ参照 6 ページ参照</p>
ボタンホールがうまくいかない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 布に対して、ぬい目のあさが合っていない。 2. 伸縮性のある布のとき、伸びない芯地を使っていない。 	<p>36 ページ参照 33 ページ参照</p>
音が高い。	<ol style="list-style-type: none"> 1. かまの部分に、糸くずが巻き込まれている。 2. 送り歯に、ごみがたまっている。 3. 電源投入時、ステッピングモータからわずかな共鳴音が出る。 	<p>62 ページ参照 62 ページ参照 異常ではありません。</p>
ぬいずれがおこる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 押さえ圧が、合っていない。 	<p>13 ページ参照</p>

仕 様	
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	50W/ ランプ 3W
外形寸法	幅 39.5cmX 奥行 18.5cmX 高さ 29cm
重 量	8.6Kg (本体)
使用針	家庭用 HAX1
縫 速 度	毎分 700 回転 フットコントローラー使用時：毎分 820 回転

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

お 客 様 相 談 コ ー ナ ー

- ★ジャノメマシンでは全国160の直営支店で万全のアフターサービスをしております。この手びきに書かれている方法で直らないときは、最寄りの支店へご連絡ください。
- ★お問い合わせの際は、この手びきをお読みにになりながらお電話くださると係員も故障の原因や箇所がわかって便利です。
- ★アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、本社お客様相談室または、下記の代表支店へ何なりとお申しつけください。

本社・お客様相談室 ☎ 03 (3277) 2200
☎ 104-8311 東京都中央区京橋 3-1-1

池袋支店 ☎ 03 (3987) 5266
☎ 170-0013 東京都豊島区東池袋 1-28-7

西東京支店 ☎ 03 (3337) 0482
☎ 166-0001 東京都杉並区阿佐ヶ谷北 2-36-1

八王子支店 ☎ 0426 (42) 0777
☎ 192-0046 東京都八王子市明神町 4-11-12

横浜支店 ☎ 045 (842) 3816
☎ 233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西 1-13-18

千葉支店 ☎ 043 (222) 5121
☎ 260-0012 千葉県千葉市中央区本町 1-5-14

船橋支店 ☎ 0474 (32) 2785
☎ 273-0011 千葉県船橋市湊町 2-1-8

大宮支店 ☎ 048 (641) 2975
☎ 330-0841 埼玉県さいたま市東町 1-66-1 第3開新社ビル 1F

川越支店 ☎ 0492 (22) 2454
☎ 350-0043 埼玉県川越市新富町 1-12-12

高崎支店 ☎ 027 (324) 0055
☎ 370-0831 群馬県高崎市新町 118

富山支店 ☎ 076 (431) 8827
☎ 930-0029 富山県富山市本町 3-25

三条支店 ☎ 0256 (32) 1737
☎ 955-0071 新潟県三条市本町 4-1-8

長野支店 ☎ 026 (228) 1491
☎ 380-0928 長野県長野市若里 3-1-43

仙台支店 ☎ 022 (249) 4161
☎ 982-0011 宮城県仙台市太白区長町 5-3-25

郡山支店 ☎ 024 (932) 3362
☎ 963-8852 福島県郡山市台新 1-4-15

盛岡支店 ☎ 019 (624) 6741
☎ 020-0021 岩手県盛岡市中央通 2-9-20

名古屋支店 ☎ 052 (733) 5116
☎ 466-0027 愛知県名古屋市昭和区阿由知通 1-12-3

津支店 ☎ 059 (228) 4900
☎ 514-0041 三重県津市八町 1-1-10

浜松支店 ☎ 053 (476) 5191
☎ 433-8122 静岡県浜松市上島 5-5-30

大阪支店 ☎ 06 (6583) 8031
☎ 552-0002 大阪府大阪市港区市岡元町 3-1-4

奈良郡山支店 ☎ 0743 (54) 3060
☎ 639-1012 奈良県大和郡山市城見町 2-4

和歌山支店 ☎ 0734 (31) 6216
☎ 640-8033 和歌山県和歌山市本町 2-12

尼崎支店 ☎ 06 (6432) 3307
☎ 661-0041 兵庫県尼崎市武庫の里 1-12-3

加古川支店 ☎ 0794 (23) 9980
☎ 675-0066 兵庫県加古川市加古川町寺家町 75-8

西陣支店 ☎ 075 (461) 7940
☎ 602-8276 京都府京都市上京区千本通上長者町上ル百万遍町 89

岡山支店 ☎ 086 (222) 8896
☎ 700-0814 岡山県岡山市天神町 1-26

広島支店 ☎ 082 (228) 5181
☎ 730-0016 広島県広島市中区幟町 15-9

観音寺支店 ☎ 0875 (25) 2887
☎ 768-0060 香川県観音寺市駅通り甲 1017-5

熊本支店 ☎ 096 (354) 6523
☎ 860-0845 熊本県熊本市上通り町 8-15

大分支店 ☎ 097 (534) 1616
☎ 870-0047 大分県大分市中島西 1-2-24

長崎支店 ☎ 095 (849) 6025
☎ 852-8107 長崎県長崎市浜口町 3-8

(株) ジャノメ北海道販売 札幌本店 ☎ 011 (861) 5634
☎ 003-0027 札幌市白石区本通 3 丁目北 1-21

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ジャノメミシン

東京都中央区京橋3-1-1 蛇の目ミシン工業(株)